

北海道立帯広美術館年報
平成25年－26年度

北海道立帯広美術館年報
平成25年－26年度



目 次

目次	3
展覧会事業	
コレクション・ギャラリー一覧	4
森の交遊録	5
アニマル・コレクション！	7
Bon Voyage！ 世界の観光ポスター	9
北の風景	11
新収蔵品展	12
写真〜アート	14
麗しき女性像	15
井田照一展	16
特別展一覧	18
岸田劉生の軌跡	20
20世紀のプリントアート	25
山本二三展	29
in the LIGHT / in the SHADOW	35
十勝の美術100年	40
美術のみ・か・た 7つの扉	45
大正ロマン昭和モダン展	49
中谷有逸展	57
トーベ・ヤンソン展	62
バルビゾン—19世紀の絵画と写真	72
教育普及事業	
美術講演会／アーティスト・トーク等	77
特別展セミナー	79
ギャラリー・ツアー	79
ミュージアム・カレッジ	80
ミュージアム・ミステリー	81
キッズ・ツアー	82
キッズ・ミュージアム	83
ワークショップ等	84
映写室	85
コンサート	86
芸術週間	87
おびひろ氷まつり協賛事業	88
団体オリエンテーション	90
セルフガイド（クイズ）	91
博物館実習	92
教員研修プログラム	94
移動美術館	95
出張アート教室	97
学校教育との連携	98
他団体との連携	99
美術作品の収集	
平成25年度作品収集状況	100
受贈	100
平成26年度作品収集状況	102
受贈／受託	103
図版目録	104
美術作品の貸出	118
美術作品の修復	119
特別観覧	121
名簿	122
館内案内図	123
建築概要	124
設備概要	124
沿革	125
観覧者数一覧	126

コレクション・ギャラリー一覧

平成25年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	森の交遊録―バルビゾンの画家と写真家	4月12日(金)～6月1日(土)	44	
2	アニマル・コレクション!	6月8日(土)～8月28日(水)	70	
3	Bon Voyage! 世界の観光ポスター	9月7日(土)～11月13日(水)	59	
4	北の風景	11月22日(金)～3月30日(日)	100	

平成26年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	北の風景	4月1日(火)～4月16日(水)	14	平成25年度より継続
2	新収蔵品展	4月25日(金)～7月9日(水)	65	
3	写真～アート	7月18日(金)～9月24日(水)	59	
4	麗しき女性像―ポスターにみる“企てのイメージ”	10月3日(金)～12月3日(水)	54	
5	井田照一展 接点としての版画	12月13日(土)～3月31日(火)	82	平成27年度に継続 (4月15日(水)まで 計95日間)

森の交遊録 ―バルビゾンの画家と写真家

会期＝平成25年4月12日(金)－6月1日(土) 44日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての

観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日、こどもの日(5月5日)は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

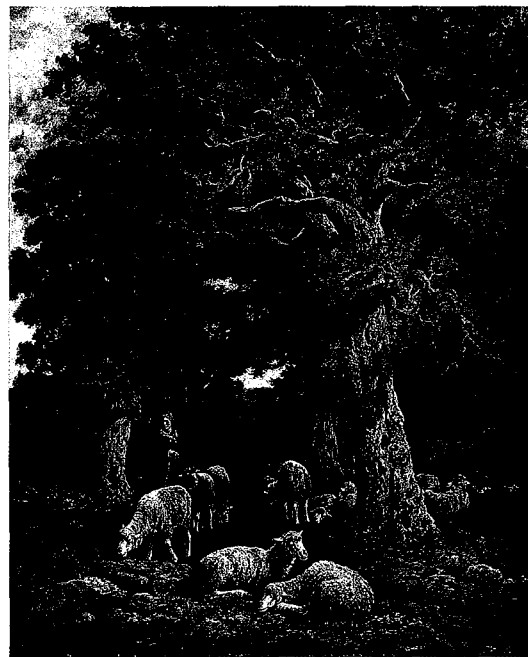
19世紀前半のフランスでは、イギリス絵画やオランダ絵画の影響を受けながら、動物画や風景画の刷新が図られていく。その中で大きな役割を果たしたのが、後期ロマン主義の画家コローである。

1800年代半ばには、風景画の革新はさらに大きなうねりとなってフランス絵画界をおおった。その中心が、ルソー、デュプレ、ミレーら、バルビゾン派と呼ばれる画家たちである。彼らは、パリの南東60キロ、フォンテーヌブローの森に隣接するバルビゾン村を拠点に、自然景観や田園風俗を描いた。

同じ時期、多数の写真家がフォンテーヌブローの森を訪れ、その景観をカメラにおさめていく。そして、画家と写真家は互いに影響を与え合いながら、新たな視覚表現・風景表現を探索した。

バルビゾン派の清新な作品は、多くの後継者たちに受け継がれ、クールベによる写実主義、さらには印象派の誕生へとつながっていった。

本展では、当館のコレクションにより、バルビゾン派をはじめとする19世紀フランスの風景画刷新の道程をたどるとともに、フォンテーヌブローの森を舞台に繰り広げられた美術家たちの交遊の軌跡を紹介した。



シャルル＝エミール・ジャック
「森の中の羊飼いと羊の群れ」

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
■先駆者たち					
1	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0
2	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0
3	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0×65.0
4	ポール・ユエ	オージュ谷のノルマンディー人の家の庭	1866	エッチング、紙	9.5×14.0
5	ポール・ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866	エッチング、紙	19.3×28.0
6	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3
7	ジュール・デュプレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9×20.7
8	ジュール・デュプレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7
9	カール・ボドメル	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
■バルビゾンの画家					
10	テオドール・ルソー	ビオーのサクランボの木	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	22.1×27.7
11	テオドール・ルソー	ビオーの平原	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	21.8×27.7
12	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
13	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
14	シャルル＝エミール・ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
15	シャルル＝エミール・ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
16	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
17	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0×23.9
18	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
19	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
20	ジュール・デュプレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8
■森の写真家					
21	アルフレッド・ブリッケ	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	1863/65	鶏卵紙プリント	17.7×24.0
22	A. トーパン	沼地	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.2×25.1
23	A. トーパン	廃屋	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.0×23.9
24	ジエグレール	農家	1870年代	鶏卵紙プリント	21.3×26.7
25	アシーユ・キネ	自然の習作 農夫	1868頃	鶏卵紙プリント	19.2×24.3
26	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×23.5
27	ウィリアム＝H. ハリソン	フォンテーヌブローの森	1870頃	鶏卵紙プリント	17.4×19.5
28	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0
29	シャルル・ファマン	沼地	1874頃	鶏卵紙プリント	20.3×25.9
■風景画の展開					
30	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0×73.0
31	アドルフ・アピアン	ロメ谷	1868	エッチング、紙	10.1×19.1
32	アドルフ・アピアン	マントン近郊	1879	エッチング、紙	12.2×20.1
33	ウジェーヌ＝アントワーヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
34	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺	1912	水彩、紙	22.5×33.8
35	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺の道	20世紀初頭	水彩、紙	23.9×33.7
36	アレクサンドル・ドゥフォー	森の中での休息	1871	油彩、キャンバス	98.0×131.0
37	オーギュスト・アロンジェ	森の中	19世紀後半	水彩、紙	53.5×75.7

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵（No.3,9,16,19は帯広市寄託）。

アニマル・コレクション！

会期＝平成25年6月8日(土)－8月28日(水) 70日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2013サマー

「アートな動物園であそぼう！」

日時＝8月4日(日) 午前11時～12時、午後2時～3時／全2回

＊「よりどりみどりがおかフェスタ！」連携事業としても実施。

会場＝当館コレクション・ギャラリー、ロビー(小学生参加無料、応募制)

古くから、動物はときに身近で愛らしく、またときに近づきがたく崇高な存在として、私たち人間と深い関わりを持ってきた。本展では、こうした動物をモチーフとした美術作品に焦点をあてた。当館コレクションのなかから動物の登場する25点を選び、4つのコーナーに分けて紹介した。コーナー名称は「みんな、だいすき？～永遠の人気者～」、「いつも、そばにいた。～かけがえのない存在～」、「ゆめにでて、へんしんする。～物語と空想～」、「なにか、つたえようとしている。～象徴としての動物～」といった易しい言葉によるキャッチフレーズ風のものとし、大きな切り文字にして壁に掲示することで、夏休み期間中の子供や家族連れなどの来館者に親しんでいただけるよう心がけた。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
●みんな、だいすき？ ～永遠の人気者～					
1	ポール・コラン	W 公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
2	アルフレッド・シューブラク	フォーリー＝ベルジェール「真珠のパレエ」	1885頃	リトグラフ、紙	74.0×49.3
3	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
4	矢柳 剛	愛の動物誌 シマウマ カバ ワニ ラクダ カメ	1976 (昭和51)	油彩、シルクスクリーン、板、タイル	168.8×82.6
5	矢柳 剛	愛の動物誌(A)	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	40.5×72.5
6	矢柳 剛	飛んだえんぴつ ぶた	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
●いつも、そばにいた。 ～かけがえのない存在～					
7	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
8	栗谷川健一	サイロの夏	1956 (昭和31)	オフセット、紙	105.5×74.4
9	栗谷川健一	風車	1959 (昭和34)	オフセット、紙	103.1×72.8
10	栗谷川健一	緑に歌う	1960 (昭和35)	オフセット、紙	103.3×73.2
11	福井正治	野の鳥	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	162.1×112.1



会場風景

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
12	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木 (イチイ)	115.0×30.0×50.0
●ゆめにてで、へんしんする。 ～物語と空想～					
13	市成太煌	鴉の詩 1	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
14	市成太煌	鴉の詩 2	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
15	市成太煌	鴉の詩 3	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
16	渋谷栄一	Animal A	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	41.5×77.7
17	渋谷栄一	Animal G	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	68.8×36.1
18	渋谷栄一	Animal F	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	66.3×40.5
19	渋谷栄一	Animal E	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、 エッチング、コラージュ、紙	67.2×34.4
20	多賀 新	魚 No.2 (食傷)	1978 (昭和53)	エッチング、ルーレット、紙	26.7×36.5
21	多賀 新	太古の夢 (ユニコーン)	1993 (平成5)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.1
●なにか、つたえようとしている。 ～ ^{シンボル} 象徴としての動物～					
22	里見宗次	コート・ダジュール	1934 (昭和9)	リトグラフ、紙	98.7×62.4
23	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
24	ロビィ	食前酒「トニ＝コーラ」	1935	リトグラフ、紙	200.0×130.0
25	レオネット・カビエッロ	フォワグラ・クリームの女王「金の鷺鳥」	1937	リトグラフ、紙	109.0×154.5

*寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (No.7,11は帯広市寄託)。

Bon Voyage! 世界の観光ポスター

会期＝平成25年9月7日(土)－11月13日(水) 59日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

開館記念日(9月22日)、芸術週間(11月1日～11月7
日)は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

19世紀後半のヨーロッパでは、一大旅行ブームが巻き起こる。

それまで、庶民にとって旅は、高価で時間がかかり、かつ危険なものであった。しかし、産業社会の進展は、人々に豊かな経済力と十分な余暇時間をもたらし、交通網の整備は、安価で高速で安全な移動手段を提供するにいたる。鉄道会社をはじめとする交通機関は競って沿線の観光資源を宣伝し、人々は旅行という新時代の娯楽に熱狂したのである。

この展覧会では、帯広美術館のコレクションより、19世紀後半から20世紀前半のヨーロッパで制作された30点のポスターを展示。ヨーロッパ各国の観光地を描いたもの、鉄道や客船など最新の旅行手段に関するもの、季節折々のレジャーの様子を捉えたもの…。人々を旅へと誘った観光ポスターの世界を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
■そうだ 旅に行こう					
1	ルネ・ルーセル	パリに行こうーフランス大鉄道網	1920	リトグラフ、紙	98.5×60.5
2	キルニツヒ専門工房	オーストリア	1935	リトグラフ、紙	93.6×61.5
3	ホセ・モレル	スペイン探訪	1941	リトグラフ、紙	98.6×60.8
4	H.F.F.	ヘルシンキ	1930	オフセット、紙	99.0×60.5
5	ポール・バルトン	ノルマンディ、ブルターニュー西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
6	フレデリック・ユゴー・ダレジ	ラ・テュルビーーーP.L.M. 鉄道会社	1890-95頃	リトグラフ、紙	105.0×75.0
7	ベルナール・ヴィルモ	北アフリカ	1946	リトグラフ、紙	98.0×61.5
8	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で (オペラ座)	1950	オフセット、紙	96.5×61.0
9	ヴァルター・マーラー	ジュネーヴ、スイス	1950	リトグラフ、紙	98.5×63.5
10	作者不詳	パン・アメリカン航空によるアメリカ旅行	1940頃	オフセット、紙	92.5×59.5
■船の旅 鉄道の旅					
11	アーヴェ・ラスムッセン	DSB, デンマーク国有鉄道	1937	リトグラフ、紙	100.0×63.0
12	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
13	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
14	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
15	アルベール・ソロン	ファルマン航空	1930	リトグラフ、紙	97.0×58.0
16	ケース・ファン・デル・ラーン	国立航空学校	1930頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
17	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号ートランザトランティク総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
18	ルネ・グリュオー (レナート・デ・ザヴァリ・リッカルデッリ)	くつろぎ	1950	リトグラフ、紙	80.0×60.0
19	マックス・ボンティ	バケ船舶旅行会社	1929	リトグラフ、紙	99.9×72.0
20	マリア・サッシ	イタリア航路、南アメリカ	1950	リトグラフ、紙	96.4×59.5
21	フレデリック・ドロスト	8日間フリー・チケット	1936	リトグラフ、紙	100.0×62.0
■海のリゾート 山のリゾート					
22	エチエンヌ・ベネール	アーラウ	1937頃	リトグラフ、紙	126.0×90.0
23	ヴェルナー・ヴァイスケーニヒ	アローザ、海拔6000フィート、スイス	1940頃	リトグラフ、紙	125.5×89.3
24	ロベール・ボンフィス	アルプス—フランス国有鉄道	1939	リトグラフ、紙	97.0×122.0
25	アルフレッド・シュープラク	カジノ・ド・ビアリッツ	1885頃	リトグラフ、紙	130.5×93.5
26	H. ララメ	カジノ、トゥルーヴィル＝シュル＝メール	1902	リトグラフ、紙	129.5×90.0
27	アルフレッド・シュープラク	トゥルーヴィルのカジノ、エデン・サロン	1885頃	リトグラフ、紙	130.0×90.5
28	ファリア (カンディード・アラゴネス・デ・ファリア)	カシャ＝マジスティックーシャモニーのウィンター・スポーツ	1905	リトグラフ、紙	109.8×151.7
29	アロイス・カリジエ	アローザ	1931	リトグラフ、紙	127.8×91.5
30	リンヌ	バーデン＝バーデン、1934	1934	リトグラフ、紙	120.0×80.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

北の風景

会期＝平成25年11月22日(金)－平成26年4月16日(水) 114日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

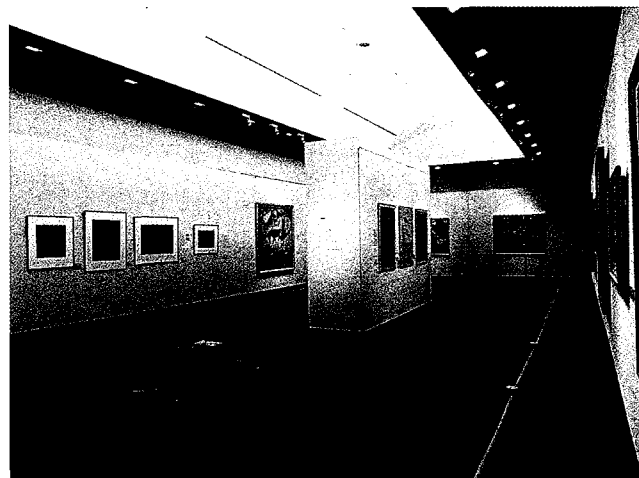
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

広い大地と豊かな自然、緑あふれ花咲き乱れる夏と雪に覆われる長い冬、キツネやクマなどの野生動物―。北海道はこうした観光イメージで語られることが多くあるが、しかしそこに暮らす者にとっては見慣れた日常の風景であり、また故郷を離れた者にとっては懐かしく、郷愁を誘う原風景でもある。

本展では「身近な風景」、「よせる思い」、「北海道のイメージ」という3つのキーワードにより、北海道に暮らした画家による身近な風景を描いた絵画や心象化された北国のイメージ、観光ポスターなどさまざまな北の風景を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
●身近な風景					
1	能勢真美	門のある風景	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	116.5×91.0
2	能勢真美	春近き日	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	65.0×100.0
3	長尾栄三	緑樹池畔	1985 (昭和60)	油彩、キャンバス	162.2×130.6
4	伊藤隆二	裏門	1933 (昭和8)	油彩、キャンバス	66.6×91.0
5	竹山義雄	早春山野	1978 (昭和53)	油彩、キャンバス	130.6×162.1
6	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
7	高坂和子	叢・秋の幻影	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
8	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
●よせる思い					
9	松樹路人	コタン・クル・カムイの詩	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	181.8×227.3
10	福井正治	北方村落 A	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	162.5×162.5
11	池田良二	Architecture on the cape (岬の上の家)	1989 (平成元)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	37.0×53.0
12	池田良二	Reaching the cape (岬への到着)	1988 (昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	57.0×84.6
13	池田良二	Deposition of memories (記憶の沈殿)	1988 (昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	69.0×58.0
14	池田良二	Window under the midnight sun (白夜の窓)	1988 (昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	50.0×50.0
15	田中 良	そよぐ	1997 (平成9)	油彩、キャンバス	162.1×130.5
●北海道のイメージ					
16	栗谷川健一	伝説の湖	1956 (昭和31)	オフセット、紙	101.3×71.3
17	栗谷川健一	ジャンプ	1963 (昭和38)	オフセット、紙	102.8×72.7
18	栗谷川健一	家路	1962 (昭和37)	オフセット、紙	103.0×73.0
19	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	105.1×74.9
20	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	102.8×72.7
21	梅津恒見	北海道を組む。四季を編む。	2000 (平成12)	インクジェットプリント、紙	102.9×72.4

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (No.1,4,5,10は帯広市寄託)。

新収蔵品展

会期＝平成26年4月25日(金)－7月9日(水) 65日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日、こどもの日(5月5日)は無料
()内は10名以上の団体の割引料金

当館では平成25年度、64点の作品と2点の関連資料を新しく収蔵した。これらはすべて作者の遺族等関係者または作者本人からのご寄贈によるものである。

既成概念にとらわれない自由な創作で現代版画を切り開くとともに、登山家としての視点を生かした作品も多く手がけた一原有徳(1910～2010)。宇宙的な時空間を描いたイマジネーションゆたかな絵画作品で知られ、十勝の中心的な作家として活躍した森健二(1932～2013)。京都を中心に、独自の思考に基づいた版画作品を多数生み出し、国際的に高い評価を受けた井田照一(1941～2006)。生まれ故郷の帯広を拠点に、絵画や立体、映像作品など、さまざまな分野にわたり旺盛な表現活動を繰り広げる梅田マサノリ(1958～)。本展ではこれら4名の美術作家による新収蔵品のなかから33点を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	一原有徳	岩壁	1996 (平成8)	金属版、紙	25.5×70.0
2	一原有徳	Mt. Ashibetsudake	1968 (昭和43)	金属版、紙	28.5×22.5
3	一原有徳	風の目	1973 (昭和48)	金属版、紙	20.7×15.0
4	一原有徳	Mt. Petegari	1994 (平成6)	金属版、紙	24.7×20.5
5	一原有徳	Mt. Petegari	不詳	金属版、紙	25.7×36.0
6	一原有徳	《Mt. Petegari》原版	不詳	金属板	25.7×36.4
7	一原有徳	《Hidaka 1839m》原版	不詳	金属板	10.8×21.0
8	一原有徳	Hidaka 1839m	1974 (昭和49)	金属版、紙	10.8×21.0
9	一原有徳	Mt. Ashibetsutake	1967 (昭和42)	金属版、紙	20.0×36.0
10	一原有徳	Mt. Rishiri	不詳	金属版、紙	19.8×27.0
11	一原有徳	Mt. Tarumae and Fuppushidake	1970 (昭和45)	金属版、紙	11.0×18.0
12	一原有徳	Mt. Yuubari	1976 (昭和51)	金属版、紙	17.7×20.0
13	一原有徳	RS25	1989 (平成元)	金属版、紙	54.5×75.5
14	一原有徳	Mt. Poroshiridake	不詳	金属版、紙	15.0×22.5
15	一原有徳	Mt. Muridake	1987 (昭和62)	金属版、紙	14.0×26.0
16	一原有徳	Mt. Satsunidake	1968 (昭和43)	金属版、紙	11.0×18.8
17	一原有徳	Mt. Obokodake	1969 (昭和44)	金属版、紙	22.0×19.5
18	一原有徳	青い岩稜	不詳	金属版、紙	20.2×32.7
19	梅田マサノリ	compensation of balance #6	1995 (平成7)	アクリル絵具、石膏、キャンバス	90.8×99.8
20	森 健二	光年の導ベ「心象」	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	112.0×145.6
21	森 健二	光年の導ベ	2002 (平成14)	油彩、キャンバス	194.5×391.5

No	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
22	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Leaf and Shade No.1	1979 (昭和54)	リトグラフ、両面刷り、紙	49.0×29.6
23	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 1) Wire Net Between Paper and Black Ink No.2 (紙とインクの間に金網 No.2)	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙、金網	46.4×32.1
24	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 2) Paper Between Same Line and Same Line No.3 (同じ線と同じ線の間に紙 No.3)	1979 (昭和54)	リトグラフ、両面刷り、紙	50.2×35.2
25	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 3) Paper Between Black Ink Stain and Black Ink Stain No.5 (黒インクのしみと黒インクのしみの間に紙 No.5)	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、両面刷り、シーヌ = コレ、紙	46.8×30.8
26	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 4) Paper on Paper (紙の上の紙)	1979 (昭和54)	リトグラフ、シーヌ = コレ、紙	47.7×33.6
27	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 5) Paper Between Line and Line No.5 (線と線の間に紙 No.5)	1979 (昭和54)	リトグラフ、エッチング、両面刷り、シーヌ = コレ、紙	45.6×30.7
28	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 6) Paper Between Scratching and Scratching No.6 (掻ききずと掻く事の間に紙 No.6)	1979 (昭和54)	リトグラフ、エッチング、両面刷り、紙	45.6×30.8
29	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 7) Iron Sand on Iron Plate (鉄板の上に砂鉄)	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、鉄、紙	47.0×33.0
30	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 8) Falling and Horizontal - paper as time suspending gravity (落下と水平)	1979 (昭和54)	リトグラフ、両面刷り、シーヌ = コレ、紙	47.2×33.5
31	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 9) Paper Between Dropped Stain and Dispersed Stain - paper as time suspending gravity (落下のしみと拡がるしみの間に紙)	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、両面刷り、紙	47.1×33.0
32	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 10) Paper Between Touching and Scratching (撫でる事の間に紙)	1979 (昭和54)	リトグラフ、両面刷り、シーヌ = コレ、紙	46.2×31.4
33	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 11) Gauze in Ink (黒インクの中の紗)	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紗、紙	50.2×35.0
資料 一原有徳著 (クライ・アント刊)		『単独行 九糸郎』	1997 (平成9)		

* 寸法は縦×横。

* 作品は資料を除き、すべて北海道立帯広美術館蔵 (平成25年度新収蔵品)。

写真～アート

会期＝平成26年7月18日(金)－9月24日(水) 59日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日は無料
開館を記念し、9月23日は観覧無料
()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2014サマー

「写真★アートに入りこめ！」

日時＝8月10日(日) 午前10時～11時、11時30分～12時30分／全2回

＊「よりどりみどりがおかフェスタ！」連携事業としても実施。

会場＝当館コレクション・ギャラリー(小学生参加無料、応募制)

私たちの生活にすっかり身近になった写真画像。アートの世界でも写真技術を用いた表現の幅は広がり、今日では記録のためばかりでなく、創造のためのメディアとしても、写真は用いられている。また、コンピューターやプリンターなどの機器も、写真と併用して美術作品に使用されるようになり、“プリントアート”の枠組みは非常に広がっている。



会場風景

本展では、そんなプリントアートの多様性に着目しながら作品を紹介した。インスタレーションを撮影したニルス＝ウドの作品や、モチーフの形の美しさ・色の鮮烈さを撮影によって引き出した岡本和行の作品、写真をコンピューターで加工し、幻想的な印象を付与した奥野稔和の作品など、6作家11点の作品により、現代のプリントアートの魅力を探る機会とした。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	岡本和行	Art Nouveau	2009 (平成21)	インクジェットプリント、紙	各103.0×72.8 (4枚一組)
2	岡本和行	Flower Garden	2009 (平成21)	インクジェットプリント、紙	各42.9×29.7 (99点組)
3	岡本和行	Bourgogne	2009 (平成21)	インクジェットプリント、紙	165.0×106.0
4	奥野稔和	94D-Museum-N-2	1994 (平成6)	タイプC プリント	119.5×137.0
5	奥野稔和	98V-0515X	1998 (平成10)	インクジェットプリント、ポリフィルム	80.2×222.0
6	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13～普賢岳 (川は水を必要としていた)	1994 (平成6)	ミクストメディア (土、石、灰、木、合成樹脂、印画紙)	169.0×225.0
7	ニルス＝ウド	マロニエの葉／フランス、オート＝ソーヌ県、 エクヴィレイ、1985年	1985	イルフォクローム	74.3×74.4
8	ニルス＝ウド	ロードデンドロンの葉、松葉／フランス、リ ムーザン地方、ヴァシヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.9×99.7
9	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)	1990 (平成2)	カラー写真プリント、印画紙	132.9×97.8
10	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)	1990 (平成2)	カラー写真プリント、印画紙	185.3×100.1
11	出店久夫	私風景 '94－少女図	1994 (平成6)	ゼラチンシルバープリント、写真用染料、 調色剤、色鉛筆、手彩色	253.5×244.0

＊寸法は縦×横。

＊作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

麗しき女性像 ―ポスターにみる“企てのイメージ”

会期＝平成26年10月3日(金)－12月3日(水) 54日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての

観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

芸術週間(11月1日～11月7日)は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

19世紀から20世紀にかけてのヨーロッパでは、資本主義経済の発展と印刷技術の進歩により、大判の商業ポスターがさかんに制作された。そうしたポスターに登場する主役の多くは、麗しき女性像であった。商品の紹介やイベントの告知であっても、軽やかにポーズをとる女性の姿を大きく描き、街ゆく人の視線を集めようとしたのである。広報戦略としてポスターに登場した女性像は、当時の社会が求め、作り上げた姿であり、ありのままの女性を映し出したものではないことを意識する必要がある。例えば、20世紀前半は、女性の喫煙率が低かったにもかかわらず、主たる購買層の男性の目をひきつけるべく、タバコを手笑顔をふりまく女性が描かれたのであった。

この展覧会では、当館が所蔵するポスターコレクションの中から、ポスターの父といわれたシェレ、ロートレック、ミュシャ



会場風景

などが手がけた優作18点をご紹介します、ポスターに描かれた女性像をたどりながら、なぜ女性がポスターの主役として描かれたのかを考え、また世相や流行、女性をとりまく環境の変化を読み解くことを試みた。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	ジュール・シェレ	マリアーニ・ワイン	1894	リトグラフ、紙	53.9×37.3
2	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
3	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1894	リトグラフ、紙	51.2×33.2
4	ジュール・シェレ	ルーヴル百貨店―1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
5	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館（文字刷り前のポスター）	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
6	ジュール・シェレ	白粉「ディアファーマ」	1890	リトグラフ、紙	39.0×82.6
7	アルフレッド・シュエブラク	トゥルーヴィルのカジノ、エデン・サロン	1885頃	リトグラフ、紙	130.0×90.5
8	アルフレッド・シュエブラク	カジノ・ド・ビアリッツ	1885頃	リトグラフ、紙	130.5×93.5
9	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
10	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0
11	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アブリコティヌ」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
12	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
13	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エグランティヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.5×79.0
14	レオネット・カピエロ	甘草入りドロップ「カシュ・ラジョーニー」	1920	リトグラフ、紙	144.0×92.0
15	ピエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
16	ジャン＝ガブリエル・ドメルグ	パゲーラ	1935	リトグラフ、紙	117.6×75.2
17	シャルル・ルポー／ジャン・カルリュ	石鹸「モンサヴォン」	1936	リトグラフ、紙	64.8×46.0
18	ルネ・グリュオー (レナート・デ・ザヴァリ・リッカルデッリ)	くつろぎ	1950	リトグラフ、紙	80.0×60.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

井田照一展 接点としての版画

会期＝平成26年12月13日(土)－平成27年3月31日(水) 82日間
(平成27年度に継続／4月15日(水)まで 計95日間)
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

井田照一(1941～2006)は京都を拠点に、国内外で高い評価を集めた美術家。京都市立美術大学(現・京都市立芸術大学)に学んだのち、1960年代中頃、清新な色彩と抽象的なフォルムによるリトグラフ作品を発表し注目されたが、60年代終盤から70年代初めにかけて、具象的なモチーフを取り込んだ作風へと展開。やがて70年代半ば以降は版画の生成過程に着目した作品を手がけるようになり、概念的な表現傾向を深めていった。多くの作品名に付けられた「Surface is the Between - Between Vertical and Horizon」(表面は間である - 垂直と水平の間)という言葉からは、垂直方向に作用する力と水平面との間に生じた接点として、版画をとらえる井田独自の造形思考がうかがわれる。

当館では平成25年度、井田照一の初期から晩年に至る主要な作品45点を、イダシヨウイチスタジオからの寄贈により新しく収蔵した。本展ではそれらの貴重な作品群により、画業の変遷を辿りながら井田照一の芸術を紹介した。展示にあたっては、作家生前の個展における配列方法を一部参考とした。

概念的なテーマ性、素材や手法に対する繊細な感覚、詩的で叙情的な雰囲気漂わせた作風を軸として、現代日本の美術界に特異な軌跡を記した作家の表現世界を概観できる機会となり、多くの来場者の注目を集めた。



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	Animals	1961(昭和36)	リトグラフ、紙	28.5×37.7
2	Heart	1965(昭和40)	リトグラフ、紙	23.3×27.3
3	tie up	1963(昭和38)	リトグラフ、紙	47.0×58.0
4	eating	1965(昭和40)	リトグラフ、紙	42.0×30.5
5	(無題)	1965(昭和40)	リトグラフ、紙	43.0×50.0
6	Woman in Sand No.3	1965(昭和40)	リトグラフ、紙	44.5×53.0
7	朝のソプラノ	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	51.8×63.2
8	Wait	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	50.3×62.5
9	you	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	66.2×52.4
10	in the tree	1966(昭和41)	リトグラフ、紙	66.4×52.6
11	Summer No.2	1967(昭和42)	リトグラフ、紙	52.4×66.4
12	Noon	1971(昭和46)	リトグラフ、紙	150.0×63.0
13	Dance on the grass	1971(昭和46)	シルクスクリーン、紙	69.8×53.6
14	Romance	1971(昭和46)	シルクスクリーン、紙	73.2×53.6
15	Deer	1971(昭和46)	シルクスクリーン、紙	69.9×53.5
16	Pink Grass	1971(昭和46)	シルクスクリーン、紙	70.0×54.0

No.	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
17	Fresh Wind	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	70.5×53.8
18	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Between Stone and Stone	1976(昭和51)	リトグラフ、両面刷り、紙	56.0×74.5
19	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 1) Wire Net Between Paper and Black Ink No.2 (紙とインクの間に金網 No.2)	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙、金網	46.4×32.1
20	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 2) Paper Between Same Line and Same Line No.3 (同じ線と同じ線の間に紙 No.3)	1979(昭和54)	リトグラフ、両面刷り、紙	50.2×33.0
21	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 3) Paper Between Black Ink Stain and Black Ink Stain No.5 (黒インクのしみと黒インクのしみの間に紙 No.5)	1979(昭和54)	シルクスクリーン、両面刷り、シーヌ=コレ、紙	46.8×30.8
22	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 4) Paper on Paper (紙の上の紙)	1979(昭和54)	リトグラフ、シーヌ=コレ、紙	47.7×33.6
23	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 5) Paper Between Line and Line No.5 (線と線の間に紙 No.5)	1979(昭和54)	リトグラフ、エッチング、両面刷り、シーヌ=コレ、紙	45.6×30.7
24	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 6) Paper Between Scratching and Scratching No.6 (掻ききずと掻く事の間に紙 No.6)	1979(昭和54)	リトグラフ、エッチング、両面刷り、紙	45.6×30.8
25	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 7) Iron Sand on Iron Plate (鉄板の上に砂鉄)	1979(昭和54)	シルクスクリーン、鉄、紙	47.0×33.0
26	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 8) Falling and Horizontal - paper as time suspending gravity (落下と水平)	1979(昭和54)	リトグラフ、両面刷り、シーヌ=コレ、紙	47.2×33.5
27	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 9) Paper Between Dropped Stain and Dispersed Stain - paper as time suspending gravity (落下のしみと拡がるしみの間に紙)	1979(昭和54)	シルクスクリーン、両面刷り、紙	47.1×33.0
28	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 10) Paper Between Touching and Scratching (撫でる事の間に紙)	1979(昭和54)	リトグラフ、両面刷り、シーヌ=コレ、紙	46.2×31.4
29	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 11) Gauze in Ink (黒インクの中の紗)	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紗、紙	50.2×35.0
30	Garden Project - Locus Sutra - Descended Level - Well from Karma No.29	1987-88 (昭和62-63)	ミクストメディア (型どり、泥で染色、水彩、 布、紗、紙)	各 183.0×132.0× 8.5 (パネル2枚一組)
31	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Leaf and Shade No.1	1979(昭和54)	リトグラフ、両面刷り、紙	49.0×29.6
32	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Twig and Water No.22	1981(昭和56)	リトグラフ、両面刷り、紙	54.7×39.2
33	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Four Stones and Water No.50	1981(昭和56)	リトグラフ、シルクスクリーン、両面刷り、紙	53.7×78.9
34	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Water and Water	1981(昭和56)	リトグラフ、両面刷り、紙	53.8×78.8
35	Surface is the Between - Field Horizon Between Vertical and Horizon No.101	1981(昭和56)	リトグラフ、紙	65.2×46.2
36	Surface is the Between - Field Horizon Between Vertical and Horizon No.105	1981(昭和56)	リトグラフ、紙	62.8×45.8
37	Surface is the Between - The Paper - No.2	1981(昭和56)	リトグラフ、オフセット・リトグラフ、紙	103.2×76.2
38	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Earl Grey on Gray	1981(昭和56)	リトグラフ、コラージュ、紙	102.8×77.2
39	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Stone and Brook	1983(昭和58)	リトグラフ、シルクスクリーン、シーヌ=コレ、紙	90.7×64.5
40	Garden Project - Locus Sutra - Broken Twig and Stone - After Hunting No.21	1986(昭和61)	ミクストメディア (型どり、泥で染色、パステル、 墨、布、紗、石、枝、糸、紙)	75.0×110.0×6.0
41	Sazare - A - 1	1993 (平成5)	ソフトグランドエッチング、スピットポイント、 シーヌ=コレ、ドライポイント、紙	49.8×50.0
42	Sazare - A - 2	1993 (平成5)	ソフトグランドエッチング、スピットポイント、 シーヌ=コレ、アクアチント、ドライポイント、紙	50.0×50.1
43	Sazare - A - 3	1993 (平成5)	ソフトグランドエッチング、スピットポイント、 シーヌ=コレ、ドライポイント、紙	50.0×50.0
44	Sazare - A - 4	1993 (平成5)	ソフトグランドエッチング、スピットポイント、 シーヌ=コレ、アクアチント、ドライポイント、紙	49.8×49.8
45	Penetration / Evaporation - 10	2003(平成15)	水彩、判子、紙	67.3×33.2 ほか (5点組)

* No. は展示配列順に整理した。

* 寸法は縦×横 (×厚み)。版画作品の寸法はイメージ寸を示す。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (平成25年度新収蔵品)。

特別展一覧

平成25年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
1	画家 岸田劉生の軌跡 油彩画、装丁画、水彩画などを中心に	4月12日(金) ～6月1日(土)	44	主催／北海道立帯広美術館 企画協力／公益財団法人 日動美術財団 助成／芸術文化振興基金	
2	20世紀のプリントアート	6月8日(土) ～8月28日(水)	70	主催／北海道立帯広美術館	
3	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 —天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女	9月7日(土) ～11月13日(水)	59	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、山本二三展実行委員会 協力／絵映舎	
4	道東アートファイル2013 in the LIGHT / in the SHADOW	11月22日(金) ～2月2日(日)	58	主催／北海道立帯広美術館 協賛／斉藤道俊法律事務所	
5	帯広美術館コレクション選 十勝の美術100年	2月11日(火・祝) ～3月30日(日)	42	主催／北海道立帯広美術館	

平成26年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
1	帯広美術館コレクション選 十勝の美術100年	4月1日(火) ～4月16日(水)	14	主催／北海道立帯広美術館	平成25年度より継続
2	帯広美術館コレクション選 美術のみ・か・た 7つの扉	4月25日(金) ～7月9日(水)	65	主催／北海道立帯広美術館 協賛／帯広大谷短期大学	
3	大正ロマン昭和モダン展 時代を彩った挿絵画家たち—竹久夢二・高島華宵から中原淳一まで	7月18日(金) ～9月24日(水)	59	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、大正ロマン昭和モダン展実行委員会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」 後援／帯広市、帯広市教育委員会、十勝町村会、十勝管内教育委員会連絡協議会、帯広市校長会、十勝小・中校長会、北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、NHK 帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB 帯広支社、(一財)帯広市文化スポーツ振興財団 監修／中右瑛(国際浮世絵学会常任理事) 企画協力／イー・エム・アイ・ネットワーク	
4	中谷有逸展 碑を刻み、生命を謳う。	10月3日(金) ～12月3日(水)	54	主催／北海道立帯広美術館 特別協賛／六花亭製菓株式会社、帯広信用金庫、平原社美術協会 助成／芸術文化振興基金	

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
5	生誕100周年 トーベ・ヤンソン展 ～ムーミンと生きる～	12月13日(土) ～2月15日(日)	51	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO 十勝文化会議、トーベ・ヤンソン展実行委員会 後援／フィンランド大使館、北海道教育庁十勝教育局、十勝町村会、十勝管内各教育委員会、帯広市校長会、十勝小・中校長会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委員会、(一財)帯広市文化スポーツ振興財団、NHK 帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB 帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協賛／エプソン販売(株)、日本写真印刷、北海道会場協賛／帯広信用金庫、キクミ、サカタインクス、札幌新聞輸送、第一生命、大成建設、竹川会計事務所、DIC グラフィックス、東京機械製作所、中井会計事務所、損害保険ジャパン日本興亜、日本新聞インキ、日本生命、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ、ホクレン農業協同組合連合会、北海道拓殖バス、三井住友海上火災保険、宮坂建設工業 協力／フィンランド国立アテネウム美術館、(株)タトル・モリエイジェンシー、フィンエアー、フィンエアー・カーゴ、(株)河出書房新社、(公財)ギャラリーエークワッド、(株)講談社、S2(株) 企画協力／朝日新聞社	
6	バルビゾン —19世紀の絵画と写真	2月24日(火) ～3月31日(火)	31	主催／北海道立帯広美術館 協賛／斉藤道俊法律事務所	平成27年度に継続(4月15日(火)まで計44日間)

画家 岸田劉生の軌跡 油彩画、装丁画、水彩画などを中心に

会期＝平成25年4月12日(金)－6月1日(土) 44日間

主催＝北海道立帯広美術館

企画協力＝公益財団法人 日動美術財団

助成＝芸術文化振興基金

観覧料＝一般900(700)円、高大生600(400)円、小中生300(200)円

小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「『余技ではない』—劉生の装丁とその周辺」

講師＝森田 一氏(うらわ美術館学芸員)

日時＝4月13日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

特別展セミナー

「岸田劉生の軌跡—出品作品を中心に」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝4月20日(土)、6月1日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「ねんどあそび」

日時＝5月11日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

キッズ・ツアー

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝5月18日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ワークショップ

「劉生のブックワークに親しむ」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝5月19日(日) 午前10時～11時30分、午後2時～3時30分
／全2回

会場＝当館講堂、主展示室(参加料700円、応募制)

図録

規格＝27.9×22.4cm／総頁数126ページ

構成＝はじめに／富山秀男「『内なる美』の実現をめざす求道者」
／カタログ／森田一「『余技ではない』—劉生の装丁について」
／大下智一「岸田劉生の水彩、素描について」／松

画家 岸田劉生の軌跡
油彩画、装丁画、水彩画などを中心に

劉生、再発見！



2013.4.12(金)ー6.1(土) 特別展—岸田劉生展(ただし4月20日(土)、5月18日(土)、5月19日(日)、5月20日(日)、5月21日(日)は休館日)

観覧料＝一般900(700)円、高大生600(400)円、小中生300(200)円

北海道立帯広美術館
〒080-0801 帯広市南10条5丁目1番1号
TEL 0157-22-0000
FAX 0157-22-0001
http://www.hokkaido-museum-of-art.jp/daikyo
ご意見・お問い合わせ 0157-22-0001 ext. 200

ポスター



図録

本育子「岸田劉生の『図画教育論—我子への図画教育』に関する一考察」／岸田劉生年譜／岸田劉生の理解のために—主な文献／作品リスト

関連記事

石尾乃里子「おびひろミュージアム通信 “かわいい” 劉生」
釧路新聞／4月1日(月)

「とかちフォトギャラリー 多芸多才な画業たどる」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／5月2日(木)

石尾乃里子「岸田劉生 絵と言葉と『内なる美』①～④」十勝毎日新聞／5月4日(土)～8日(水)

齊藤千鶴子「水滴 劉生の書画」毎日新聞(道内版 朝刊)／5月25日(土)

1891(明治24)年、東京に生まれた岸田劉生は、黒田清輝が主宰する白馬会洋画研究所に入り油彩画を学んだ。やがて白樺派の作家たちとの親交を通じ、後期印象派の影響を受けて作品を

制作したが、しだいに北方ルネサンスの様式を手がかりとした精緻な写実表現に転じ、深い静謐さにみちた静物画や肖像画を手がけた。その後大正期の後半には、宋元画や初期肉筆浮世絵、南画などの東洋的な美に関心を寄せ新たな様式を模索したが、1929(昭和4)年、38歳の若さで病没した。

振幅のある画風の変遷とともに、劉生の手がけた分野は多岐にわたり、油彩画のほか水彩素描、日本画、版画、そして武者小路実篤らとの交友を背景とした本の装丁画も数多く残している。これらの作品には、彼が写実とともに芸術の根本として重んじた装飾にかかわる意志が反映されている。本展では画家・岸田劉生のこうした多才な画業に焦点をあて、「『内なる美』の追求」、「装丁画」、「東洋の美への傾倒」の3つの章により約150点を展覧。「装丁画」の章では、北海道立文学館、北海道立図書館所蔵の装丁本をあわせて紹介した。美術講演会やワークショップなど関連事業も実施し、これまではあまり知られてこなかった劉生の作品世界の魅力にふれる機会とした。

出品目録

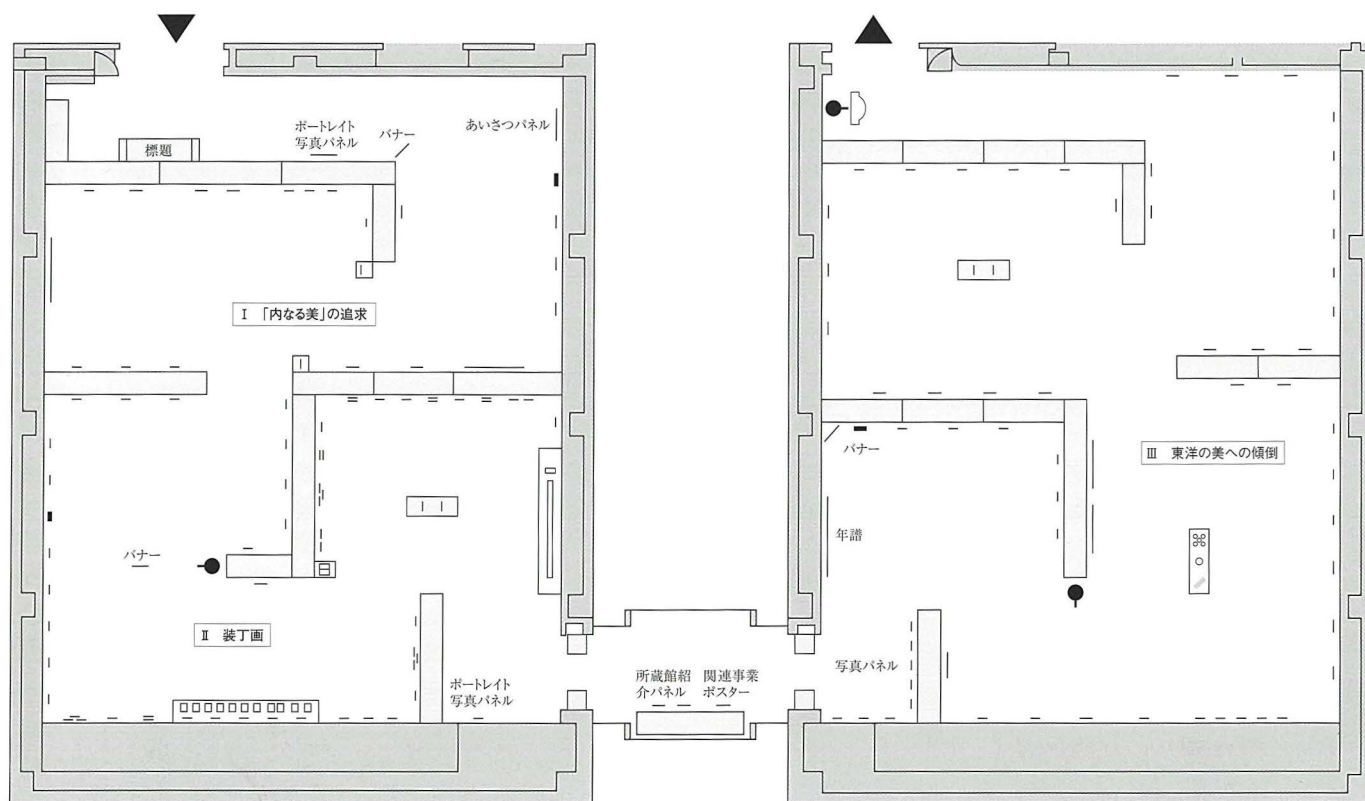
No.	図録番号	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法 (cm)	備考
I 「内なる美」の追求						
1	98	築地風景	1912 (明治45)	木版、紙	17.7×25.7	
2	1	築地居留地	1913 (大正2)	油彩、ボード	23.7×33.0	
3	2	代々木附近	1913 (大正2)	油彩、キャンバス	37.0×44.5	
4	116	The Mid.day	1913 (大正2)	紙本彩色	127.0×28.0	
5	3	第2回フユウザン会展 会場装飾画	1913 (大正2)	油彩、ボール紙	65.0×176.0	
6	4	自画像	1913 (大正2)	油彩、キャンバス	45.4×33.2	
7	7	裸体習作	1913 (大正2)	油彩、キャンバス	61.0×46.0	
8	5	友の肖像	1913 (大正2)	油彩、板	33.4×23.9	
9	6	男の像〔No.8「友の肖像」裏面〕	1913 (大正2)	油彩、板	33.4×23.9	
10	9	男の像	1914 (大正3)	鉛筆、紙	31.9×26.6	
11	10	画家の家族〔No.10「男の像」裏面〕	1914 (大正3)	鉛筆、ペン、紙	38.0×29.1	
12	8	月下遊戯 (一)	1914 (大正3)	墨、紙	13.0×13.0	
13	99	「天地創造」より 1. 欲望	1914 (大正3)	エッチング、紙	12.5×12.5	
14	100	「天地創造」より 2. 怒れるアダム	1914 (大正3)	エッチング、紙	12.5×12.5	
15	101	「天地創造」より 3. 石を嘔む人	1914 (大正3)	エッチング、紙	12.5×12.5	
16	11	「天地創造」より 裸婦群像	1914 (大正3)	頃 油彩、キャンバス	31.4×40.8	
17	12	「天地創造」より 裸婦一人	1914 (大正3)	頃 油彩、キャンバス	31.4×40.8	
18	102	The Earth	1915 (大正4)	頃 木版、紙	42.3×32.0	
19	13	丘の婦人	1914 (大正3)	頃 水彩、紙	17.2×13.0	
20	14	第1回草土社展会場装飾画	1915 (大正4)	油彩、ボール紙	65.0×176.0	
21	16	片瀬川	1916 (大正5)	水彩、ペン、紙	25.4×16.0	
22	15	代々木風景	1916 (大正5)	水彩、紙	29.0×29.0	



会場風景



会場風景



展示図面

No.	図録番号	作品名	制作年〔発行年〕	技法材質・形状	寸法 (cm)	備考
23	17	古屋君の肖像	1916 (大正5)	水彩、紙	22.5×18.8	
24	18	二階よりのスケッチ	1917 (大正6)	水彩、紙	19.2×23.9	
25	114	木村莊八之像	1917 (大正6)	コンテ、紙	31.0×23.0	
26	19	村娘	1917 (大正6)	鉛筆、水彩、紙	31.2×23.7	
27	20	麗子之像	1918 (大正7)	木炭、コンテ、紙	30.6×23.4	
28	21	村娘之図	1919 (大正8)	木炭、パステル、水彩、紙	40.7×31.5	
29	22	静物 (林檎と葡萄)	1919 (大正8)	油彩、板	24.1×33.2	
30	115	りんご	1918 (大正7)	ペン、紙	13.7×9.8	
31	117	静物	1919 (大正8)	紙本彩色	126.0×30.2	
32	23	村童図	1921 (大正10)	木炭、紙	29.4×23.9	
33	24	丸山君の像	1921 (大正10)	油彩、キャンパス	40.7×31.5	
II 装丁画						
34	54	『帝國文學』十月号 表紙	1916 (大正5)	水彩、墨、紙	22.3×15.1	
35	55	『カチカチ山』(武者小路実篤作 岸田劉生画)	1917 (大正6)	水彩、紙	22.0×15.0	
36	56	『かちかち山』	1917 (大正6)	水彩、紙	22.0×14.9	
37	57	『愛の本』	1918 (大正7)	墨、紙	22.4×14.9	
38	95	『草土社第六回美術展覧会目録』表紙	1918 (大正7)	木版、紙	20.1×14.2	
39	79	千家元麿『虹』表紙	1919 (大正8)	木版、紙	19.4×27.9	
40	80	千家元麿『虹』見返し	1919 (大正8)	木版、紙	19.0×25.5	
41	81	千家元麿『虹』扉	1919 (大正8)	木版、紙	19.2×11.6	
42	61	武者小路実篤『幸福者』表紙	1919 (大正8)	木版、紙	19.4×28.3	
43	71	長与善郎『生活の花』表紙	1918 (大正7)	木版、紙	19.3×28.3	
44	72	長与善郎『生活の花』見返し	1918 (大正7)	木版、紙	19.3×25.5	
45	—	『白樺』第九年八月号	[1918 (大正7)]	装丁本	22.0×14.8	北海道立文学館蔵
46	—	『白樺』第十年二月号	[1919 (大正8)]	装丁本	21.8×14.9	北海道立文学館蔵
47	88	『白樺』十周年記念号 表紙	1919 (大正8)	木版、紙	21.2×29.8	
48	—	『白樺』第十年四月号 (十周年記念号)	[1919 (大正8)]	装丁本	22.0×14.8	北海道立文学館蔵
49	89	『白樺』第十年十一月号 表紙	1919 (大正8)	木版、紙	20.9×29.7	
50	—	『白樺』第十年十一月十二月合本号	[1919 (大正8)]	装丁本	22.2×14.8	北海道立文学館蔵
51	91	『白樺』第十一年十二月号 表紙	1920 (大正9)	木版、紙	21.1×29.8	
52	—	『白樺』第十一年十月号	[1920 (大正9)]	装丁本	22.0×15.0	北海道立文学館蔵
53	—	長与善郎『孔子之帰国』	[1920 (大正9)]	装丁本	19.3×13.2	北海道立文学館蔵
54	—	武者小路実篤『第二の母』	[1920 (大正9)]	装丁本	19.3×13.3	北海道立文学館蔵
55	76	千家元麿詩集『自分は見た』表紙	1918 (大正7)	木版、紙	19.8×28.4	
56	—	千家元麿詩集『自分は見た』	[1918 (大正7)]	装丁本	19.0×13.3	北海道立文学館蔵
57	60	室生犀星詩文集『高麗の花』表紙	1924 (大正13)	水彩、紙	19.9×27.8	

No.	図録番号	作品名	制作年〔発行年〕	技法材質・形状	寸法 (cm)	備考
58	—	室生犀星詩文集『高麗の花』	〔1924 (大正13)〕	装丁本	19.0×14.3	北海道立文学館蔵
59	—	室生犀星『庭を造る人』	〔1927 (昭和2)〕	装丁本	19.1×13.5	北海道立図書館蔵
60	58	『あだむ』	1920 (大正9)	水彩、紙	22.2×32.1	
61	68	武者小路実篤『雑三百六十五』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	18.6×26.1	
62	63	武者小路実篤『一本の枝』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.4×28.4	
63	67	武者小路実篤『友情』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.2×28.3	
64	64	武者小路実篤『友情』特装本 表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.4×28.5	
65	65	武者小路実篤『友情』特装本 見返し	1920 (大正9)	木版、紙	19.2×25.4	
66	66	武者小路実篤『友情』特装本 扉	1920 (大正9)	木版、紙	19.0×12.7	
67	128	武者小路実篤全集装丁画画稿	1923 (大正12) 頃	水彩、紙	各20.5×14.8	
68	105	菊慈童麗子	1920 (大正9)	木版、紙	34.2×49.2	
69	資料2	『劉生画集及芸術観』	1920 (大正9)	装丁本	30.5×23.2	
70	83	『劉生画集及芸術観』見返し	1920 (大正9)	木版、紙	31.9×44.0	
71	84	『劉生画集及芸術観』扉	1920 (大正9)	木版、紙	30.3×20.4	
72	73	長与善郎『或る人々』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.6×28.3	
73	74	長与善郎『或る人々』見返し	1920 (大正9)	木版、紙	19.3×25.4	
74	75	長与善郎『或る人々』扉	1920 (大正9)	木版、紙	19.1×12.6	
75	77	千家元麿『青い枝』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.4×28.4	
76	78	千家元麿『青い枝』扉	1920 (大正9)	木版、紙	18.2×12.6	
77	82	『水野仙子集』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.4×28.4	
78	86	詩同人詩集『麦』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.2×28.3	
79	87	詩同人詩集『麦』扉	1920 (大正9)	木版、紙	19.1×12.7	
80	90	『白樺』第十一年六月号 表紙	1920 (大正9)	木版、紙	20.2×29.7	
81	92	『白樺同人脚本集』表紙	1919 (大正8)	木版、紙	18.9×28.4	
82	93	『白樺十周年記念集』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	24.2×34.1	
83	94	『白樺十周年記念集』見返し	1920 (大正9)	木版、紙	20.7×28.9	
84	69	武者小路実篤『埋もれてゐたもの』表紙	1921 (大正10)	木版、紙	19.3×28.3	
85	85	レッシング『賢者ナアタン』(菅藤高德訳) 表紙	1921 (大正10)	木版、紙	19.4×29.9	
86	62	武者小路実篤『人間的生活』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	19.1×27.6	
87	96	『劉生図案画集』表紙	1921 (大正10)	木版、紙	31.3×23.0	
88	97	『劉生図案画集』奥付	1921 (大正10)	木版、紙	25.1×16.4	
89	70	武者小路実篤『童話劇三篇』表紙	1920 (大正9)	木版、紙	20.8×30.6	
90	59	『地蔵と鬼』	1921 (大正10) 頃	顔彩、墨、紙	20.2×13.6	
91	53	『地蔵と鬼』	1921 (大正10)	顔彩、墨、紙	各20.2×13.6	

Ⅲ 東洋の美への傾倒

92	27	新富座寺子屋図	1922 (大正11)	油彩、板	15.6×22.8
93	29	寒山風麗子像	1922-23 (大正11-12)	紙本墨画淡彩	62.5×39.1
94	30	丹畫麗子像	不詳	墨、丹、紙	40.1×26.7
95	26	童女煎茶	1922 (大正11)	紙本淡彩	33.3×33.2
96	28	七童図	不詳	紙本墨画淡彩	111.4×33.8
97	25	村嬢図 (うちわ絵)	1922 (大正11)	墨、水彩、紙	23.4×25.0
98	111	舂川帳に題す	1923 (大正12)	紙本墨書	31.3×88.2
99	31	村嬢愛果	不詳	紙本彩色	33.7×24.4
100	33	一柿	1923 (大正12)	紙本彩色	17.6×23.7
101	32	秋閑	不詳	紙本彩色	35.0×46.5
102	36	燕	1925 (大正14)	絹本彩色・軸装	18.4×26.6
103	106	彩果五題 (葡萄、枇杷)	不詳	木版、紙	23.3×30.3
104	107	彩果五題 (莓)	不詳	木版、紙	23.3×30.3
105	108	彩果五題 (パイナップル)	不詳	木版、紙	23.3×30.3



28 「村嬢之図」



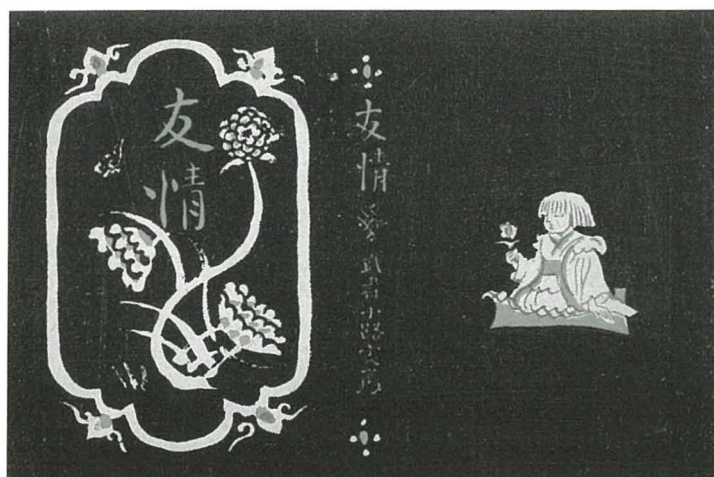
29 「静物(林檎と葡萄)」

No.	図録番号	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法 (cm)	備考
106	109	彩果五題 (桃、みかん)	不詳	木版、紙	23.3×30.3	
107	110	彩果五題 (林檎、柿、ざくろ)	不詳	木版、紙	23.3×30.3	
108	131	梅枝之図	1925 (大正14)	絹本彩色・軸装	28.0×26.3	
109	127	あざみ	1924 (大正13)	紙本彩色・軸装	106.0×24.4	
110	35	桃	不詳	紙本彩色	90.5×53.0	
111	130	りんご	不詳	紙本彩色	20.7×29.0	
112	129	蓮根	1925 (大正14)	紙本彩色	20.7×29.0	
113	34	枇杷図	1925 (大正14)	紙本墨画	30.0×38.7	
114	122	九夏錦囊図	1924 (大正13)	紙本彩色・軸装	128.8×32.2	
115	123	石榴小禽図	不詳	紙本彩色・軸装	132.2×33.6	
116	45	蓮根	不詳	紙本墨画淡彩	34.7×120.2	
117	46	白桃	不詳	紙本墨画淡彩	34.7×120.2	
118	資料3	精鑄水：目薬 岸田吟香「楽善堂」				
119	112	たけのこくわいの皿	不詳	陶器に彩色	径18.2	
120	113	絵皿五客	不詳	陶器に彩色	各11.3×11.3	
121	120	竹林七童図	1924 (大正13)	紙本彩色・軸装	129.9×32.5	
122	37	調脂弄粉	不詳	紙本墨画淡彩・軸装	132.0×42.7	
123	38	漁樵問答	不詳	紙本彩色・軸装	146.8×38.9	
124	40	歳寒三友之図	1927 (昭和2)	紙本彩色	137.5×34.2	
125	41	兎	不詳	紙本墨画淡彩・軸装	111.0×27.5	
126	121	村嬢観魚	1925 (大正14)	紙本彩色・軸装	63.7×22.0	
127	119	塘菴閑居図	不詳	紙本彩色・軸装	133.1×32.7	
128	124	画人無為	1926 (大正15)	紙本彩色	44.0×23.5	
129	39	猫図	1926 (大正15)	紙本彩色	30.9×37.9	
130	125	菊慈童	1926 (大正15)	絹本彩色	45.3×27.0	
131	42	二友清交	1928 (昭和3)	絹本墨画淡彩	28.5×47.9	
132	118	麗子曼荼羅	不詳	紙本彩色	127.1×29.9	
133	126	童女遊戯	1926 (大正15)	木版、手彩色、紙・軸装	25.8×7.3	
134	134	富士山遠望 鶴沼より丹沢連峯と白梅	1926-27 (大正15-昭和2)	墨、紙	40.5×53.0	
135	51	桃の実	不詳	紙本墨画淡彩	23.4×61.8	
136	52	たけのこ	不詳	墨、紙	29.0×53.0	
137	43	向寒三色	不詳	紙本墨画	35.2×45.0	
138	47	綿うさぎ之図	1929 (昭和4)	紙本墨画淡彩・軸装	45.0×28.0	
139	48	漁師之図	不詳	紙本墨画淡彩	50.2×34.1	
140	49	樹下喜遊	不詳	紙本墨画淡彩	63.2×32.6	
141	50	百事如意	不詳	紙本墨画淡彩	134.0×34.0	
142	132	帯 松籟	不詳	絹本彩色	45.0×31.0	
143	103	村娘	1928 (昭和3)	木版、水彩、紙	26.2×21.5	
144	104	麗子像	1928 (昭和3)	リトグラフ、墨、紙	30.2×24.7	
145	133	不老門	1929 (昭和4)	墨、紙	27.8×58.0	
146	44	麗子十六歳之像	1929 (昭和4)	油彩、キャンバス	45.3×23.0	
147	資料1	デスマスク	1929 (昭和4)	ブロンズ	25.0×18.0	

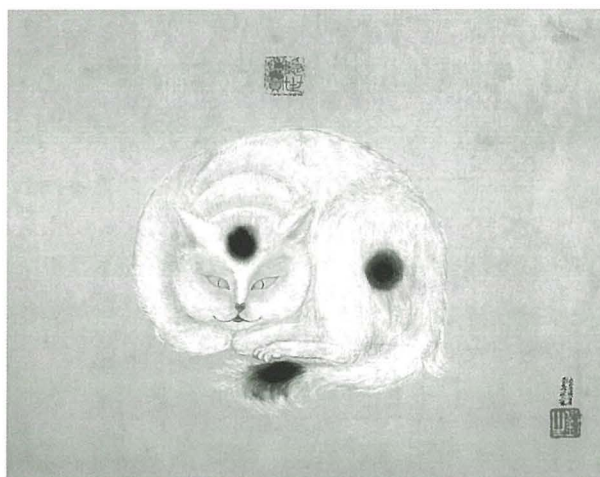
* No. は展示配列順に整理した。

* 寸法は縦×横。

* 作品は No.45,46,48,50,52,53,54,56,58,59を除き、すべて笠間日動美術館蔵。



64 「武者小路実篤『友情』特装本表紙」



129 「猫図」

20世紀のプリントアート

会期＝平成25年6月8日(土)－8月28日(水) 70日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般500(400)円、高大生300(250)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

キッズ・ツアー

講師＝佐藤由美加(当館主任学芸員)

日時＝6月8日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「ポンポン版画にチャレンジ」

日時＝6月29日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

ミュージアム・カレッジ

「プリントアート解体新書！」

ゲスト＝池田良二氏(出品作家、8月3日)

講師＝当館学芸員

日時＝7月20日(土)、7月27日(土)、8月3日(土) 午後2時～3時
30分／全3回

会場＝当館講堂、主展示室(参加料400円、応募制)

デモンストレーション&トークショー

講師＝池田緑氏(出品作家、8月10日)、中谷有逸氏(出品作家、
8月18日)

日時＝8月10日(土)、8月18日(日) 午後2時～3時30分

会場＝当館主展示室、講堂(参加無料、応募制)

主催＝帯広美術館振興会、北海道立帯広美術館

オビビ・キッズ・アートフェスタ

つくるん・みるるん・あそぶん

ワークショップ「ちぎり絵」

日時＝8月11日(日) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー(参加無料、応募制)

主催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、北海道立帯
広美術館

特別展セミナー

「20世紀のプリントアート」



Print-Art in 20th Century



2013 6月8日(土)－8月28日(水)

観覧料：一般500(400)円、高大生300(250)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

主催＝北海道立帯広美術館

北海道立帯広美術館

〒080-0801 帯広市南10条5丁目1-1

TEL 0157-221111 FAX 0157-221112

http://www.hokkaido-museum.jp/

ポスター

講師＝佐藤由美加(当館主任学芸員)

日時＝8月17日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

ミュージアム・コンサート

「心和 shin-wa」

出演＝加藤恵理奈氏(日本民謡・津軽三味線、加藤流三絃会代
表)、佐々木千里氏(ピアニスト、音楽教室講師)

日時＝8月24日(土) 午後2時～

会場＝当館ロビー(入場無料)

主催＝帯広美術館振興会、北海道立帯広美術館

関連記事

「とちかフォトギャラリー 色とイメージの奔流」北海道新聞
／6月12日(水)

佐藤由美加「ほっかいどうアート探訪 池田良二『Space of
foggy ocean(海霧の空間)』」北海道新聞／7月1日(月)

佐藤由美加「おびひろミュージアム通信 『プリントアート』っ
て何？」釧路新聞／7月8日(月)

「プリントアート」は、一般に版画と訳される。複数制作が可能で、木版画や銅版画、石版画などの種類があり、これまで技法的にさまざまな進化を遂げてきた。

20世紀以降、特に第二次世界大戦後、版画はその表現領域をさらに拡大する。写真製版によるシルクスクリーンは、写真や既存イメージを引用した個性的作品を登場させた。写真と版画の領域は曖昧になり、コピーやコンピューターなど「版」を介

する多様な技術を用いた作品が生み出されるようになった。

版をつくり、それをプリントすることにより絵柄を表したプリントアートの表現は、今日ますます多様化し、従来の版画の枠におさまらない実験的な作品が制作されている。

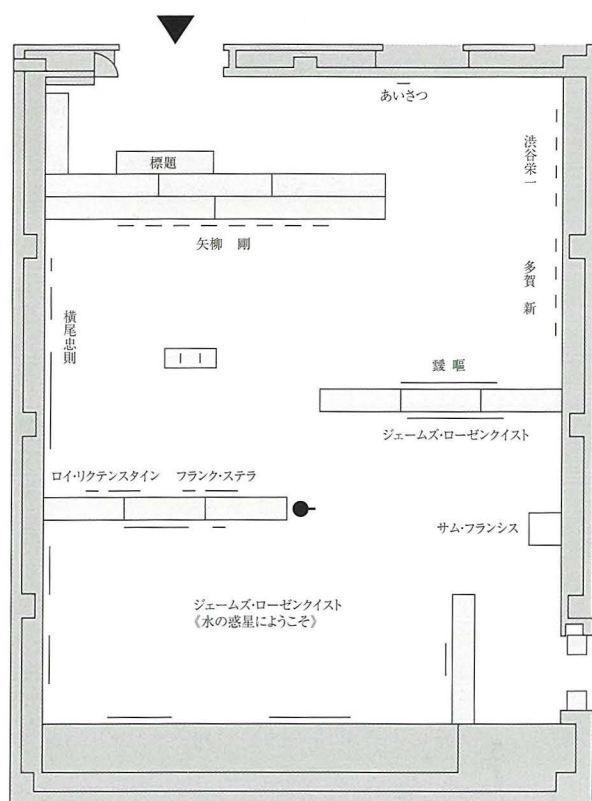
本展では当館コレクションから、国内外の著名作家の作品により、20世紀の多彩なプリントアートの世界を紹介した。



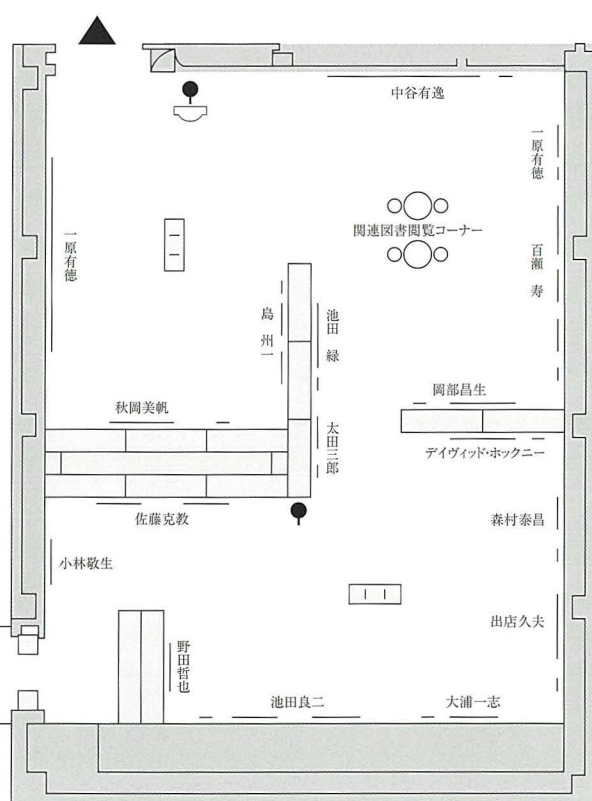
会場風景



会場風景



展示図面



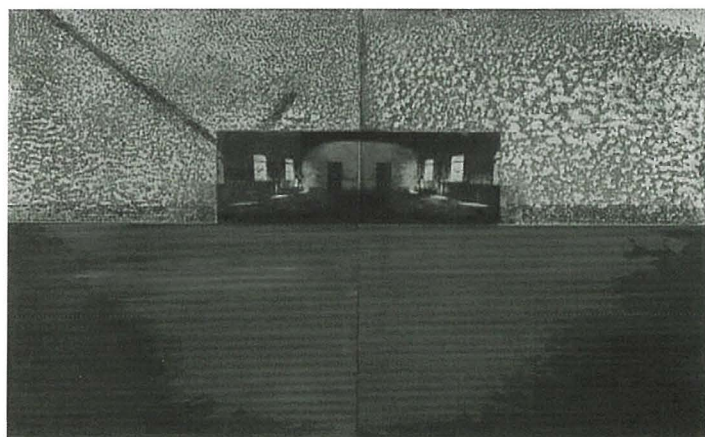
出品目録

No	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	渋谷栄一	カーニバル B	1971 (昭和46)	エッチング、シュガー・アクアチント、紙	49.5×36.5
2	渋谷栄一	楽園の調べ C	1981 (昭和56)	エッチング、シュガー・アクアチント、紙	49.8×36.5
3	渋谷栄一	サーカスと白い馬	1977 (昭和52)	エッチング、シュガー・アクアチント、ドライポイント (ルーレット、ナイフ)、紙	44.7×33.0
4	渋谷栄一	人形の館 B	1980 (昭和55)	エッチング、シュガー・アクアチント、ドライポイント (ルーレット)、紙	49.7×36.5
5	多賀 新	不安な室	1973 (昭和48)	エッチング、アクアチント、メゾチント、紙	36.5×48.0
6	多賀 新	女と止場	1974 (昭和49)	エッチング、アクアチント、メゾチント、紙	42.0×36.5
7	多賀 新	三界	1977 (昭和52)	エッチング、紙	36.5×21.5
8	多賀 新	バイオリニスト I	1992 (平成4)	エッチング、紙	33.0×36.5
9	幾 嘸	オープニング或いは再び田園	1992 (平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0 (2枚一組)
10	矢柳 剛	男と女 (1)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	37.1×52.7
11	矢柳 剛	男と女 (2)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	52.1×37.8
12	矢柳 剛	男と女 (3)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	36.2×53.0
13	矢柳 剛	男と女 (4)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	51.9×37.0
14	矢柳 剛	男と女 (5)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	52.0×37.5
15	矢柳 剛	男と女 (6)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	38.8×53.7
16	矢柳 剛	男と女 (7)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	52.6×38.4
17	矢柳 剛	男と女 (8)	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	53.0×38.8
18	横尾忠則	葬列 II	1985 (昭和60) (オリジナル1969)	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×9.5
19	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	各103.0×72.6 (8枚一組)
20	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3
21	フランク・ステラ	スワン・エングレイヴィング、ブルー、グリーン、グレー	1985	ミクストメディア (エッチング、レリーフプリント、紙)	169.0×133.0
22	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 スペース・ダスト	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	168.9×267.3
23	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 水のゆくえ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	261.0×147.3
24	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 スカイ・ホール	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	259.7×148.6
25	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 楽園の鳥が温水の惑星に接近する	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	246.4×214.6
26	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 時の扉・黄金の時	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	247.7×304.8
27	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 タイム・ゾーンの日没	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	201.9×147.3
28	ジェームズ・ローゼンクイスト	火の家	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (彩色手漉き紙)	138.4×304.2
29	サム・フランシス	バサディナ・ボックス	1963-66	リトグラフ、アクリリック、紙	132.5×48.5ほか (13点組)
30	小林敬生	蘇生の刻一緑の星一	1990 (平成2)	木口木版、紙	85.6×80.0
31	佐藤克教	囲われた1日	1999 (平成11)	木版、紙	75.0×100.0
32	佐藤克教	愚者の船 (一)	1995 (平成7)	木版、紙	166.0×128.0
33	野田哲也	日記 1987年9月22日 柏市亀甲台	1987 (昭和62)	木版、シルクスクリーン、紙	57.0×110.0
34	池田良二	Time of frozen ground (凍土の時)	1990 (平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0
35	池田良二	Space of foggy ocean (海霧の空間)	1990 (平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7
36	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13〜普賢岳 (川は水を必要としていた)	1994 (平成6)	ミクストメディア (土、石、灰、木、合成樹脂、印画紙)	169.0×225.0
37	出店久夫	私風景 '94—少女図	1994 (平成6)	ゼラチンシルバートリント、写真用染料、調色剤、色鉛筆、手彩色	253.5×244.0
38	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)	1990 (平成2)	カラープリント写真、印画紙	185.3×100.1

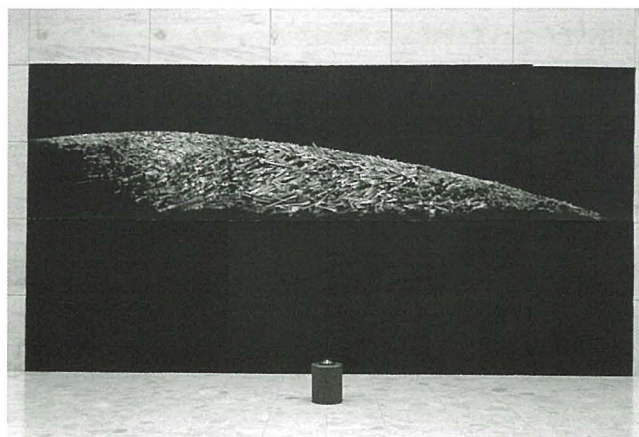
No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
39	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月	1982	フォト・コラージュ (写真、印画紙)	114.0×252.7
40	太田三郎	Seed Project ナナカマド 1992年12月30日北海道小樽市幸	1992 (平成4)	和紙、種子	20.4×11.5
41	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ 1992年8月6日香川県小豆島寒霞溪	1992 (平成4)	和紙、種子	20.4×11.7
42	太田三郎	Seed Project クジャクソウ 1993年6月4日東京都中央区築地	1993 (平成5)	和紙、種子	20.7×11.7
43	太田三郎	Seed Project イヌムギ 1993年6月12日東京都練馬区北町	1993 (平成5)	和紙、種子	20.5×11.7
44	太田三郎	Seed Project ヤマノイモ 1993年11月3日東京都練馬区北町	1993 (平成5)	和紙、種子	20.5×11.8
45	太田三郎	Seed Project センダングサ 1993年12月11日東京都練馬区高松	1993 (平成5)	和紙、種子	20.5×11.7
46	太田三郎	Seed Project チカラシバ 1994年10月14日岡山県津山市山北	1994 (平成6)	和紙、種子	20.7×11.6
47	太田三郎	Seed Project シロバナタンポポ 1994年4月24日岡山県津山市北園町	1994 (平成6)	和紙、種子	20.9×11.7
48	太田三郎	Seed Project ツワブキ 1995年1月3日岡山県津山市北園町	1995 (平成7)	和紙、種子	20.8×11.7
49	太田三郎	Seed Project ヘリクリサム 1995年7月26日山形県山形市霞城公園	1995 (平成7)	和紙、種子	20.8×11.8
50	池田 緑	ALICE'S SPECIMEN	1996 (平成8)	シルクスクリーン、アクリルパイプ、枯葉、 枯枝、紙	102.4×190.6×9.8
51	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991 (平成3)	フロタージュ、鉛筆、紙	各50.9×39.4 (10点組)
52	百瀬 寿	Square-Metallic Green and Violet	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
53	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
54	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981 (昭和56)	スキャナグラフ (NECO)、キャンバス	180.0×180.2
55	一原有徳	木の葉 (楮)	1970 (昭和45)頃	木の葉版、紙	18.5×32.0
56	一原有徳	木の葉 (辛夷)	1970 (昭和45)頃	木の葉版、紙	14.5×27.6
57	一原有徳	木の葉 (柏)	1970 (昭和45)頃	木の葉版、紙	18.6×12.0
58	中谷有逸	碑 (海・蠕動)	1995 (平成7)	凹凸併用版、コラージュ、紙	270.0×540.0
59	島 州一	FINGER PRINT	1981 (昭和56)	粘土、フロタージュ、和紙	73.0×63.5
60	島 州一	FINGER PRINT	1981 (昭和56)	粘土、段ボール、フロタージュ、和紙	99.0×69.0
61	秋岡美帆	ゆれるかげ	1992 (平成4)	スキャナグラフ (NECO)、麻紙	153.5×212.5
62	一原有徳	ZOM90 (1)	1990 (平成2)	モノタイプ (アルミニウム版)、紙、自動車 部品	121.0×80.0(ほか (13枚一組))

* 寸法は縦×横 (×厚み)。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



35 池田良二「Space of foggy ocean(海霧の空間)」



62 一原有徳「ZOM90(1)」

日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展

天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女

会期＝平成25年9月7日(土)～11月13日(水) 59日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、山本二三展実行委員会

協力＝絵映舎

観覧料＝一般1,000(800)円、高大生600(500)円、小中生300(250)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

トークショー＆デモンストレーション

講師＝山本二三氏(本展出品作家)

日時＝9月7日(土) 午前11時～12時(トークショー、サイン会)
午後3時～4時(デモンストレーション)

＊サイン会は図録購入者のみ50名先着順。

＊デモンストレーションは定員50名先着順。

会場＝当館講堂(参加無料)

特別展セミナー

「山本二三の背景世界―ジブリ映画を中心に」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝9月21日(土)、10月19日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

ミュージアム・コンサート

「ジブリ音楽セレクション」

出演＝帯広畜産大学マンドリンサークル

日時＝9月22日(日) 午前11時～、午後2時～(約30分)

会場＝当館ロビー(入場無料)

キッズ・ツアー

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝10月5日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「お★え★か★き」

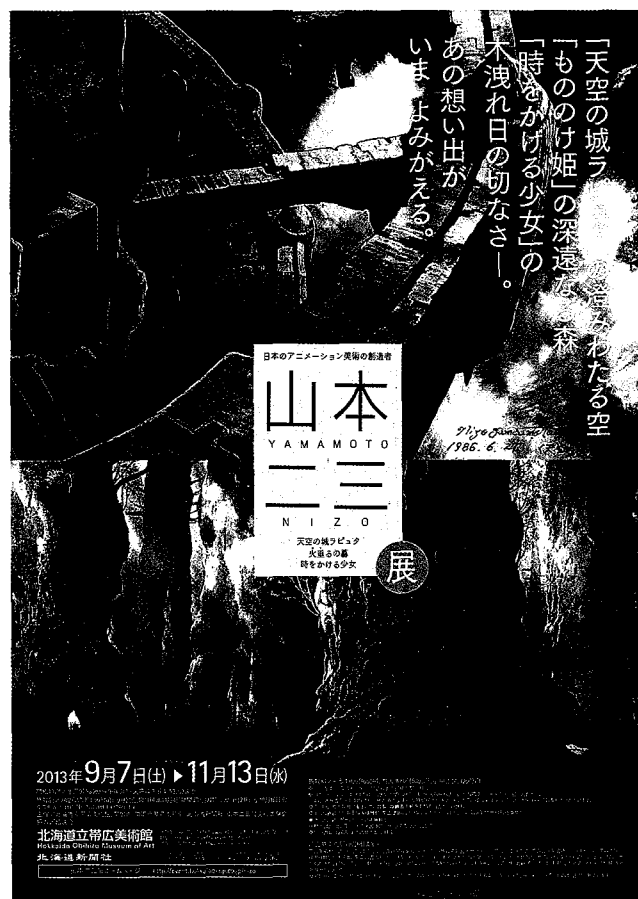
日時＝10月12日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

映写室

日時＝11月6日(水)、11月7日(木) 午前11時～11時30分、午後3時～3時30分



会場風景



図録

上映プログラム＝6日：「金の小鳥」「はとよ ひろしまの空を」
7日：「タイコンデロンガのいる海」
会場＝当館講堂(入場無料)

「二三の日」記念特別プレゼント

日時＝9月23日(月・祝)、10月23日(水) 午前9時30分～
会場＝当館ロビー(要観覧券、先着100名にポストカードをプレゼント)

図録

規格＝29.7×22.5cm／総頁数132ページ

構成＝ごあいさつ／大森正夫「描かれた心象が『背景』となる時」
／山本二三「師は自然～私が背景画を続けてこられた理由」
／岡泰正「山本二三美術監督『火垂るの墓』をめぐって」
／図版／アニメーション用語解説／作家略歴・フィルモグラフィー／出品目録

関連記事

石尾乃里子「おびひろミュージアム通信 二三先生がやってくる！」
釧路新聞／8月26日(月)

山本孝人「アニメ背景アートに昇華」北海道新聞／9月4日(水)
「二三ワールドにうっとり トークショー大雪山系描く」北海道新聞／9月8日(日)

山本孝人「アニメ美術が描く物語山本二三展①～⑤」北海道新

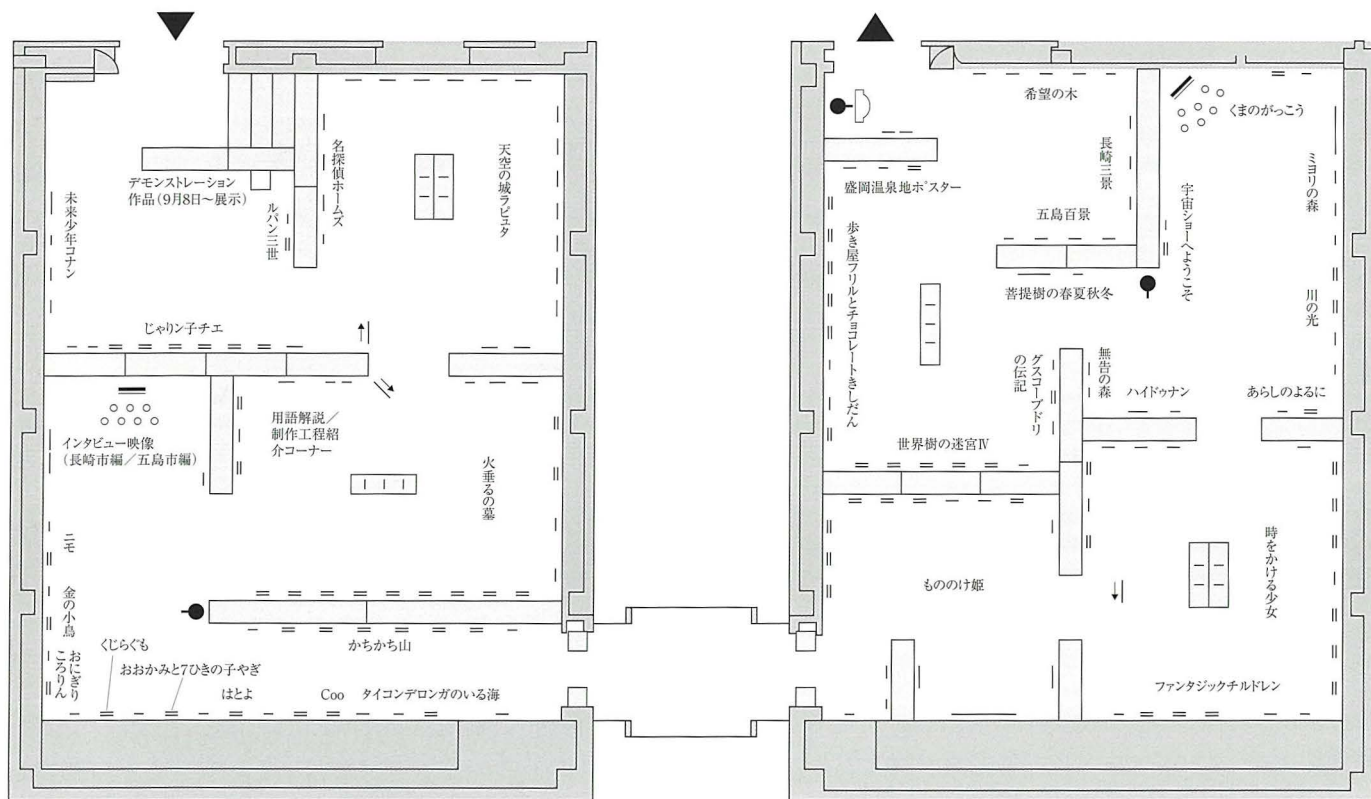
聞／9月10日(火)～14日(土)

山本孝人「山本二三展開幕入場2万4459人 帯広美術館特別展で過去2位記録」北海道新聞／11月14日(木)

山本二三は、日本のアニメーション界を代表する美術監督・背景画家として知られる。1953(昭和28)年、五島列島の福江島(現・長崎県五島市)に生まれた山本は、中学卒業後に離島し、岐阜県の工業高校で建築と絵画を学んだ後、東京の美術系専門学校を経てアニメーション業界に入った。24歳の若さでテレビアニメ「未来少年コナン」の美術監督に抜擢されて以降、スタジオジブリの映画などで数多くの名作アニメーションに携わり、独特の詩情ゆたかな背景世界を生みだしてきた。

本展では、山本二三がこれまでに手がけてきた初期から最近作に至る背景画、イメージボードなど約200点を一堂に展覧し、そのすぐれた技術とゆたかな感性に支えられた、魅力溢れるアニメーション美術の世界を紹介した。

展示にあたっては、美術設定、イメージボード、カラーボードを例にあげながら、本番撮影に用いられる背景画完成までの工程を紹介するコーナーも設け、アニメーション制作の流れに対する理解を図った。あわせて展示室内で上映したアニメーションやインタビュー映像、展覧会初日に実施した作家本人によるトークショーやデモンストレーション(背景画の実演制作)などの関連事業も好評を博し、若い世代や親子連れを含め24,000人を超える幅広い層の来場を迎えた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	映画タイトル	公開年	作品名	寸法 (cm)	種別	備考
1	未来少年コナン	1978	コアブロック	26.8×37.6	背景画	
2	未来少年コナン	1978	ギガントコントロールルーム	26.0×36.2	背景画	ブック付き
3	ルパン三世	1980	高円寺上空	24.6×36.0	背景画	
4	ルパン三世	1980	アルバトロス	25.5×36.0	背景画	
5	じゃりン子チエ	1981	縁日	24.5×35.0	背景画	
6	じゃりン子チエ	1981	チエの店 (1)	24.4×34.7	背景画	
7	じゃりン子チエ	1981	陽だまり	26.2×36.4	背景画	セル付き
8	じゃりン子チエ	1981	決闘場	26.6×36.4	背景画	
9	じゃりン子チエ	1981	チエの勉強机	24.3×34.5	背景画	
10	じゃりン子チエ	1981	公園 (1)	24.6×34.7	背景画	
11	じゃりン子チエ	1981	チエの店 (2)	24.3×34.4	背景画	
12	じゃりン子チエ	1981	チエの店 (3)	24.5×34.4	背景画	
13	じゃりン子チエ	1981	路地裏	24.6×34.7	背景画	ブック付き
14	じゃりン子チエ	1981	公園 (2)	24.5×34.6	背景画	
15	じゃりン子チエ	1981	チエの店 (4)	24.5×34.9	背景画	
16	じゃりン子チエ	1981	堅気屋	24.5×36.5	背景画	ブック付き
17	じゃりン子チエ	1981	大阪の夜	43.0×35.5	背景画	ブック付き
18	名探偵ホームズ	1982	アジト	25.5×35.3	背景画	
19	名探偵ホームズ	1982	金貨製造工場	25.0×36.3	背景画	
20	名探偵ホームズ	1982	夜のベーカリー街	42.0×55.0	背景画	ブック付き
21	天空の城ラピュタ	1986	隠れ家	25.4×36.2	背景画	
22	天空の城ラピュタ	1986	炭鉱	25.6×36.2	背景画	
23	天空の城ラピュタ	1986	月夜	25.5×36.2	背景画	ブック付き
24	天空の城ラピュタ	1986	坑道	24.0×36.2	背景画	
25	天空の城ラピュタ	1986	草原	25.6×36.2	背景画	
26	天空の城ラピュタ	1986	ラピュタ内部	25.5×36.2	背景画	
27	天空の城ラピュタ	1986	暖炉	25.4×36.2	背景画	
28	天空の城ラピュタ	1986	ラピュタのロボット	25.5×36.2	背景画	セル付き
29	天空の城ラピュタ	1986	内部への入り口	25.5×36.2	背景画	
30	天空の城ラピュタ	1986	飛行石のある所	25.5×36.1	背景画	ブック付き
31	天空の城ラピュタ	1986	荒地	25.5×36.2	背景画	
32	天空の城ラピュタ	1986	荒廃したラピュタ	27.0×38.5	背景画	ブック付き
33	天空の城ラピュタ	1986	炭鉱町	26.9×38.2	背景画	
34	火垂るの墓	1988	捨てられた思い出	16.4×25.3	イメージボード	
35	火垂るの墓	1988	逃げ惑う影	16.8×25.2	イメージボード	
36	火垂るの墓	1988	哀しい点描	16.6×23.7	イメージボード	
37	火垂るの墓	1988	野荒し	16.6×24.1	イメージボード	
38	火垂るの墓	1988	何故…	18.2×24.3	イメージボード	
39	火垂るの墓	1988	忘れ物	16.6×24.1	イメージボード	
40	火垂るの墓	1988	節子と人形	16.6×25.0	イメージボード	
41	火垂るの墓	1988	破壊	18.0×25.4	カラーボード	
42	火垂るの墓	1988	火炎	18.1×25.4	カラーボード	
43	火垂るの墓	1988	駅のホーム	18.5×25.4	カラーボード	

No.	映画タイトル	公開年	作品名	寸法 (cm)	種別	備考
44	火垂るの墓	1988	市電	18.0×25.3	カラーボード	
45	火垂るの墓	1988	駅	25.7×36.2	背景画	ブック付き
46	火垂るの墓	1988	裏通り	25.6×36.0	背景画	ブック付き
47	火垂るの墓	1988	緑側	25.8×36.3	背景画	
48	火垂るの墓	1988	清太の家	25.7×36.4	イメージボード	
49	火垂るの墓	1988	悲しみ	25.6×36.2	背景画	セル付き
50	火垂るの墓	1988	残された木	25.7×36.2	背景画	
51	火垂るの墓	1988	空襲	25.5×36.2	背景画	
52	火垂るの墓	1988	瓦礫	25.4×36.0	背景画	ブック付き
53	火垂るの墓	1988	焼跡の校庭	26.0×36.5	背景画	セル付き
54	火垂るの墓	1988	焼夷弾	25.8×36.2	背景画	
55	火垂るの墓	1988	疎開先	25.8×36.5	イメージボード	
56	火垂るの墓	1988	宵待草	25.6×36.2	背景画	
57	火垂るの墓	1988	雨上がり	25.5×36.2	背景画	
58	火垂るの墓	1988	水辺	25.7×36.2	背景画	
59	火垂るの墓	1988	二人の家	25.7×36.1	背景画	ブック付き
60	火垂るの墓	1988	水田	25.7×36.1	背景画	ブック付き
61	火垂るの墓	1988	ほとりに浮かぶ	25.6×36.2	背景画	ブック付き
62	火垂るの墓	1988	火垂るの家	25.9×36.2	背景画	ブック付き
63	NEMO / ニモ	1989	ニモの部屋	24.6×47.7	背景画	
64	NEMO / ニモ	1989	パレス	39.2×50.6	イメージボード	
65	金の小鳥	1990	北風さん	25.7×36.1	背景画	セル付き
66	金の小鳥	1990	風車小屋	25.5×36.2	背景画	ブック付き
67	おにぎりころりん	1991	倒木	25.3×36.0	背景画	セル付き
68	おにぎりころりん	1991	夕暮れ	43.5×35.8	背景画	セル付き
69	くじらぐも	1992	空へ	25.8×36.2	背景画	セル付き
70	くじらぐも	1992	くじらぐもと散歩	23.5×36.0	背景画	セル付き
71	おおかみと7ひきの子やぎ	1993	駆けっこ	25.4×36.0	背景画	セル付き
72	おおかみと7ひきの子やぎ	1993	おおかみと7ひきの子やぎ	25.0×35.8	背景画	セル付き
73	はとよ ひろしまの空を	1999	原爆ドーム	27.0×38.3	背景画	
74	はとよ ひろしまの空を	1999	原爆の後	38.5×26.7	背景画	セル付き
75	Coo 遠い海から来たクー	1993	洋助の家	25.8×36.1	背景画	
76	Coo 遠い海から来たクー	1993	夜のダイニングキッチン	27.3×38.8	背景画	
77	Coo 遠い海から来たクー	1993	マナ島の砂浜	26.9×36.4	背景画	ブック付き
78	Coo 遠い海から来たクー	1993	マナ島の街	27.0×45.5	背景画	
79	Coo 遠い海から来たクー	1993	コーラルガーデン	37.0×65.7	背景画	
80	タイコンデロンガのいる海	1990	沖縄の海	25.3×36.1	背景画	セル付き
81	タイコンデロンガのいる海	1990	サバニ	25.4×36.0	背景画	
82	もののけ姫	1997	お社の中	27.0×38.1	背景画	
83	もののけ姫	1997	中世の村	27.0×38.1	イメージボード	
84	もののけ姫	1997	コダマの道 (1)	27.1×38.1	背景画	ブック付き
85	もののけ姫	1997	シシ神の森 (1)	27.0×38.2	背景画	
86	もののけ姫	1997	シシ神の森 (2)	27.0×38.1	背景画	ブック付き
87	もののけ姫	1997	木漏れ日	27.0×38.1	背景画	
88	もののけ姫	1997	シシ神の森 (3)	27.0×38.2	カラーボード	ブック付き
89	もののけ姫	1997	タタラ場の食堂	27.0×38.2	イメージボード	
90	もののけ姫	1997	シシ神の島 (1)	27.0×38.2	背景画	
91	もののけ姫	1997	シシ神の島 (2)	27.0×38.2	背景画	
92	もののけ姫	1997	シシ神の島 (3)	27.0×38.2	背景画	
93	もののけ姫	1997	ディダラボッチの山	27.0×38.2	背景画	ブック付き
94	もののけ姫	1997	早朝の山	26.9×42.4	背景画	セル付き



34 火垂るの墓「捨てられた思い出」(イメージボード)



86 もののけ姫「シシ神の森 (2)」(背景画)

No.	映画タイトル	公開年	作品名	寸法 (cm)	種別	備考
95	もののけ姫	1997	シシ神の森 (4)	28.4×49.6	背景画	
96	もののけ姫	1997	水底と苔	40.1×38.6	背景画	
97	もののけ姫	1997	照葉樹林	19.0×27.0	イメージボード	
98	もののけ姫	1997	朝の荒地	27.0×38.3	背景画	ブック付き
99	もののけ姫	1997	コダマの道 (2)	46.6×38.0	背景画	
100	もののけ姫	1997	シシ神の森 (5)	32.4×47.3	イメージボード	
101	もののけ姫	1997	お社	61.5×52.4	背景画	ブック付き
102	もののけ姫	1997	シシ神の森 (6)	23.2×157.0	背景画	ブック付き
103	かちかち山	1997	岩船様	26.0×36.0	イメージボード	ブック付き
104	かちかち山	1997	おじいさんの家	25.7×35.9	イメージボード	
105	かちかち山	1997	山への道	26.0×36.2	背景画	ブック付き
106	かちかち山	1997	夕暮れの家	25.6×36.1	イメージボード	
107	かちかち山	1997	かちかち山の麓の村	26.4×36.1	イメージボード	
108	かちかち山	1997	俯瞰のおじいさんの家	25.4×35.7	背景画	
109	かちかち山	1997	おじいさんの家の中	25.6×36.0	イメージボード	ブック付き
110	かちかち山	1997	夕日に染まる山	25.7×35.8	イメージボード	
111	かちかち山	1997	狸の砦	26.0×36.1	背景画	ブック付き
112	かちかち山	1997	燃える狸の小屋	25.8×36.0	背景画	ブック付き
113	かちかち山	1997	夜の囲炉裏端	25.8×36.3	背景画	ブック付き
114	かちかち山	1997	仇討ちのおじいさん	18.0×25.5	イメージボード	
115	かちかち山	1997	燃えおちた小屋	25.6×36.4	背景画	
116	ファンタジックチルドレン	2004	16世紀のフランス	26.0×36.0	背景画	
117	ファンタジックチルドレン	2004	廃墟	25.4×35.9	背景画	
118	ファンタジックチルドレン	2004	霧と教会	26.0×36.0	背景画	
119	ファンタジックチルドレン	2004	ガジュマルとアンコルトム	25.4×35.9	背景画	
120	ファンタジックチルドレン	2004	寺院	25.5×36.2	イメージボード	
121	ファンタジックチルドレン	2004	村	25.7×36.2	背景画	ブック付き
122	時をかける少女	2006	哲学堂グラウンド	25.8×36.1	背景画	
123	時をかける少女	2006	真琴と美雪の部屋	26.0×36.0	背景画	
124	時をかける少女	2006	家庭科実習室	25.9×36.1	背景画	
125	時をかける少女	2006	理科実験室 (1)	25.6×50.3	背景画	
126	時をかける少女	2006	グラウンド	25.8×36.6	背景画	
127	時をかける少女	2006	理科実験室 (2)	25.6×36.1	背景画	
128	時をかける少女	2006	洗い場	26.4×36.9	背景画	
129	時をかける少女	2006	真琴の部屋	26.1×36.1	背景画	
130	時をかける少女	2006	水底	25.4×36.0	背景画	
131	時をかける少女	2006	理科実験室 (3)	26.0×36.0	背景画	
132	時をかける少女	2006	ドラッグストア前	25.6×35.7	背景画	
133	時をかける少女	2006	真琴の家の廊下	26.2×36.2	背景画	
134	時をかける少女	2006	夜の真琴の家	25.8×36.1	背景画	ブック付き
135	時をかける少女	2006	坂道	25.5×36.5	背景画	
136	時をかける少女	2006	踏切	44.9×29.8	ポスター原画	
137	時をかける少女	2006	分かれ道	25.2×36.1	背景画	
138	時をかける少女	2006	真琴の家	26.0×36.1	イメージボード	
139	時をかける少女	2006	夕暮れ (1)	25.7×36.9	背景画	
140	時をかける少女	2006	夕暮れ (2)	25.6×36.1	背景画	
141	時をかける少女	2006	ゴーヤ棚	26.1×36.3	背景画	
142	時をかける少女	2006	路地と花	25.5×36.0	背景画	
143	時をかける少女	2006	国立博物館	25.9×36.5	背景画	
144	ミヨリの森	2007	輝く氷	41.9×30.5	イメージボード	
145	ミヨリの森	2007	ブナの木	26.0×36.2	イメージボード	



141 時をかける少女「ゴーヤ棚」(背景画)



198 希望の木「希望の木」
(ポスター用原画)

No.	映画タイトル	公開年	作品名	寸法 (cm)	種別	備考
146	ミヨリの森	2007	怒れる精霊 (1)	30.2×43.1	イメージボード	セル付き
147	ミヨリの森	2007	怒れる精霊 (2)	27.0×38.3	イメージボード	
148	ミヨリの森	2007	山に帰る鹿	26.3×36.3	イメージボード	
149	あらしのよるに	2005	リスの巣	25.4×40.2	背景画	
150	あらしのよるに	2005	光る草	33.2×36.0	背景画	
151	川の光	2009	獣みち	25.4×35.9	背景画	
152	川の光	2009	野川	46.5×29.5	背景画	
153	川の光	2009	季節は巡り	19.5×149.0	背景画	
154	宇宙ショーへようこそ	2010	ブラネットワン (1)	25.7×36.5	背景画	
155	宇宙ショーへようこそ	2010	ブラネットワン (2)	25.6×36.1	背景画	
156	くまのがっこう〜ジャッキーとケイティ	2010	一本橋	22.2×32.0	背景画	
157	くまのがっこう〜ジャッキーとケイティ	2010	暗い森	21.8×30.2	背景画	
158	無告の森	2011	無題	42.1×39.6	イメージボード	
159	ハイドゥナン	2011	復活	29.6×41.9	イメージボード	
160	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	街からのアプローチ	25.8×36.7	背景画	
161	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	タルシス	35.3×25.5	背景画	
162	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	タルシスの広場	25.8×36.6	背景画	
163	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	セフリムの宿	25.8×37.0	背景画	
164	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	ベルンド工房	25.4×36.6	背景画	
165	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	冒険者ギルド	25.7×36.8	背景画	
166	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	風馳ノ草原	38.9×27.2	背景画	
167	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	碧照ノ樹海	38.8×27.3	背景画	
168	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	深霧ノ幽谷	38.0×26.6	背景画	
169	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	金剛獣ノ岩窟	36.8×25.4	背景画	
170	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	木偶ノ文庫	36.7×25.4	背景画	
171	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	煌天破ノ都	36.5×25.7	背景画	
172	世界樹の迷宮Ⅳ 伝承の巨神	2012	巨人の掌	36.9×25.5	背景画	
173	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	トレイジャの街	26.3×36.8	挿絵	
174	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	トレイジャの裏通り	25.7×36.9	挿絵	
175	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	マドレーヌ王国に落ちるフリル	25.9×36.5	挿絵	
176	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	チョコレートのお城	25.8×37.1	挿絵	
177	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	洞窟の中の迷い道	26.0×36.9	挿絵	
178	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	洞窟の中の大門	37.0×26.0	挿絵	
179	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	カビルムシーバの宝物	25.7×37.2	挿絵	
180	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	カビルムシーバの寝室	25.7×37.3	挿絵	
181	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	マドレーヌ王国へ飛ぶフリル	36.9×26.0	挿絵	
182	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	魔法をかけられる騎士たち	25.6×37.3	挿絵	
183	歩き屋フリルとチョコレートきしだん	2013	王妃を守る王様	25.9×37.0	挿絵	
184	グスコブドリの伝記	2012	寒村の広場	25.5×36.4	背景画	
185	グスコブドリの伝記	2012	雪と馬車	26.0×41.9	背景画	
186	グスコブドリの伝記	2012	閉ざされた教室	25.6×36.4	背景画	
187	菩提樹の春夏秋冬	2012	菩提樹の春夏秋冬	春夏27.0×93.3 秋冬25.8×95.2	壁紙用原画	
188-1	火垂るの墓	1987	清太・節子の家	25.5×36.5	美術設定	
188-2	火垂るの墓	1987	神戸・三宮駅周辺	25.5×36.5	美術設定	
189	長崎三景	2012	グラバー邸	23.5×34.6		
190	長崎三景	2012	眼鏡橋	23.0×34.6		
191	長崎三景	2012	大浦天主堂	23.5×34.6		
192	五島百景		慈恵院のマリア像	28.5×21.0		
193	五島百景		高浜の魚籃観音像	33.0×22.2		
194	五島百景		三井楽町 (みいらくちょう)	23.0×31.5		
195	盛岡 温泉地ポスター		つなぎ温泉	23.5×35.0	ポスター用原画	
196	盛岡 温泉地ポスター		鶯宿温泉	23.5×34.5	ポスター用原画	
197	希望の木	2013	被災した陸前高田市の高田松原と希望の木		背景画	
198	希望の木	2013	希望の木		ポスター用原画	
199	希望の木	2013	広田湾から陸前高田市の高田松原を望む		背景画	
200	希望の木	2013	被災前の大町商店街		背景画	

* 寸法は縦×横。

道東アートファイル 2013 in the LIGHT / in the SHADOW

会期＝平成25年11月22日(金)～平成26年2月2日(日)

58日間

主催＝北海道立帯広美術館

協賛＝斉藤道俊法律事務所

観覧料＝一般700(550)円、高大生400(300)円、小中生200(150)円

小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

アーティスト・トーク

日時／講師＝11月23日(土) 午後1時～／山本雄基氏
午後2時～／浅川 茂氏
午後3時～／藤原千也氏
11月24日(日) 午後1時～／小笹純弥氏
午後2時～／戸張良彦氏
11月30日(土) 午後1時～／細木るみ子氏
午後2時～／松本早苗氏

会場＝当館主展示室(要観覧券)

学校との連携

学校＝帯広市立南町中学校第2学年

作家＝小笹純弥氏

日時＝12月6日(金)～2月2日(日)

会場＝当館、帯広市立南町中学校

キッズ・ツアー

講師＝鎌田 享(当館学芸課長)

日時＝12月7日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「うきうき クリスマス」

日時＝12月14日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

公開アトリエ

制作＝細木るみ子氏

日時＝12月20日(金) 午前10時～12時

12月21日(土) 午前10時～12時

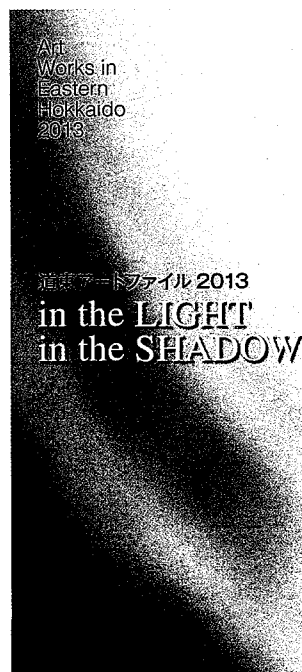
1月4日(土) 午後1時～3時

1月10日(金) 午後1時～3時

1月11日(土) 午後1時～3時



ポスター



図録

1月22日(水) 午後2時～4時
1月24日(金) 午後1時～3時
1月25日(土) 午後1時～3時
1月29日(水) 午後2時～4時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ワークショップ

「木の王かんをつくろう」

講師＝藤原千也氏

日時＝1月18日(土)、1月19日(日) 午前11時～午後4時

会場＝当館講堂、主展示室(参加料＝大人550円、高大生300円、
小中生150円、応募制)

おびひろ氷まつり協賛事業

「美術館 de 氷まつり2014」

日時＝1月31日(金)～2月2日(日)

＊1月31日(金)、2月1日(土)は午後8時まで夜間開館を実施

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

・ミュージアム・シアター

日時＝1月31日(金)、2月1日(土)

午前12時30分～「ハープ&ドロシー アートの森の
小さな巨人」

午後3時～ 「ハープ&ドロシー ふたりからの
贈りもの」

会場＝当館講堂(入場無料)

・ロビーカフェ de 冬の花火

日時＝1月31日(金)、2月1日(土) 午後5時30分～8時

会場＝当館ロビー、廊下

・てんらんかい de たからさがしゲーム！

日時＝2月1日(土) 午前9時30分～午後8時

2月2日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

図録

規格＝25.2×18.7cm／総頁数40ページ

構成＝鎌田享「『ひかりのなか』と『かげのもと』」／作家コメ
ント・略歴・作家紹介(山本雄基、細木るみ子、松本早苗、
浅川茂、藤原千也、小笹純弥、戸張良彦)／出品リスト

関連記事

鎌田享「ほっかいどうアート探訪 戸張良彦『土脉潤起』 四
季の循環溢れる『一瞬』」北海道新聞／12月2日(月)

鎌田享「おびひろミュージアム通信 美術館の役割・美術の今」
釧路新聞／12月2日(月)

山本孝人「とちかちフォトギャラリー 道東アートファイル2013
見えない何かを読み解く試み」北海道新聞(帯広・十勝版)／
12月4日(水)

佐竹直子「『道東アートファイル イン・ザ・ライト イン・ザ・
シャドウ』展 釧路の自然神秘的に」北海道新聞(釧路・根室版)
／12月16日(月)

鎌田享「道東アートファイル2013 学芸員作品紹介①～⑦」十
勝毎日新聞／1月14日(水)～16日(木)、19日(日)～22日(水)

石尾乃里子「ほっかいどうアート探訪 藤原千也『ひにかえす』
生に生を返す営み」北海道新聞／1月20日(月)

山本孝人「十勝人 細木るみ子さん 来館者の前で制作刺激に」
北海道新聞(帯広・十勝版)／1月21日(火)

久才秀樹「談話室 松本早苗 個展で学んだ奥深さ」北海道新
聞(オホーツク版)／1月24日(金)

「道東アートファイル2013 作家の横顔紹介 上～下」十勝毎
日新聞／1月24日(金)、25日(土)、28日(火)

視覚に働きかけることをもっぱらとする美術において、「光」
と「影」、あるいは「目の前に明らかにされたもの」と「遮ら
れ隠されているもの」とは、作品制作の随所に関わってくる課
題である。美術家たちの創造行為とは、見えざるものに光を与
え可視化すること、影に寄り添いその深奥を探ることとさえ、
言えるのかもしれない。

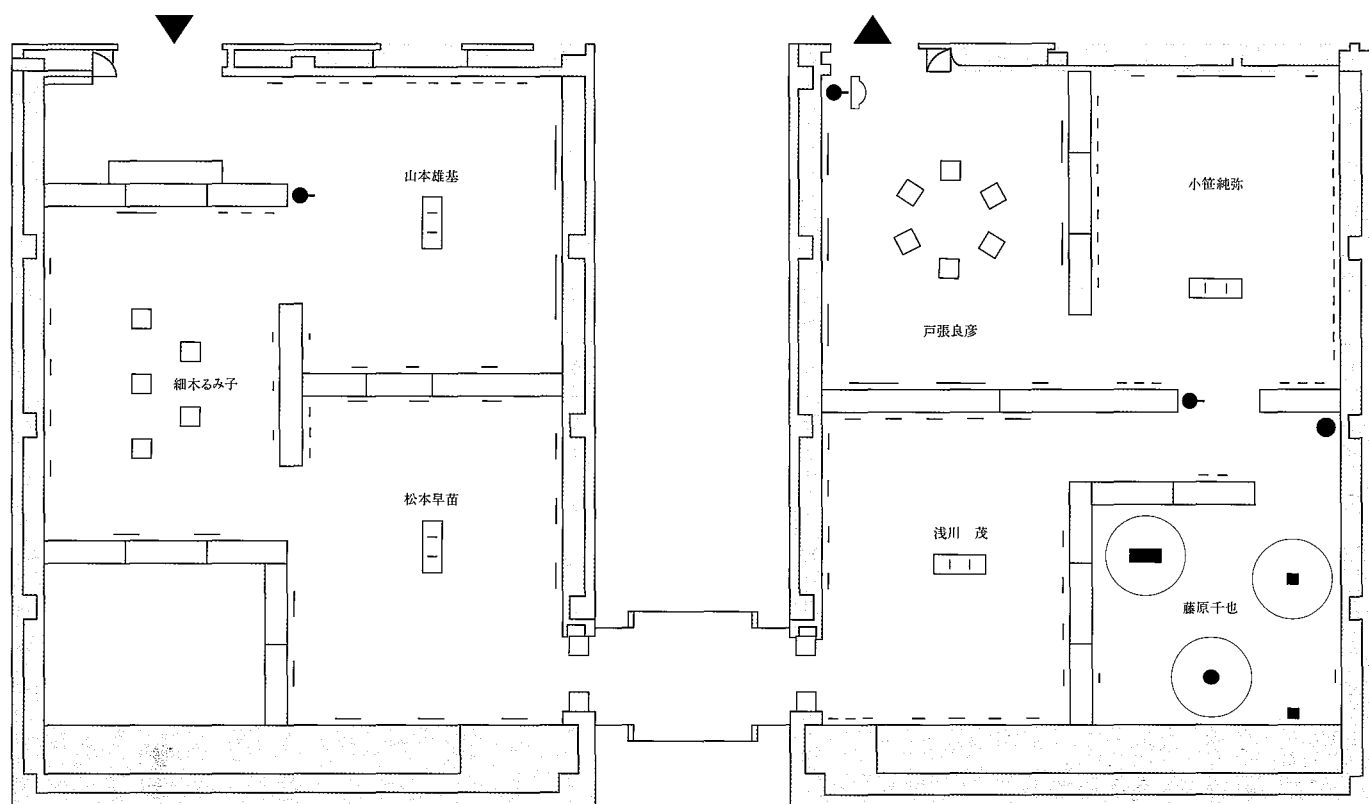
北海道立帯広美術館が立地する北海道東部地域(十勝・釧路・
根室・オホーツク)では、現在、多くの美術家たちが活躍して
いる。本展では、浅川茂(1947年函館市出身・帯広市在住・絵画)、
小笹純弥(1984年福岡県福岡市出身・弟子屈町在住・写真)、戸



会場風景／山本雄基



会場風景／細木るみ子



展示図面

張良彦(1955年東京都出身・帯広市在住・写真)、藤原千也(1978年札幌市出身・中札内村在住・立体)、細木るみ子(1969年帯広市出身・幕別町在住・素描)、松本早苗(1963年網走市出身・北見市在住・水彩)、山本雄基(1981年帯広市出身・札幌市在住・絵画)の7名を紹介。幅広い年齢層と多彩な表現領域におよぶ作家たちの作品を、「光」と「影」というキーワードをもとに読み解きながら、個性豊かな各々の表現を探った。

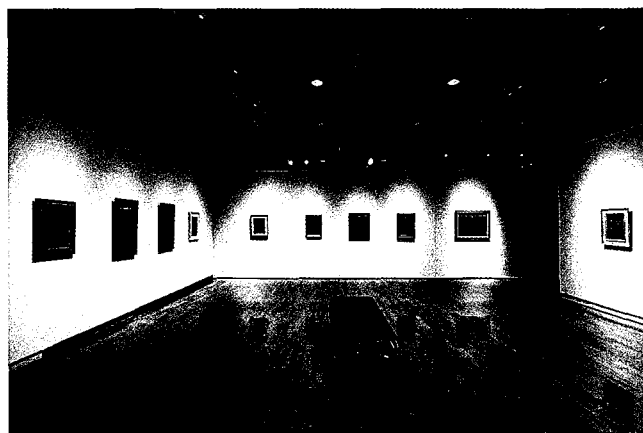
各作家の造形世界の特徴と独自性をより際立たせるために、会場内は60～80㎡程の矩形のスペースに区切り、7人の個展が連続していくような展示構成とした。また会期中には、当館学

芸員が相手役となって各作家の作品や制作について聞くアーティスト・トーク、展示室内での公開制作(細木るみ子)、木彫のワークショップ(藤原千也)、中学校の美術の授業との連携(小笹純弥)など、多彩な関連事業を実施。作品展示とあわせて、作家たちの姿を紹介し理解する一助とした。

道東地域の美術の現況を紹介する本展覧会は、多くのメディアで紹介されたり、来館者から好意的なコメントを寄せられたりと好評を博した。さらには、出品者のみならず当地の作家たちにも多くの刺激を与えたことと思われる。



会場風景／松本早苗



会場風景／浅川 茂

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	山本雄基	parallel circles (blue & orange)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	30×30
2		parallel circles (blue & orange reverse)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	30×30
3		parallel circles (red & green)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	30×30
4		parallel circles (red & green reverse)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	30×30
5		parallel circles (yellow & purple)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	30×30
6		parallel circles (yellow & purple reverse)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	30×30
7		parallel circles (2 squares)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	180×180
8		parallel circles (2 squares reverse)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	180×180
9		parallel circles (3 squares)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	62×72.5
10		parallel circles (+ triangle)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	44.7×51.7
11		parallel circles (+ rhombus)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	70.5×70.5
12		parallel circles (2 squares mini)	2013 (平成25)	アクリル絵具、木製パネル	15×15
13	細木るみ子	光と影の隙間	2009 (平成21)	鉛筆、紙	145.0×145.0
14		季節の塊	2008 (平成20)	鉛筆、紙	59.5×67.0
15		氷解	2008 (平成20)	鉛筆、紙	79.0×54.5
16		あいているみち I	2009 (平成21)	鉛筆、紙	73.0×71.0
17		あいているみち II	2009-10 (平成21-22)	鉛筆、紙	73.0×71.0
18		Texture of the Light	2013 (平成25)	鉛筆、紙	56.5×76.0
19		光の所在 I	2011 (平成23)	鉛筆、紙	117.0×117.0
20		光の所在 II	2010-12 (平成22-24)	鉛筆、紙	117.0×117.0
21		Movement of the Light I	2011 (平成23)	鉛筆、紙	53.0×45.5
22		Movement of the Light II	2012-13 (平成24-25)	鉛筆、紙	53.0×45.5
23		Movement of the Light III	2012-13 (平成24-25)	鉛筆、紙	53.0×45.5
24		Left Chest	2012-13 (平成24-25)	綿、毛、麻	9.0×15.0×36.0
25		Right Chest	2012-13 (平成24-25)	綿、毛	6.0×15.0×33.0
26		Wrap and Fill	2013 (平成25)	綿、毛、麻	10.0×29.0×34.0
27		In from the Shadow	2013 (平成25)	綿、毛、麻、アクリル、絹	110.0×70.0×70.0
28		My Back Flowers	2013 (平成25)	綿、毛、麻、アクリル、絹	49.0×24.0×30.0
29		Belly Button Window	2013 (平成25)	綿、毛、麻	14.0×24.0×31.0
30	松本早苗	海のうた	2007 (平成19)	水彩、水彩紙	72.7×91.0
31		足音	2007 (平成19)	水彩、水彩紙	72.7×91.0
32		あと1時間・・・	2005 (平成17)	水彩、水彩紙	72.7×91.0
33		午後のひざしの中で・・・	2006 (平成18)	水彩、水彩紙	91.0×116.7
34		旅立ち	2007 (平成19)	水彩、水彩紙	91.0×116.7
35		風	2003 (平成15)	水彩、水彩紙	91.0×116.7
36		工場が見える窓	2006 (平成18)	水彩、水彩紙	72.7×91.0
37		祈り	2008 (平成20)	水彩、水彩紙	80.3×100.0
38		あたたかい日	2005 (平成17)	水彩、水彩紙	76.0×108.0
39		宙へ	2013 (平成25)	水彩、水彩紙	91.0×116.7
40		黙然	2013 (平成25)	水彩、水彩紙	91.0×72.7
41	浅川 茂	静かな花	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	33.4×24.3
42		沈黙する地	2009 (平成21)	油彩、キャンバス	53.0×45.4
43		symphony	2009 (平成21)	油彩、キャンバス	27.3×22.0



会場風景／藤原千也



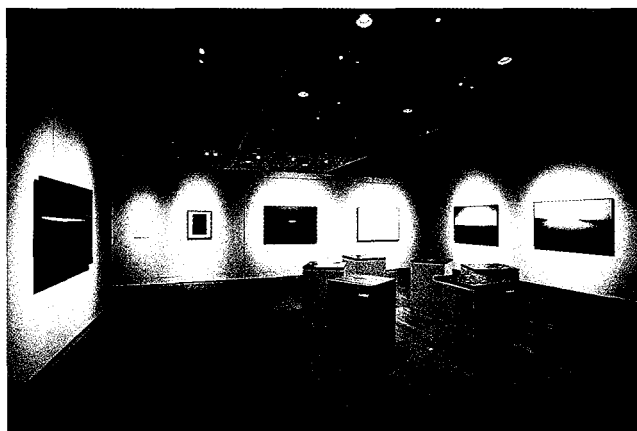
会場風景／小笹純弥

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
44		重い花	2013 (平成25)	油彩、キャンバス	33.4×24.3
45		流れ-留まる	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	45.5×37.9
46		青い森	2012 (平成24)	油彩、板	70.0×63.0
47		黒い河 (流)	2011 (平成23)	油彩、板	63.2×62.8
48		沈んだ道	2011 (平成23)	油彩、キャンバス	40.9×31.8
49		沈む地	2010 (平成22)	油彩、板	46.3×37.2
50		静寂する風景	2000 (平成12)	油彩、キャンバス	71.4×38.2
51		重い風景	2003 (平成15)	油彩、キャンバス	71.8×37.8
52		赫い地	2011 (平成23)	油彩、板	44.7×32.5
53		沈黙する風景	1985 (昭和60)	油彩、キャンバス	40.9×31.8
54		地の中へ	2012 (平成24)	油彩、キャンバス、板	53.0×33.3
55		閉ざされた風景	2011 (平成23)	油彩、キャンバス	65.2×53.0
56		地の花	2007 (平成19)	油彩、キャンバス、板	53.0×33.3
57		震える風景	2013 (平成25)	油彩、板	60.6×72.7
58	藤原千也	からすさま	2013 (平成25)	木 (やなぎ)、顔料	65×65×80
59		ひ	2013 (平成25)	木 (しな)	17.8×12.0×8.5
60		ひにかえす	2013 (平成25)	木 (しな)	6.0×17.0×46.5
61		よる	2013 (平成25)	木 (しな)、髪	40.0×18.5×22.3
62		ひにかえす	2013 (平成25)	インク、紙	9.7×8.0
63		ひらかれている	2008 (平成20)	木 (しな)	20.8×12.2×13.5
64	小笹純弥	呼び声の主たちの肖像 福寿草／蛇苔／つまとりそう／山鳥ぜんまい／すみれ／つつじヶ原／岩／千年桂／眠りと目覚め／地の衣／ 際に棲む者／踊る死者／惑星の息／月と空／あまのがわ	2013 (平成25)	写真	300×960 (展示面積)
65		胎 胎／脈／つらら／細部	2013 (平成25)	写真	300×660 (展示面積)
66		ヴァルナ 雲海／雲海の底／氷海／凍る湖／風／波面／シンプイ／邇上／六花	2013 (平成25)	写真	300×720 (展示面積)
67	戸張良彦	水面	1998 (平成10)	写真 (ゼラチンシルバープリント)	54.1×35.6
68		143.551286,42.605040 ← 268°	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
69		143.105106,43.273378 ↘ 138°	2008 (平成20)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
70		143.270480,42.762508 ← 273°	2010 (平成22)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
71		143.617869,42.699296 ↘ 322°	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
72		143.306476,42.881570 ↗ 38°	2008 (平成20)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
73		143.312827,42.265417 ↘ 151°	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
74		143.121065,43.567846 → 96°	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
75		143.102488,43.265127 ↗ 41°	2008 (平成20)	写真 (デジタルCプリント)	100×150
76		水泉動	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	60×60
77		草木萌起	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	60×60
78		土脉潤起	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	60×60
79		水沢腹堅	2011 (平成23)	写真 (デジタルCプリント)	60×60
80		蚕起食桑	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	60×60
81		霜止出苗	2013 (平成25)	写真 (デジタルCプリント)	60×60

* No. は展示配列順に整理し、また作品名等は出品時のデータを記した。

* 寸法は縦×横、または高さ×幅×奥行き。

* 作品はすべて作家蔵。



会場風景／戸張良彦

帯広美術館コレクション選 十勝の美術100年

会期＝平成26年2月11日(火・祝)－4月16日(水)

56日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般500(400)円、高大生300(250)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日は無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

アート・トーク「十勝の美術を語る」

「とちかち環境アートー帯広の森アートキャンプから防風林ア
ートプロジェクトまで」

講師＝池田 緑氏(出品作家)

日時＝2月11日(火・祝) 午後2時～

「十勝の美術史、新しい資料から 近世末～近代」

講師＝米山将治氏(出品作家)

日時＝2月16日(日) 午後2時～

「昭和20年代の十勝の美術」

講師＝中西堯昭氏(出品作家)

日時＝2月23日(日) 午後2時～

「1960年代の十勝の美術」

講師＝渡邊禎祥氏(出品作家)

日時＝3月1日(土) 午後2時～

「手首をまげるな」

講師＝熊代弘法氏(出品作家)

日時＝3月2日(日) 午後2時～

会場＝いずれも当館講堂、主展示室(要観覧券)

キッズ・ツアー

講師＝佐藤由美加(当館主任学芸員)

日時＝2月15日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「折って楽しいひなまつり」

日時＝2月22日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」



ポスター

特別展セミナー

「十勝美術100年の流れ」

講師＝佐藤由美加(当館主任学芸員)

日時＝3月15日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

関連記事

「とちかちフォトギャラリー 過去からの足跡多彩に」北海道新
聞(帯広・十勝版)／2月26日(水)

佐藤由美加「おびひろミュージアム通信」釧路新聞／3月10日
(月)

佐藤由美加「ほっかいどうアート探訪 坂本直行『十勝大平原
と日高連峰』」北海道新聞／3月17日(月)

蝦夷地と呼ばれていたこの北の地が北海道となつてからまだ
150年と経っていない。明治以降、急速な近代化が進む中、北
海道には本州から多くの人びとが移り住み、開拓の鉤が下ろさ

北海道東部に位置する十勝は周囲を山に囲まれ、土地の開発は容易ではなかったが、明治20年代には帯広に市街地の基礎がつけられた。大正期に入ると人々の生活にもゆとりが生まれ、小規模な美術展が開かれるようになる。昭和初期には、十勝初の団体公募展として平原社が誕生。次第に道展(北海道美術協会)や全国公募展の入選者が、十勝から多く輩出されるようになる。

あいさつ

伊藤隆二

広瀬 進

菅野 要

標題

八坂一郎

竹山義雄

昭和の発展

小林守村

崎崎晩翠

小林満枝

解説(寺島春雄)

長尾栄三

寺島春雄

戦後世代の活躍

ボデス、荒土会資料

帯広アンデパンダン資料

武田伸一

中西堯昭

関連資料

能勢眞美

解説(能勢の功績)

能勢眞美

渡邊様祥

おとおひでお

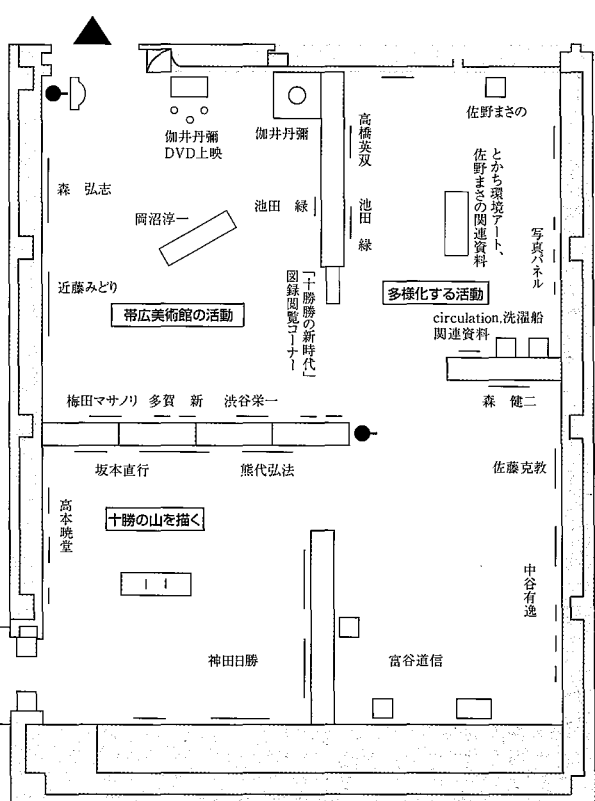
米山将治

熊代弘法

葛西新一

は十勝美術界の発展に貢献した。また1960年代、戦後新たな時代に青春を過ごした世代は、積極的に独自の美術活動を展開。近年はグループ展活動が拡大し、作家間、地域間の交流が進み、作品発表の形態が多様化している。

本展では当館コレクションを中心に、帯広百年記念館、十勝総合振興局の所蔵作品、また道立近代美術館や市内個人が所蔵する貴重な関連資料を加え、およそ100年に渡る十勝の美術の流れを紹介した。



出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
■プロローグ						
1	アーノルド・ヘンリー・サヴェジ・ランダー	渡辺勝宅	1890 (明治23)	油彩、板	14.6×24.0	帯広百年記念館
■昭和の発展						
2	八嶽一郎	糠平の風景	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	50.0×60.6	帯広市寄託
3	八嶽一郎	阿寒		油彩、キャンバス	37.9×45.5	帯広百年記念館
4	伊藤隆二	池のほとり	1931 (昭和6)	油彩、キャンバス	72.8×91.0	帯広市寄託
5	伊藤隆二	初秋	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	80.7×116.8	帯広市寄託
6	広瀬 進	花	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	58.0×48.0	帯広百年記念館
7	広瀬 進	義母・西村ミヨ像	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	60.5×45.0	帯広百年記念館
8	菅野 要	温室の見える風景	1941 (昭和16)	油彩、キャンバス	38.2×45.6	
9	竹山義雄	川畔秋草	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	145.5×112.2	帯広市寄託
10	小林守材	風景	1948 (昭和23)	油彩、板	58.0×79.0	
11	松崎晩翠	裸婦 (立像)	1951 (昭和26)	油彩、キャンバス	53.5×41.0	帯広百年記念館
12	松崎晩翠	裸婦 (座像)	1951 (昭和26)	油彩、キャンバス	53.0×45.5	帯広百年記念館
13	小林満枝	水辺	1977 (昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4	
14	能勢真美	初秋池畔	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	96.5×106.0	帯広市寄託
15	能勢真美	池畔雪景	1933 (昭和8)	油彩、キャンバス	130.5×162.3	
16	能勢真美	木々	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	162.1×130.3	
17	能勢真美	疎林初秋	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	97.0×162.0	
18	能勢真美	樹草	1973 (昭和58)	油彩、キャンバス	97.0×145.5	
■戦後世代の活躍						
19	中西堯昭	凍林	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	130.3×162.1	
20	長尾栄三	山脈の見える風景	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4	
21	寺島春雄	柵と人	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	162.1×130.7	
22	寺島春雄	深淵の声	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.7×162.5	
23	寺島春雄	赤の原野	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	131.3×194.3	
24	寺島春雄	吃り黙尊陳情	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	162.0×130.8	
25	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0	帯広市寄託
26	武田伸一	トカチB	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	130.3×162.1	帯広百年記念館
27	武田伸一	レクイエム	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	90.9×116.7	帯広百年記念館
28	熊代弘法	クオヴァデス	1978 (昭和53)	油彩、キャンバス	130.3×162.1	帯広百年記念館
29	葛西新一	牛と人II	1957/58 (昭和32/33)頃	油彩、キャンバス	60.6×50.0	帯広百年記念館
30	葛西新一	面 (つら)	1957/58 (昭和32/33)頃	油彩、キャンバス	60.6×80.3	帯広百年記念館
31	渡邊禎祥	郷愁	1965 (昭和40)	油彩、板	130.3×162.1	帯広百年記念館
32	おおとひでお	太陽をとる王様	1965 (昭和40)	油彩、板	160.9×129.0	
33	米山将治	神性賦与	1066 (昭和41)	ミクストメディア、板	90.9×65.2	帯広百年記念館
34	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	52.3×61.0	帯広市寄託
35	神田日勝	画室 E	1967 (昭和42)	油彩、板	163.0×183.0	帯広市寄託
36	神田日勝	画室 D	1967 (昭和42)	油彩、板	163.3×183.0	
37	神田日勝	人と牛	1968 (昭和43)	油彩、板	183.5×182.5	帯広市寄託
□十勝の山を描く						
38	高本暁堂	佐幌岳		絹本彩色	35.0×92.2	帯広百年記念館
39	高本暁堂	日高連峰と十勝平原 早春		絹本彩色	44.5×100.5	帯広百年記念館
40	坂本直行	初冬の日高連峰	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	65.2×53.0	十勝総合振興局

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
41	坂本直行	十勝大平原と日高連峰	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	78.0×154.2	帯広百年記念館
42	熊代弘法	ニベソツ	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	145.5×145.5	帯広百年記念館
43	富谷道信	マントル対流	1976 (昭和51)	鉄	40.0×40.0×230.0	帯広市寄託
44	富谷道信	雲は切れて晴れるかも知れない	1973 (昭和58)	ブロンズ	45.0×13.5×43.0	
45	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木 (イチイ)	115.0×30.0×50.0	
46	中谷有逸	鳥の碑 (地)	1963 (昭和38)	木版、紙	79.0×54.7	
47	中谷有逸	碑 (見えざりし者たちの)	1988 (昭和63)	凹凸併用版、紙	38.8×58.2	
48	中谷有逸	碑 (十字軍の妻たちのために)	1978 (昭和53)	凹凸併用版、紙	45.2×57.1	
49	中谷有逸	碑・古事記 (一つが二つ)	2008 (平成20)	ステンシル版、パネル	145.7×112.0	
50	佐藤克教	夜の箱	1993 (平成5)	木版、紙	182.0×150.0	
51	森 健二	光年の導「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	

■多様化する活動

52	佐野まさの	100本のマッチの中で最も美しい1本	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.1×161.7	
53	佐野まさの	作品		ミクストメディア、板	91.0×61.0×5.3	
54	佐野まさの	意識の装置	1995 (平成7)	ミクストメディア	35.9×14.5	
55	高橋英双	proto plast (原形体)	1988 (昭和63)	木	45.3×92.0×15.3	
56	池田 緑	Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月	2001-2002 (平成13-14)	インクジェットプリント、紙	各13.0×10.0 (12点組)	

□帯広美術館の活動

57	渋谷栄一	H 8 - B	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.7×122.7	
58	多賀 新	スフィンクス (土方巽氏に捧ぐ)	2000 (平成12)	フォトエッチング、紙	30.5×44.5	
59	多賀 新	秋草と鶉図	1998 (平成10)	エッチング、紙	36.5×24.0	
60	梅田マサノリ	compensation of balance #6	1995 (平成7)	アクリル絵具、石膏、キャンバス	90.8×99.8	
61	近藤みどり	慰する旅人 I	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	182.0×227.5	近藤みどり氏寄託
62	森 弘志	それ、普通	1994-95 (平成6-7)	油彩、キャンバス	162.4×162.2	
63	池田 緑	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	1999 (平成11)	プラスチックテープ、アクリルパイプ	205.5×59.9×9.8	
64	伽井丹彌	人形譚	1996 (平成8)	桐塑、アクリル絵具	高さ110.5	
65	岡沼淳一	MONSOON	1988 (昭和63)	埋もれ木 (ニレ)	185.0×44.3×190.0	
66	半谷 学	歩く人の風の装置	2004 (平成16)	海藻 (ホソジュズモ)、紙、原麻、顔料	603.0×80.0×301.5	
67	富谷 智	shell-shelter	2001 (平成13)	鉄、ボルト	260.0×130.0×250.0	富谷智氏寄託



18 能勢眞美「樹草」



45 富谷道信「アデラの記憶」

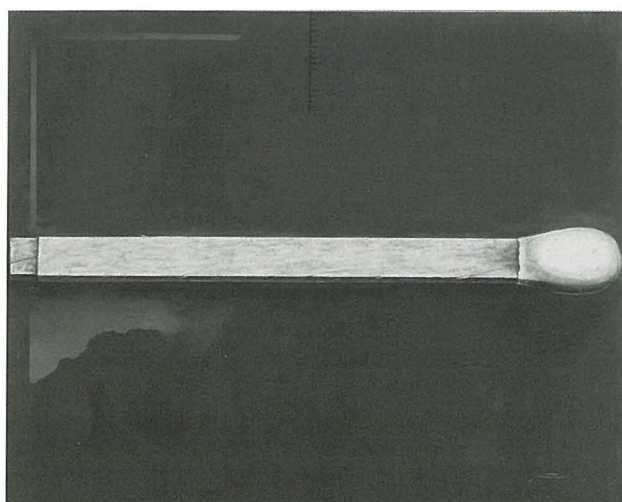
[関連資料]

作家名	資料名	年代	所蔵先
■昭和の発展			
	第1回道展出品目録	1925 (大正14)	北海道立近代美術館
	第2回道展出品目録	1926 (昭和元)	北海道立近代美術館
	第2回太地社展出品目録	1927 (昭和2)	北海道立近代美術館
	第3回太地社展出品目録	1928 (昭和3)	北海道立近代美術館
	第4回太地社展出品目録	1928 (昭和3)	北海道立近代美術館
能勢真美	「池」絵はがき／帝国美術院第12回展	1931 (昭和6)	北海道立近代美術館
能勢真美	「池畔」絵はがき／帝国美術院第13回展	1932 (昭和7)	北海道立近代美術館
能勢真美	「白樺の丘」絵はがき／第11回一水会展	1949 (昭和24)	北海道立近代美術館
能勢真美	「閑庭」絵はがき／第6回日本美術展	1950 (昭和25)	北海道立近代美術館
能勢真美	「樹草茂る」絵はがき／第12回日本美術展	1956 (昭和31)	北海道立近代美術館
	能勢真美氏後援会	1947 (昭和22)	北海道立近代美術館
	能勢真美・人と藝術 澤登龍生	1951 (昭和26)	北海道立近代美術館
	第2回楽浪社油絵展覧会	1952 (昭和27)	北海道立近代美術館
	道展50周年企画展 能勢真美油絵展	1975 (昭和50)	
	道展の友人達と一緒に書いたハガキ		北海道立近代美術館
	道展の友人達と一緒に書いたハガキ		北海道立近代美術館
	道展の友人達と一緒に書いたハガキ		北海道立近代美術館
■戦後世代の活躍			
	市民劇場第247回公演 帯広アンデパンダン美術展10回記念誌	1977 (昭和52)	米山将治氏
	第3回荒土会展	1962 (昭和37)	米山将治氏
	第3回 PODES 展	1957 (昭和32)	米山将治氏
	第5回 PODES 展	1959 (昭和34)	米山将治氏
■多様化する表現			
	洗濯船通信	1982 (昭和57)	米山将治氏
	洗濯船通信 NO2	1982 (昭和57)	米山将治氏
	CIRCULATION'85	1985 (昭和60)	米山将治氏
佐野まさの	ファイル		佐野ひとみ氏
佐野まさの	アルバム		佐野ひとみ氏
	帯広の森アートキャンプ'97	1997 (平成9)	
	佐野まさの作品資料／平面1970-2003環境アート／感性の素描別紙	2003 (平成15)	
	マチは美術館づくり とかち環境アート2002	2003 (平成15)	
伽井丹彌	アート・パフォーマンス人形遊戯／DVD 7分	2000 (平成12)	

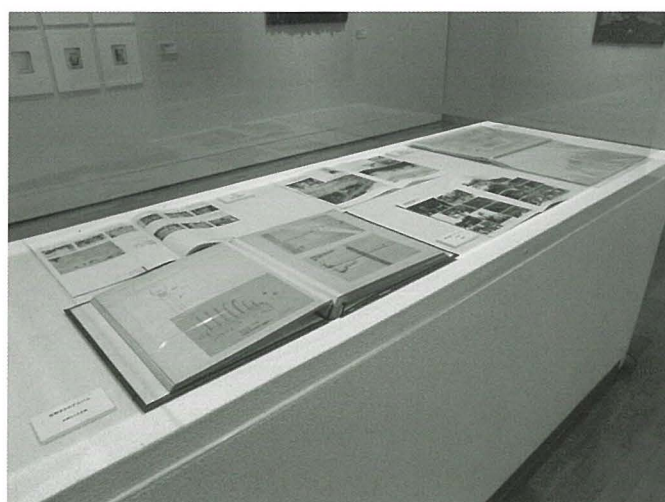
* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品は注記以外が幅×奥行×高さ、または径×高さ。

* 所蔵先に記載のない作品、資料はすべて北海道立帯広美術館蔵。

* No.66,67はロビーに展示した。



52 佐野まさの「100本のマッチの中で最も美しい1本」



関連資料展示風景

帯広美術館コレクション選 美術のみ・か・た 7つの扉

会期＝平成26年4月25日(金)－7月9日(水) 65日間

主催＝北海道立帯広美術館

協賛＝帯広大谷短期大学

観覧料＝一般510(410)円、高大生300(250)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日、こどもの日(5月5日)は無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

ギャラリー・ツアー

講師＝五十嵐聡美(当館学芸課長)

日時＝5月10日(土)、6月7日(土) 午後2時～(約45分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「折って折って…うで時計」

日時＝5月17日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

キッズ・ツアー

講師＝五十嵐聡美(当館学芸課長)、野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝5月24日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミュージアム・カレッジ

「あなたの知らない?! 美術館の秘密～学芸員のお仕事編」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝6月21日(土)、6月28日(土)、7月5日(土) 午後2時～3時
30分/全3回

*コレクション・ギャラリー「新収蔵品展」の関連事業
としても実施。

会場＝当館講堂、主展示室、コレクション・ギャラリー、収蔵
庫ほか(参加料550円、応募制)

関連記事

「帯広で『美術のみ・か・た 7つの扉』展 視点を工夫 印象一
変」北海道新聞／5月2日(金)

池田緑「編集余録 座布団と美術館」十勝毎日新聞／5月8日(木)

石尾乃里子「おびひろミュージアム通信 やっと会えた! 1.5
センチの小さな犬」釧路新聞／6月16日(月)



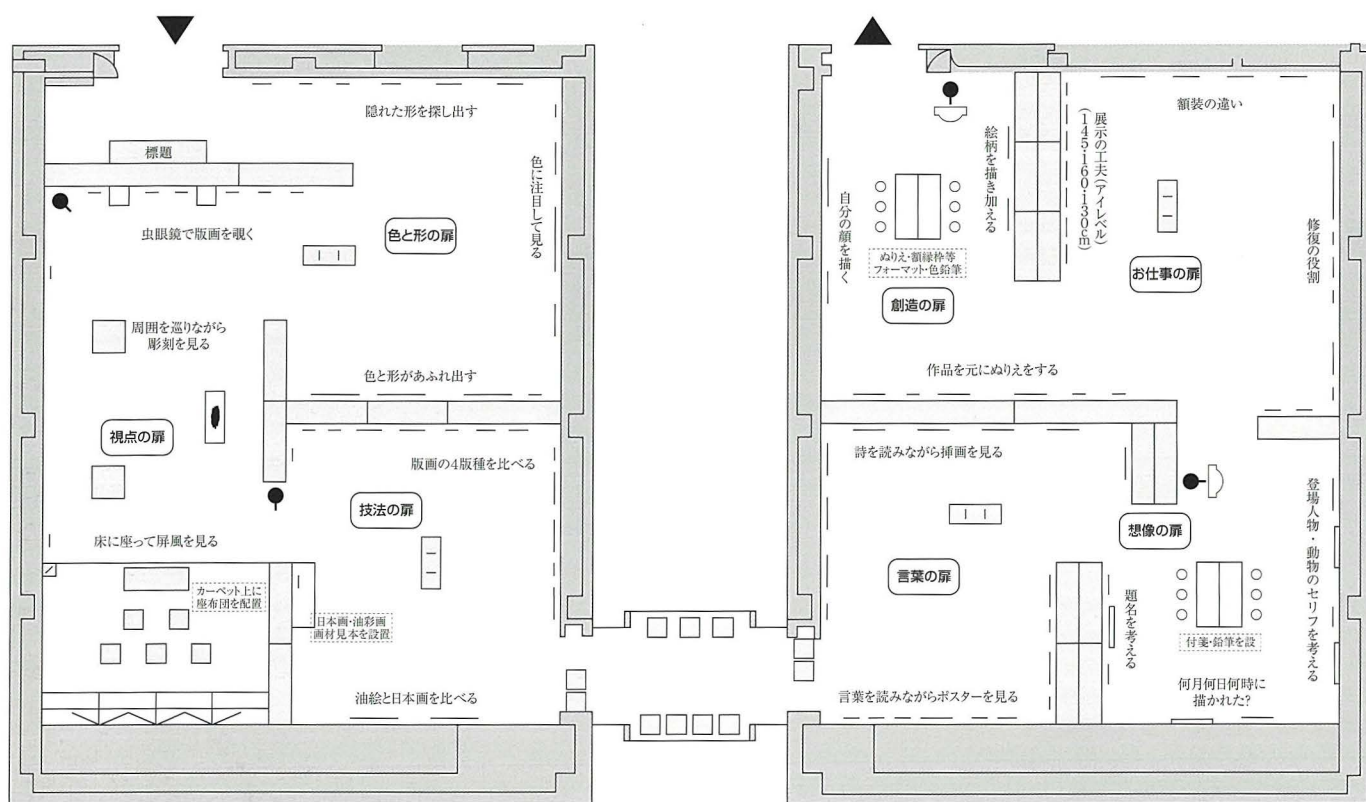
ポスター

美術作品はモチーフやテーマといった表現内容、色・形・線といった造形要素、制作技法の工夫など、さまざまな観点から多角的、重層的に鑑賞することで、理解をより深めたり、新たな魅力を発見したりすることができる。

本展では、作品鑑賞への手がかりを扉にみたてた7つのコーナー（「色と形の扉」、「視点の扉」、「技法の扉」、「言葉の扉」、「想像の扉」、「お仕事の扉」、「創造の扉」）にわたって、多彩なジャンルの作品をユニークな視点から紹介することにより、一般来館者

に美術鑑賞のたのしさを伝えることを趣旨とした。

銅版画の微細な線描表現を虫眼鏡を使って鑑賞する、屏風作品を座布団に座って鑑賞する、作品名や主題についてめぐらせた想像を紙片に記入し作品の横に貼り付ける、塗り絵や簡単な描画など創造活動を通じ作品にアプローチするなど、さまざまなアクティビティをきっかけに、いつも以上に美術鑑賞をたのしむ来場者の姿が多くみられた。



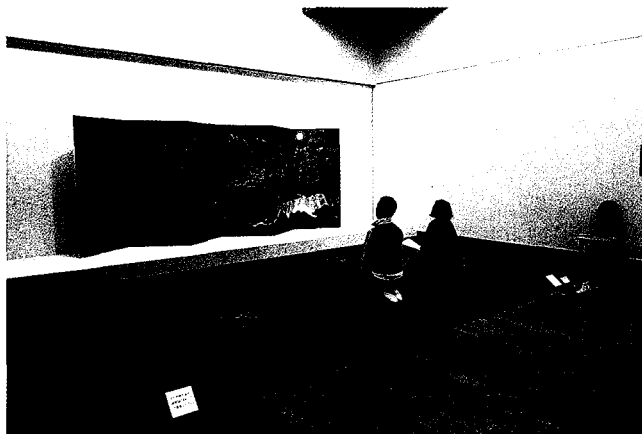
展示図面



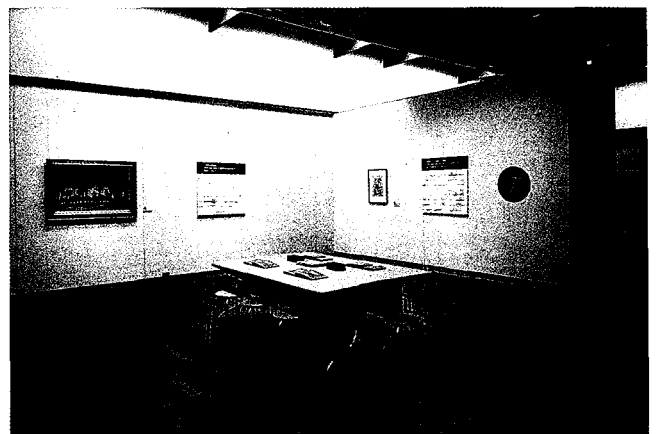
会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
■色と形の扉					
1	マリア・サッシ	イタリア航路、南アメリカ	1950	リトグラフ、紙	96.4×59.5
2	オガロ (マリウス・ロシヨン)	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
3	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
4	百瀬 寿	Square - Metallic Yellow and Silver	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
5	百瀬 寿	Square - Vertical Blue to Magenta	1981 (昭和56)	スクアナグラフ (NECO)、キャンバス	180.0×180.2
6	百瀬 寿	Square - Metallic Green and Violet	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
7	森 健二	光年の導「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
8	鬚嘯	オープニング或いは再び田園	1992 (平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0 (2枚一組)
■視点の扉					
9	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現れた天使	1634	エッチング、紙	25.2×21.5
10	ジュール・デュブレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7
11	シャルル＝エミール・ジャック	蹄鉄場	1865	エッチング、紙	12.8×19.3
12	フランソワ＝ルイ・フランセ	沼辺の犬	19世紀中頃	リトグラフ、紙	15.6×24.7
13	鳴海寛理	呼吸構築体－接続領域#2	2001 (平成13)	木、鉄、真鍮	110.0×110.0×211.0
14	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木 (イチイ)	115.0×30.0×50.0
15	中江紀洋	HAHA (折り)	1994 (平成6)	木 (スプリース)、金属	107.0×91.5×156.0
16	六郎田天鈴	春晚崇座献「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」	1988 (昭和63)	紙本彩色、屏風 (六曲一隻)	180.0×510.0
■技法の扉					
17	北岡文雄	銀座の露店	1948 (昭和23)	木版、紙	35.6×45.2
18	小林敬生	午後の鎮魂歌 No.3-C	1980 (昭和55)	木口木版、紙	30.0×47.6
19	多賀 新	女と止揚	1974 (昭和49)	エッチング、アクアチント、メゾチント、紙	42.0×36.5
20	ジャン＝フェルディナン・シュニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	エッチング、紙	19.8×30.7
21	オーギュスト・アロンジェ	池の水門	1879	木炭、リトグラフ、紙	55.7×41.6
22	栗谷川健一	牧場の鐘	1952 (昭和27)	オフセット、紙	103.2×73.0
23	栗谷川健一	古代オリンピック塔	1958 (昭和33)	シルクスクリーン、紙	104.0×73.2
24	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
25	小林満枝	叢原	1985 (昭和60)	紙本彩色	112.0×145.4
■言葉の扉					
26	作者不詳	脱毛防止剤「ベルテュイジヌ」	1899	リトグラフ、紙	86.5×66.0
27	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン) (原画)	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ、紙	39.6×31.1
28	ジュール・シェレ	カフェ＝コンセール「新サーカス」 ヌーヴォー・シルク	1889	リトグラフ、紙	117.4×83.2
29	ポール・バルトン	ノルマンディ、ブルターニュ西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
30	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より まどの水	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7



会場風景／視点の扉



会場風景／想像の扉

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
31	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より にじ	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
32	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より 星	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
33	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より 青い空のような花	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
34	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より ぶた	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
35	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より バレンタインデー	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
36	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より おとうさんのちんこ	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
37	矢柳 剛	「飛んだえんぴつ」より 飛んだえんぴつ	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
■想像の扉					
38	難波田龍起	無題	1951 (昭和26)頃	謄写版、紙	32.5×21.9
39	能勢真美	春近き日	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	65.0×100.0
40	能勢真美	自画像	1948 (昭和23)頃	油彩、キャンバス	41.4×32.2
41	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0×65.0
■お仕事の扉					
42	小林守材	風景	1948 (昭和23)	油彩、板	58.0×79.0
43	菅野 要	温室の見える風景	1941 (昭和16)	油彩、キャンバス	38.2×45.6
44	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
45	レオン・リッシュ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
46	小林満枝	春夕焼 II	1991 (平成3)	紙本彩色	116.7×80.3
47	ヨハン・バルトルト・ヨンキント	オンフルールの港の入口	1863	エッチング、紙	22.1×30.5
48	島 州一	ジーンズ	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、布	94.5×103.3
49	増田 誠	旧約聖書 幸の泉	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.3
50	増田 誠	旧約聖書 紅海	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.5
51	増田 誠	旧約聖書 金の子牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.5
52	増田 誠	旧約聖書 チンの荒野	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.4
53	増田 誠	旧約聖書 エリコの陥落〈主の契約の箱〉	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.6
54	増田 誠	旧約聖書 イスラエルの王スリヤの王を討つ	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.5
■創造の扉					
55	矢柳 剛	最後の晩餐	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	51.1×72.8
56	レオネット・カビエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8
57	ジャン・コクトー	オルフェの遺言	1959	リトグラフ、紙	160.0×120.0
58	檜原武正	子供	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	135.0×110.0
59	村元俊郎	セニョリータ	1991 (平成3)	油彩、キャンバス	130.5×162.0
60	ラウール・マルトン	ワイン「ジェスヴェレール」	1930頃	リトグラフ、紙	150.3×112.5
61	作者不詳	あなたの列車、C.F.F.	1939頃	リトグラフ、紙	125.2×90.0

*寸法は平面作品が縦×横 (×奥行き)、立体作品が幅×奥行×高さ。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (ただし、No.16,41,44,45は帯広市寄託)。



会場風景／お仕事の扉



会場風景／創造の扉

大正ロマン昭和モダン展

時代を彩った挿絵画家たち—竹久夢二・高島華宵から中原淳一まで

会期＝平成26年7月18日(金)－9月24日(水) 59日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、大正ロマン昭和モダン展実行委員会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

後援＝帯広市、帯広市教育委員会、十勝町村会、十勝管内教育委員会連絡協議会、帯広市校長会、十勝小・中校長会、北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、(一財)帯広市文化スポーツ振興財団

監修＝中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)

企画協力＝イー・エム・アイ・ネットワーク

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

オープニング・トーク

「大正挿絵の色あせない魅力とは…」

講師＝中右 瑛氏(洋画家、美術評論家)

日時＝7月18日(金) 午前9時30分～10時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

美術講演会

「夢二の恋人生—大正の挿絵画家たち」

講師＝中右 瑛氏(洋画家、美術評論家)

日時＝7月19日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

特別鑑賞会

「レコードと音の文化史—大正編」

講師＝山内秋夫氏(帯広狂言づくしの会代表)

日時＝8月23日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「いろいろ・紙ぞめうちわ」

日時＝7月26日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝8月2日(土) 午後2時～(約30分)



ポスター



図録

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	材質	寸法 (cm)
25	竹久夢二	我家の唄『セノオ楽譜』	大正15	オフセット版画	紙本彩色	31.0×22.0
26	竹久夢二	鐘『セノオ楽譜』	大正6	オフセット版画	紙本彩色	31.0×22.0
27	竹久夢二	我を偲び給へ『セノオ楽譜』	大正5-昭和4	オフセット版画	紙本彩色	31.0×22.0
28	竹久夢二	さらば我世の幸福よ『セノオ楽譜』	大正13	オフセット版画	紙本彩色	31.0×22.0
29	竹久夢二	星合『婦人グラフ』の挿絵	大正13年7月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	30.5×21.0
30	竹久夢二	花火『婦人グラフ』の表紙絵	大正13年8月号	木版画(機械刷)	雑誌	32.5×24.5
31	竹久夢二	勇敢な恋人『婦人グラフ』の挿絵	大正13年8月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	30.5×21.0
32	竹久夢二	秋『婦人グラフ』の表紙絵	大正13年9月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	32.5×24.5
33	竹久夢二	童話『婦人グラフ』の挿絵	大正13年9月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	30.5×21.0
34	竹久夢二	化粧の秋『婦人グラフ』の表紙絵	大正13年10月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	18.5×19.5
35	竹久夢二	麻利耶観音『婦人グラフ』の挿絵	大正13年11月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	32.5×24.5
36	竹久夢二	秋のしらべ『婦人グラフ』の表紙絵	大正13年11月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	32.5×24.0
37	竹久夢二	寝椅子『婦人グラフ』の挿絵	大正13年11月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	30.5×21.0
38	竹久夢二	1926年春『婦人グラフ』の表紙絵	大正15年1月号	オフセット版画	雑誌	32.5×24.5
39	竹久夢二	如月の傳説『婦人グラフ』の表紙絵	大正15年2月号	木版画(機械刷)	雑誌	32.5×24.5
40	竹久夢二	APL. FOOL『婦人グラフ』の表紙絵	大正15年4月号	オフセット版画	雑誌	32.5×24.5
41	竹久夢二	雪の夜の伝説『婦人グラフ』の口絵	大正15年12月号	木版画(機械刷)	紙本彩色	32.5×21.0
42	竹久夢二	素描 (手帳より) 1	大正7頃	鉛筆	紙本単色	13.0×17.7
43	竹久夢二	素描 (手帳より) 2	大正7頃	鉛筆	紙本単色	26.0×17.7
44	竹久夢二	素描 (手帳より) 3	大正7頃	鉛筆	紙本単色	17.7×26.0
45	竹久夢二	素描 (手帳より) 4	大正7頃	鉛筆	紙本単色	17.7×13.0
46	竹久夢二	素描 (手帳より) 5	大正7頃	鉛筆	紙本単色	17.7×13.0
47	竹久夢二	素描 (手帳より) 6	大正7頃	鉛筆	紙本単色	17.7×13.0
48	竹久夢二	素描 (手帳より) 7	大正7頃	鉛筆	紙本単色	17.7×13.0
49	竹久夢二	素描 (手帳より) 8	大正7頃	鉛筆	紙本単色	26.0×17.7
50	竹久夢二	素描 (手帳より) 9	大正7頃	鉛筆	紙本単色	17.7×26.0
51	竹久夢二	素描 (手帳より) 10	大正7頃	鉛筆	紙本単色	17.7×26.0
52	竹久夢二	「関東大震災」都新聞掲載の挿絵 1	大正12	原画	紙本単色	16.5×19.7
53	竹久夢二	「関東大震災」都新聞掲載の挿絵 2	大正12	原画	紙本単色	17.5×20.0
54	竹久夢二	朝顔		原画	紙本単色	24.0×15.0
55	竹久夢二	著作本『三味線草』	大正4	印刷	書籍	17.0×11.5
56	竹久夢二	吉井勇著『祇園双紙』の装丁	大正6	印刷	書籍	16.0×11.5
57	竹久夢二	著作本『恋愛秘語』	大正13	印刷	書籍	19.5×13.5
58	竹久夢二	著作本『童謡の本・風』	大正15	印刷	書籍	21.0×16.0
59	竹久夢二	著作本『露台薄暮』	昭和3	印刷	書籍	19.5×14.0
60	竹久夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	大正15年5月号	印刷	書籍	22.0×15.0
61	竹久夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	昭和4年7月号	印刷	書籍	22.0×15.0
62	竹久夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	昭和4年8月号	印刷	書籍	22.0×15.0
63	竹久夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	昭和5年7月号	印刷	書籍	22.0×15.0
64	竹久夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	昭和5年11月号	印刷	書籍	22.0×15.0
65	竹久夢二	東京九段つるや画房出版の絵葉書	明治43-大正9頃	印刷	葉書	14.8×10.0
66	竹久夢二	「少女十二カ月双六」『少女倶楽部』の付録	昭和3年1月号	印刷	双六	54.0×70.0
67	竹久夢二	『日本児童文庫 世界童話集(中)』の挿絵 楠山正雄訳 「少女と魔女」	昭和2頃	原画	紙・インク	27.8×21.4
68	竹久夢二	『日本児童文庫 世界童話集(中)』の挿絵 楠山正雄訳 「母親」	昭和2頃	原画	紙・インク	29.0×21.0
69	高畠華宵	花吹雪舞妓	昭和6頃-30頃	肉筆画	紙本彩色	23.0×35.0
70	高畠華宵	ほたる籠	昭和6頃-30頃	肉筆画	紙本彩色	23.0×35.0
71	高畠華宵	あじさい娘	昭和6頃-30頃	肉筆画	絹本彩色	123.8×40.6
72	高畠華宵	梅下女性図	昭和6頃-30頃	肉筆画	絹本彩色	94.4×27.5
73	高畠華宵	八幡太郎義家	昭和6頃-30頃	肉筆画	絹本彩色	120.8×34.2
74	高畠華宵	逝く春	昭和6頃-30頃	肉筆画	紙本彩色	142.0×39.0
75	高畠華宵	白拍子	昭和6頃-30頃	肉筆画	紙本彩色	134.4×32.6
76	高畠華宵	正月の羽根	昭和6頃-30頃	肉筆画	紙本彩色	23.0×35.0
77	高畠華宵	正月 (羽根つき)	昭和6頃-30頃	肉筆画	紙本彩色	26.5×24.0
78	高畠華宵	シュューベルト	昭和6頃-30頃	肉筆画	絹本彩色	75.5×61.0
79	高畠華宵	祇園夜桜	昭和6頃-30頃	肉筆画	絹本彩色	101.4×40.4

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	材質	寸法 (cm)
80	高島華宵	南国の唄『少女画報』5月号の口絵		原画	紙本彩色	23.0×17.0
81	高島華宵	花をいだいて (鈴蘭)		原画	紙本彩色	20.5×17.2
82	高島華宵	京舞妓 (柳)		原画	紙本彩色	22.5×18.5
83	高島華宵	娘 (芙蓉)		原画	紙本彩色	20.5×18.2
84	高島華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵 1	大正15頃	原画	紙本単色	各12.0×12.0
85	高島華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵 2	大正15頃	原画	紙本単色	各12.0×12.0
86	高島華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵 3	大正15頃	原画	紙本単色	各12.0×12.0
87	高島華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵 4	大正15頃	原画	紙本単色	各12.0×12.0
88	高島華宵	妻は何処に『婦女界』挿絵	大正15	原画	紙本単色	11.0×11.0 11.0×22.0
89	高島華宵	「七転八起開運出世双六」『講談倶楽部』の付録	大正13年1月号	印刷	双六	55.0×79.0
90	高島華宵	「武運を祈りて」『恤兵』(じゅっぺい)の付録	昭和7	印刷	葉書	14.8×10.0
91	高島華宵	華宵浴衣絵葉書・夕空	昭和初期	印刷	葉書	14.8×10.0
92	橘 小夢	刺青	大正12	木版画	紙本単色	30.0×18.0
93	橘 小夢	水魔	昭和7	版画	紙本彩色	32.0×21.0
94	橘 小夢	唐人お吉	昭和8	木版画	紙本彩色	32.3×21.0
95	橘 小夢	お蝶夫人	昭和9	木版画	紙本彩色	32.3×21.0
96	橘 小夢	タカラジェンヌ	昭和期	木版画	紙本彩色	24.0×18.0
97	橘 小夢	タカラジェンヌ (着帽の図)	昭和期	木版画	紙本彩色	23.5×18.0
98	橘 小夢	楽屋化粧		肉筆画	絹本彩色	65.2×57.2
99	橘 小夢	お姫様		肉筆画	絹本彩色	43.5×43.5
100	橘 小夢	お小姓		肉筆画	絹本彩色	43.5×43.5
101	落谷虹児	少女	大正末-昭和期	肉筆画	紙本彩色	40.0×31.0
102	落谷虹児	雪うさぎ		肉筆画	紙本彩色	26.5×24.0
103	落谷虹児	花嫁人形		肉筆画	紙本彩色	26.5×24.0
104	落谷虹児	『童幼の国』の表紙絵	大正末-昭和期	原画	紙本彩色	33.5×23.8
105	落谷虹児	お留守居『令女界』の表紙絵	大正11年第1巻8号11月号	原画	紙本彩色	21.5×14.9
106	落谷虹児	山上『婦人グラフ』の挿絵	大正13年7月号	木版画	紙本彩色	17.0×9.5
107	落谷虹児	『少女倶楽部』の挿絵	昭和27	原画	紙本彩色	29.0×22.0
108	落谷虹児	『少女倶楽部』の挿絵	昭和27	原画	紙本彩色	23.0×37.0
109	落谷虹児	「姉妹仲よし双六」『少女画報』の付録	大正11年1月1月号	印刷	双六	71.5×52.0
110	落谷虹児	『令女界』の表紙	昭和98月号	印刷	雑誌	22.5×15.0
111	落谷虹児	『令女界』の表紙	昭和99月号	印刷	雑誌	22.5×15.0



81 高島華宵「花をいだいて(鈴蘭)」



95 橘 小夢「お蝶夫人」

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	材質	寸法 (cm)
112	落谷虹児	『令女界』の表紙連載	昭和9年10月号	印刷	雑誌	22.5×15.0
113	落谷虹児	『令女界』の表紙	昭和10年2月号	印刷	雑誌	22.5×15.0
114	落谷虹児	『令女界』の表紙	昭和11年6月号	印刷	雑誌	22.5×15.0
115	落谷虹児	絵葉書	大正12頃	印刷	葉書	14.8×10.0
116	落谷虹児	「ビゼー アルルの女」のビクターレコードジャケット絵	昭和14頃	印刷	ジャケット	31.5×34.5
117	落谷虹児	挿絵「女性横顔」	大正15頃	原画	紙・インク	19.5×16.0
118	落谷虹児	挿絵「舞妓座す」		原画	紙・インク	23.6×8.6
119	鏑木清方	茶屋娘	大正期-昭和47	肉筆画	絹本彩色	100.0×26.0
120	鏑木清方	唐人お吉	昭和11年12月	肉筆画	紙本彩色	63.0×73.5
121	鏑木清方	おさん 『近松全集挿絵版画集』	大正12	木版画	紙本彩色	46.0×29.5
122	鏑木清方	モダン美女	昭和期	版画	紙本彩色	30.0×20.0
123	伊東深水	蚊張美人図	大正末頃-昭和47	肉筆画	絹本彩色	各112.3×26.8
124	伊東深水	新美人十二姿 おしろい	大正12年7月	木版画	紙本彩色	39.0×24.0
125	伊東深水	昭和美人風俗 浅春	昭和6	木版画	紙本彩色	35.0×23.0
126	北野恒富	鶯娘	大正末	肉筆画	紙本彩色	117.0×34.2
127	北野恒富	鶯娘	大正14	木版画	紙本彩色	54.5×36.3
128	北野恒富	踊り		肉筆画	紙本 彩色	120.0×41.0
129	小早川清	唐人お吉	大正期-昭和23	肉筆画	絹本彩色	43.5×52.0
130	小早川清	ささやき	大正期-昭和23	肉筆画	絹本彩色	130.0×42.5
131	小早川清	水谷八重子像	大正期-昭和23	肉筆画	絹本・羽子板	54.0×32.0
132	小早川清	唐人お吉	大正期-昭和23	木版画	紙本彩色	33.5×44.0
133	小早川清	近世時世ノ粧内 ほろ酔ひ	昭和5年2月	木版画	紙本彩色	43.5×27.5
134	小早川清	近世時世ノ粧内 口紅	昭和6年3月	木版画	紙本彩色	48.5×27.5
135	山本 鼎	漁夫 『明星』の挿絵	明治37	木版画	紙本単色	16.0×11.0
136	恩地孝四郎	ヌード	大正初期	木版画	紙本彩色	24.0×37.5
137	青木 繁 (原画)	鏑斧 詩集『春鳥集』の口絵 蒲原有明著 山本 鼎 (木口木版画)	明治37	木版画	紙・木版	13.0×9.0
138	石井柏亭	木場	大正3	木版画	紙・木版	25.3×19.0
139	池田輝方	汐干狩二美人図	明治期-大正10	肉筆画	絹本彩色	126.2×41.1
140	池田蕉園	七夕	明治期-大正6	肉筆画	絹本彩色	113.1×41.0
141	伊藤晴雨	浴後の涼み	大正期-昭和36	肉筆画	絹本彩色	122.0×40.5
142	伊藤小坡	船あそび	大正期-昭和43	肉筆画	絹本彩色	131.0×42.5
143	島 成園	夏の女	大正期-昭和45	肉筆画	絹本彩色	105.0×36.0
144	木谷千種	湯あがり	昭和期	肉筆画	絹本彩色	40.0×46.0
145	木谷千種	宝船		肉筆画	絹本彩色	31.0×35.7
146	栗原玉葉	うつつ		肉筆画	紙本 彩色	16.5×51.3
147	西田青坡	お出かけ	大正後期	肉筆画	絹本彩色	124.5×36.0
148	岡本一平	創作中の漱石先生	明治期-昭和23	肉筆画	紙本・扇子	13.0×36.0
149	岡本一平	『週刊朝日』の画稿	大正-昭和期	挿絵	紙・インク	26.5×19.0
150	橋口五葉	化粧	大正7	木版画	紙本彩色	55.7×39.5
151	戸張孤雁	温泉宿	大正8	木版画	紙本彩色	48.5×35.0
152	高橋弘明	ヌード	昭和3	木版画	紙本彩色	53.5×37.7
153	鳥居言人	朝寝髪	昭和8	木版画	紙本彩色	39.0×24.0
154	瀧 秋方	近代麗人画譜・港街の日本娘	昭和11	木版画	紙本彩色	38.5×27.0
155	石川寅治	踊り	昭和9	木版画	紙本彩色	49.0×37.5
156	東郷青児	モダン娘	大正期-昭和53	木版画	紙本彩色	43.0×33.0
157	山村耕花	犬を連れた洋装婦人	明治末-昭和17	肉筆画	紙本彩色	147.5×30.5
158	山村耕花	踊り	大正13	木版画	紙本彩色	39.5×27.0
159	山村耕花	『京洛異変』の挿絵	明治末-昭和17	原画	紙本単色	19.5×30.5
160	小村雪岱	『両国』の挿絵	大正-昭和15	原画	紙本単色	15.5×23.0 17.5×12.5
161	小村雪岱	お傳地獄	昭和13頃	木版画	紙本彩色	25.0×50.5
162	小村雪岱	夜雨	昭和13頃	木版画	紙本・団扇型	25.5×39.0
163	小村雪岱	『お傳地獄』の装丁	昭和11	印刷	書籍	19.5×14.5
164	小村雪岱	『浮名三味線 色娘おせん』の装丁	昭和11	印刷	書籍	19.5×14.5
165	小村雪岱	挿絵「忠臣蔵」矢田挿雲著 報知新聞	昭和10-15	原画	紙・墨	各18.5×26.5
166	志村立美	『酉の市、女』の挿絵	大正期-昭和55	原画	紙本彩色	27.5×19.5

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	材質	寸法 (cm)
167	志村立美	ゆかた	大正期-昭和55	肉筆画	紙本彩色	41.0×52.0
168	志村立美	船橋聖一著 『男』の挿絵大阪毎日新聞	昭和16	原画	紙本単色	21.8×30.8
169	志村立美	『恋慕奉行』の挿絵(図録の通りに表記)	昭和33	原画	紙本単色	16.3×22.5
170	志村立美	『二つの瞳』(美空ひばり)	大正期-昭和55	版画	紙本彩色	35.0×35.0
171	志村立美	林不忘著 『丹下左膳』の装丁	昭和10	印刷	書籍	20.0×14.7
172	伊藤幾久造	巴御前	大正期-昭和60	肉筆画	絹本彩色	53.2×40.0
173	伊藤幾久造	八幡太郎義家	大正期-昭和60	肉筆画	絹本彩色	131.0×50.0
174	伊藤幾久造	辰巳の女	大正期-昭和60	肉筆画	紙本彩色	26.5×24.0
175	伊藤幾久造	舞妓	大正期-昭和60	肉筆画	紙本彩色	26.5×24.0
176	川西 英	サロメ	昭和3頃-40	肉筆画	布・金彩	117.4×31.0
177	川西 英	楽器を持つ女	昭和3頃-40	肉筆画	紙本彩色	123.4×30.4
178	川西 英	美人画 (三味線を持つ女性)	昭和3頃-40	肉筆画	紙本・団扇	24.0×23.0
179	川西 英	美人画 (後姿の女性)	昭和3頃-40	肉筆画	紙本・団扇	22.0×28.0
180	川西 英	美人画 (頬杖をつく女性)	昭和3頃-40	肉筆画	紙本・団扇	17.0×23.0
181	川西 英	美人画 (裸婦)	昭和3頃-40	肉筆画	紙本・団扇	24.5×27.0
182	川西 英	短冊 四図	昭和3頃-40	肉筆画	紙本彩色	各35.5×6.0
■昭和モダン						
183	中原淳一	あしながおじさん 『ジュニアそれいゆ』	昭和29年7月号	原画	紙本彩色	27.5×16.7
184	中原淳一	最後の葉 『ジュニアそれいゆ』	昭和31年9月号	原画	紙本彩色	21.3×24.2
185	中原淳一	イノック・アーデン挿絵『ジュニアそれいゆ』	昭和34年1月号	原画	紙本単色	14.0×13.0
186	中原淳一	サイン色紙	昭和31	肉筆画	紙本単色	27.1×24.1
187	中原淳一	サイン色紙 (横顔の図)	昭和31	肉筆画	紙本単色	27.1×24.1
188	中原淳一	挿絵 (王子の図)	昭和期	原画	紙本単色	26.7×17.5
189	中原淳一	挿絵 (姫の図)	昭和期	原画	紙本単色	26.7×17.5
190	中原淳一	娘十二月 1月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
191	中原淳一	娘十二月 2月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
192	中原淳一	娘十二月 3月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
193	中原淳一	娘十二月 4月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
194	中原淳一	娘十二月 5月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
195	中原淳一	娘十二月 6月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
196	中原淳一	娘十二月 7月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
197	中原淳一	娘十二月 9月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
198	中原淳一	娘十二月 10月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
199	中原淳一	娘十二月 11月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0
200	中原淳一	娘十二月 12月	昭和14頃	木版画	紙本彩色	20.5×16.0



150 橋口五葉「化粧」



205 中原淳一『『それいゆ』の表紙絵』

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	材質	寸法 (cm)
201	中原淳一	便箋『野薔薇』の表紙	昭和13	印刷	ミュージック レター	25.5×21.5
202	中原淳一	トランプ「ランドゲーム」ケース付	昭和15	印刷	カード	9.0×2.3 (各)
203	中原淳一	『少女の友』の表紙	昭和14年1-12月号	印刷	雑誌	22.0×15.0 (各)
204	中原淳一	女性誌『それいゆ』の表紙	昭和29 (1954年春)	印刷	雑誌	18.5×21.0
205	中原淳一	女性誌『それいゆ』の表紙	昭和29 (1954年秋)	印刷	雑誌	18.5×21.0
206	中原淳一	女性誌『それいゆ』の表紙	昭和29 (1954年冬)	印刷	雑誌	18.5×21.0
207	中原淳一	慰問絵葉書	昭和期	印刷	葉書	14.8×10.0 (各)
208	中村大三郎	明眸		肉筆画	絹本彩色	55.2×50.8
209	太宰敦夫	絵葉書「近代女性美」	昭和7	印刷	葉書	14.8×10.0 (各)
210	宇崎純一	絵葉書	大正期・昭和29	印刷	葉書	14.8×10.0 (各)
211	大倉九節	高橋掬太郎著『花かんざし』の装丁	昭和21	木版画	書籍	25.0×19.0
212	大倉九節	高橋掬太郎著『花かんざし』1	昭和21	木版画	紙本彩色	21.0×14.5
213	大倉九節	高橋掬太郎著『花かんざし』2	昭和21	木版画	紙本彩色	21.0×14.5
214	大倉九節	高橋掬太郎著『花かんざし』3	昭和21	木版画	紙本彩色	21.0×14.5
215	大倉九節	高橋掬太郎著『花かんざし』4	昭和21	木版画	紙本彩色	21.0×14.5
216	大倉九節	高橋掬太郎著『花かんざし』5	昭和21	木版画	紙本彩色	21.0×14.5
217	須藤しげる	「少女数へ歌双六」	昭和4	印刷	双六	66.0×86.0
218	須藤しげる	挿絵「和服の少女 高原」	昭和4	原画	紙・水彩	29.0×19.0
219	須藤しげる	挿絵「セーラー服の少女 牧場」	昭和4	原画	紙・水彩	29.0×19.0
220	須藤しげる	挿絵 (少年 2図)		原画	紙・水彩	29.0×19.0
221	須藤しげる	挿絵「野球少年、少女と子犬」		原画	紙・水彩	29.0×19.0
222	加藤まさを	月の沙漠		挿画	色紙・水彩	27.0×24.0
223	加藤まさを	スキーの歌		原画	紙・インク	23.0×16.0
224	小林かいち	灰色のカーテン No31 絵葉書4枚と袋	大正15頃・昭和15頃	絵葉書	紙・木版	14.0×9.0
225	小林かいち	二號街の女 No37 絵葉書4枚と袋	大正15頃・昭和15頃	絵葉書	紙・木版	14.0×9.0
226	作者不詳	『コドモアサヒ』	大正13年8月	印刷	雑誌	26.0×19.0
227	作者不詳	馬上の源義経		染織	着物	100.0×82.0
228	松本かつぢ	ばらの少女	昭和20-30年代頃	原画	紙本彩色	23.0×16.0
229	松本かつぢ	みずうみのひとり	昭和20-30年代頃	原画	紙本彩色	28.0×24.5
230	松本かつぢ	アリゾナの緋薔薇『少女の友』の挿絵	昭和25年12月号	原画	紙本単色	27.0×37.0
231	松本かつぢ	アリゾナの緋薔薇『少女の友』の挿絵	昭和26-27	原画	紙本単色	27.0×37.1
232	松本かつぢ	アリゾナの緋薔薇『少女の友』の挿絵	昭和27年7月号	原画	紙本単色	27.0×37.2
233	岩田専太郎	吹雪の女	昭和期	肉筆画	紙本彩色	36.5×44.0
234	岩田専太郎	近代美人	昭和期	肉筆画	紙本彩色	26.2×19.0
235	岩田専太郎	昭和美人図	昭和期	肉筆画	紙本彩色	28.5×14.0
236	岩田専太郎	『苦楽』の挿絵	大正末・昭和期	原画	紙本単色	各24.5×15.7
237	岩田専太郎	大佛次郎著『天狗廻状』の挿絵 報知新聞	昭和7	原画	紙本単色	22.0×31.0
238	岩田専太郎	『講談の泉』の表紙絵	昭和24年3月	原画	紙本彩色	21.5×21.3
239	岩田専太郎	小島政二郎著『甘肌』ポスターの原画	昭和29頃	原画	紙本彩色	37.4×42.2
240	岩田専太郎	小島政二郎著『甘肌』のポスター	昭和29	印刷	ポスター	30.7×48.0
241	岩田専太郎	司馬良太郎著『竜馬がゆく』の挿絵 産経新聞夕刊	昭和37	原画	紙本単色	各19.8×30.2
242	岩田専太郎	大佛次郎著『赤穂浪士』の装丁	昭和4年9月	印刷	書籍	各19.5×13.0
243	岩田専太郎	「慰問袋」絵葉書	昭和期	印刷	葉書	14.8×10.0

*寸法は縦×横。

中谷有逸展 碑を刻み、生命を謳う。

会期＝平成26年10月3日(金)～12月3日(水) 54日間

主催＝北海道立帯広美術館

特別協賛＝六花亭製菓株式会社、帯広信用金庫、平原社美術協会
助成＝芸術文化振興基金

観覧料＝一般720(560)円、高大生410(300)円、小中生200(150)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術対談

「『碑』のこと、版画のこと」

講師＝中谷有逸氏(本展出品作家)、柴橋伴夫氏(美術評論家)

日時＝10月4日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ツアー

講師＝藤原乃里子(当館学芸員)

日時＝10月18日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「紙はながにチャレンジ！」

日時＝11月1日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

ミュージアム・コンサート

「Art of Guitar」

出演＝ギターデュオ HealingArt(倉前太郎、矢崎数馬)

日時＝11月2日(日) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(入場無料)

主催＝帯広美術館振興会、北海道立帯広美術館

特別展セミナー

「中谷有逸の版画世界」

講師＝藤原乃里子(当館学芸員)

日時＝11月3日(月・祝)、11月29日(土) 午後2時～3時

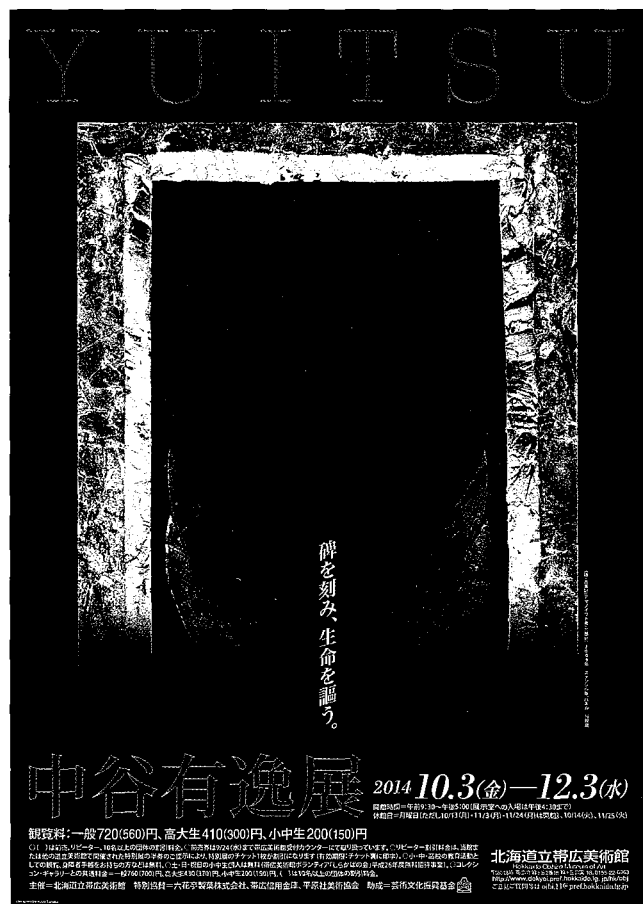
会場＝当館講堂(聴講無料)

ワークショップ

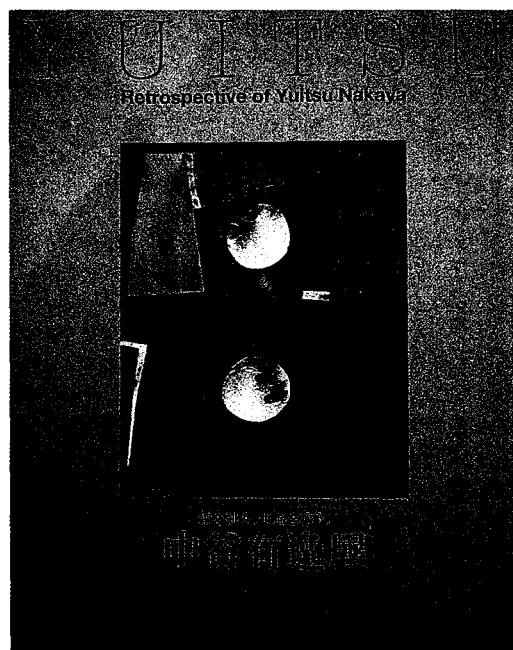
「教えて！中谷先生～凹凸併用版」

講師＝中谷有逸氏(本展出品作家)

日時＝11月8日(土)、11月9日(日) 午後1時30分～4時



ポスター



図録

会場＝当館講堂、主展示室(参加料＝中学生150円、高校生300円、応募制)

実演制作とギャラリー・ツアー

「制作を見せる・自作を語る」

講師＝中谷有逸氏(本展出品作家)

日時＝11月22日(土) 午前11時～12時

会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)

図録

規格＝27.7×22.3cm／総頁数88ページ

構成＝ごあいさつ／中谷有逸「展覧会にあたって」／中谷有逸、柴橋伴夫「美術対談『碑』のこと、版画のこと」／図版／藤原乃里子「碑を刻み、生命を謳う。」／年譜／主要参考文献／出品目録

関連記事

「とかちフォトギャラリー 古代、宿命大胆に表現」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／10月30日(木)

山本孝人「古事記」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／11月1日(土)

藤原乃里子「おびひろミュージアム通信 碑を刻み生命をうたう」釧路新聞／11月3日(月)

「刷り上がりドキドキ版画家・中谷さんに学ぶ」北海道新聞(道内版 朝刊)／11月9日(日)

白土薫、梶山憲章、松井由孝、小藤田直道、小笠原洋子、作品解説＝藤原乃里子「版画家・中谷有逸 私はこう見る①～⑤」十勝毎日新聞／11月13日(木)～11月17日(月)

山本孝人「マンデーひと 中谷有逸さん 古事記の世界創作に意欲」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／11月17日(月)

中谷有逸談「源流をたどる 上・下」十勝毎日新聞／11月20日(木)～11月21日(金)

岩本茂之「『碑』に込めた生命の営み」北海道新聞(道内版 夕

刊)／11月27日(木)

藤原乃里子「可能性としての過程―『中谷有逸展』をふりかえる』『美術ペン』144号／北海道美術ペンクラブ／平成27年1月31日(土)発行

中谷有逸(1936年札幌市生まれ／現在帯広市在住)は、1960年代中頃、凹凸併用版という独自の技法を用いた抽象的な版画作品により注目を集めた。90年代半ばから、コラージュの手法をとり入れた複合的な作品や大画面の大作を試みるようになり、また90年代末からはステンシル版に取り組み始めるなど、今日まで旺盛な創作活動を展開し、北海道の版画界を代表する作家の一人として活躍を続けている。

簡潔ながら豊潤で、ときに身体的なイメージを想起させるフォルム、複雑で重層的なマティエールと洗練された色づかい、躍動感あふれるストローク。多面的な魅力をあわせもつ中谷の作品には、古代への憧憬や人間という宿命に寄せる思いとともに、自然観察によって培った美意識と表現力が凝縮したかたちで息づいている。

本展では、長年にわたって取り組んできた「^{いしづみ}碑」シリーズを中心に、初期から最近作までの主要な作品90点を、様式の展開を追う4章構成によって紹介し、これまでの中谷有逸の芸術世界を振り返った。また作品とあわせて、展示室やロビーではアイディアスケッチやエスキース、凹凸併用版やステンシルの原版、インクの材料や道具も展示。スケッチブックや膨大な数のドローイングの一部を映像化して上映し、解説文等とともに作品理解への一助とした。

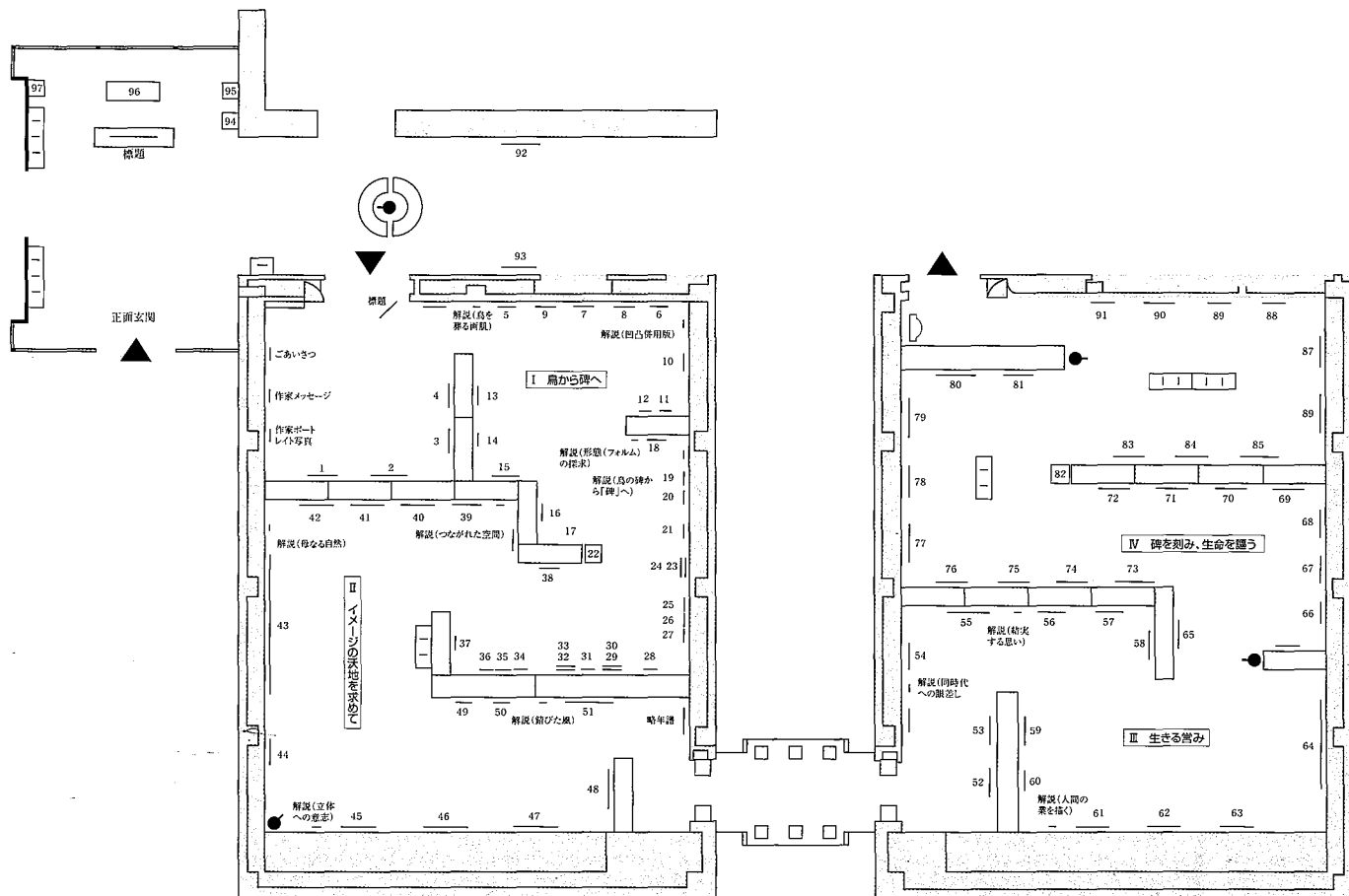
地元を拠点に内外で活躍する現役作家の回顧展は、当館としては初めての取り組みであり、十勝や道内の美術界から注目を集めるとともに、作家の次なる展開を期待する声が多く聞かれた。来場者は2,400人余りだったが、当館ミュージアム・ショップで販売した図録は完売し、中谷芸術に対する関心の深さがうかがわれた。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

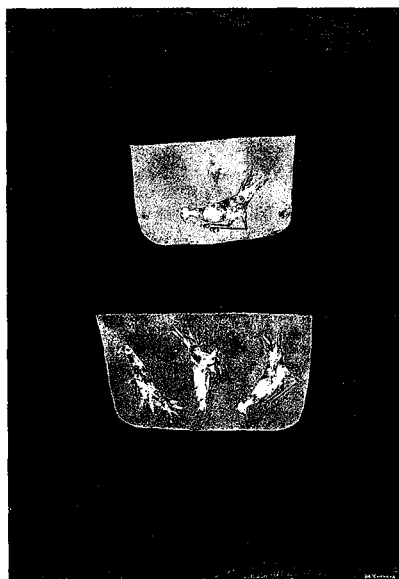
No.	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	碑・古事記 (二人のタケル)	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、キャンパス	145.5×112.0	作家蔵
2	碑・古事記 (オキナガタシヒメとその御子)	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、キャンパス	112.0×145.5	作家蔵
3	ある日のプラットホーム B	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	183.0×92.0	作家蔵
4	ある日のプラットホーム A	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	183.0×92.0	作家蔵
I 鳥から碑へ					
5	鳥の碑 (白)	1963(昭和38)	木版、紙版、油性インク、紙	79.2×54.7	北海道立帯広美術館
6	鳥の碑 (地)	1963(昭和38)	木版、紙版、油性インク、紙	79.0×54.7	北海道立帯広美術館
7	鳥の碑 (線)	1964(昭和39)	木版、紙版、油性インク、紙	79.1×54.8	北海道立帯広美術館
8	鳥の碑 (二)	1964(昭和39)	木版、紙版、油性インク、紙	79.0×54.7	北海道立帯広美術館
9	鳥の碑 (弧)	1964(昭和39)	木版、紙版、油性インク、紙	78.8×55.0	北海道立帯広美術館
10	碑 (祖)	1965(昭和40)	凹凸併用版、中性インク、紙	67.2×46.0	北海道立帯広美術館
11	碑 (68-2)	1968(昭和43)	凹凸併用版、中性インク、紙	57.8×46.8	北海道立帯広美術館
12	Monument in soul	1968(昭和43)	凹凸併用版、中性インク、紙	62.5×43.8	北海道立帯広美術館
13	三羽の鳥 (水辺の形)	1973(昭和48)	シルクスクリーン、シルクスクリーンインク、紙	33.9×50.4	北海道立帯広美術館
14	三羽の鳥 (夜に飛ぶ)	1974(昭和49)	シルクスクリーン、シルクスクリーンインク、紙	50.2×34.7	北海道立帯広美術館
15	レダ (71-2)	1971(昭和46)	シルクスクリーン、シルクスクリーンインク、謄写版、謄写版インク、紙	50.0×70.0	北海道立近代美術館
16	鳥のいる風景	1970(昭和45)	凹凸併用版、中性インク、謄写版、謄写版インク、紙	69.0×48.8	北海道立帯広美術館
17	Monument of female (u)	1969(昭和44)	凹凸併用版、中性インク、紙	64.5×45.5	作家蔵
18	碑 (支)	1973(昭和48)	凹凸併用版、中性インク、シルクスクリーン、シルクスクリーンインク、紙	43.9×59.5	北海道立帯広美術館
19	碑 (鐸)	1976(昭和51)	凹凸併用版、中性インク、紙	59.0×39.5	北海道立帯広美術館
20	碑 (X)	1976(昭和51)	凹凸併用版、中性インク、紙	59.0×41.0	札幌芸術の森美術館
21	碑 (貌)	1981(昭和56)	凹凸併用版、中性インク、紙	59.0×41.5	北海道立近代美術館
22	《碑 (貌)》のための版	1981(昭和56)	ベニヤ板、紙、樹脂	61.5×42.0	作家蔵
23	碑 (十字軍の妻たちのために)	1978(昭和53)	凹凸併用版、中性インク、紙	45.2×57.1	北海道立帯広美術館
24	碑 (柔かい重なり)	1988(昭和63)	凹凸併用版、中性インク、紙	42.5×64.2	北海道立帯広美術館
25	碑 (二つの…83.12)	1983(昭和58)	凹凸併用版、中性インク、紙	58.2×41.3	北海道立帯広美術館
26	碑 (団長夫人)	1984(昭和59)	凹凸併用版、中性インク、紙	62.2×40.5	北海道立帯広美術館
27	碑 (海の…)	1984(昭和59)	凹凸併用版、中性インク、紙	64.0×41.0	札幌芸術の森美術館
28	碑 (蝕)	1986(昭和61)	凹凸併用版、中性インク、紙	59.7×40.6	北海道立帯広美術館
29	碑 (見えざりし者たちの)	1988(昭和63)	凹凸併用版、中性インク、紙	38.8×58.2	北海道立帯広美術館
30	碑 (ある日の)	1987(昭和62)	凹凸併用版、中性インク、紙	35.9×56.0	北海道立帯広美術館

No.	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
31	碑 (聖衣に)	1989(平成元)	凹凸併用版、中性インク、紙	58.3×40.7	北海道立帯広美術館
32	碑 (出エジプト)	1989(平成元)	凹凸併用版、中性インク、紙	32.5×59.8	北海道立帯広美術館
33	碑 (アナトリアの人)	1990 (平成2)	凹凸併用版、中性インク、紙	41.0×57.0	北海道立帯広美術館
34	碑 (結果)	1990 (平成2)	凹凸併用版、中性インク、紙	58.3×40.2	北海道立帯広美術館
35	碑 (抱かれて)	1992 (平成4)	凹凸併用版、中性インク、紙	62.0×40.0	札幌芸術の森美術館
36	碑 (9月の告げ口)	1992 (平成4)	凹凸併用版、中性インク、紙	60.0×41.5	神田日勝記念美術館
37	碑 (秘儀の具)	1993 (平成5)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (ナット、糸)、紙	63.3×51.6	札幌芸術の森美術館
38	碑 (二つの)	1981(昭和56)	凹凸併用版、中性インク、紙	41.5×59.0	北海道立近代美術館
Ⅱ イメージの沃地を求めて					
39	碑 (砂漠に吹く)	1994 (平成6)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (ハトメ、糸、ワッシャー)、紙	62.0×86.0	札幌芸術の森美術館
40	碑 (カセレスの風)	1995 (平成7)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (ハトメ、糸)、紙	70.8×102.8	北海道立近代美術館
41	碑 (届かなかった便り)	1995 (平成7)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (ハトメ、糸、鋸の刃)、紙	112.0×145.0	札幌芸術の森美術館
42	碑 (つながれた海から)	1994 (平成6)	凹凸併用版、中性インク、謄写版、謄写版インク、コラージュ (ハトメ、糸)、紙	63.0×87.0	札幌芸術の森美術館
43	碑 (海・蠕動)	1995 (平成7)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (貝殻、ハトメ、紐)、紙	270.0×540.0	北海道立帯広美術館
44	碑 (夏の音)	1995 (平成7)	凹凸併用版、中性インク、油彩、樹脂、バイオリン、コラージュ (ハトメ、ワッシャー、糸、注射針、紐、金属部品)、紙	110.0×73.5×9.0	札幌芸術の森美術館
45	碑 (両性具有の門)	1997 (平成9)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (銅、鉛、アルミ、樹脂、ワッシャー)、紙	162.0×103.3×6.0	北海道立近代美術館
46	碑 (羅生門)	1996 (平成8)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (銅、鉛)、紙、腐食版、アルミ	186.4×186.5	北海道立帯広美術館
47	碑 (鬼の気配)	1996 (平成8)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (ハトメ、ワッシャー、ナット、糸、銅、鉛、アルミ)、紙	115.8×160.2×8.0	北海道立帯広美術館
48	《碑 (鬼の気配)》のための版	1996 (平成8)	ベニヤ板、紙、樹脂	111.0×158.0	作家蔵
49	碑 (春を聴く)	1997 (平成9)	凹凸併用版、中性インク、型押し、コラージュ (銅、鉛、アルミ)、紙	59.5×43.0	札幌芸術の森美術館
50	碑 (六日の後に)	1995 (平成7)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (ハトメ、ワッシャー、糸、アルミ)、紙	56.5×42.0	作家蔵
51	碑・錆びた風	1998(平成10)	腐食版、コラージュ (植物、鉛)、アルミ、パネル	90.0×180.0	札幌芸術の森美術館
Ⅲ 生きる営み					
52	碑 (冬の記憶)	1999(平成11)	ステンシル版、木炭粉・石粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、腐食版、コラージュ (銅、アルミ)、キャンパス	74.0×92.0	札幌芸術の森美術館
53	碑 (1月5日の日記)	1999(平成11)	ステンシル版、木炭粉・石粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、コラージュ (銅、アルミ)、キャンパス	74.0×92.0	札幌芸術の森美術館
54	碑・コンボ (赤い雨)	2000(平成12)	ステンシル版、木炭粉・石粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、コラージュ (銅)、キャンパス	73.0×91.0	札幌芸術の森美術館
55	碑・鎧える風景=コンボの麦	1999(平成11)	ステンシル版、木炭粉・石粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、コラージュ (麦の穂、型押し鉛片、ハトメ、糸)、パネル	130.0×162.0	札幌芸術の森美術館
56	大地の神・碑 (月の生まれる杜)	2001(平成13)	ステンシル版、木炭粉・石粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、腐食版、アルミ、パネル	117.0×91.0	神田日勝記念美術館
57	大地の神・碑 (風に聞く)	2001(平成13)	ステンシル版、木炭粉・石粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、腐食版、アルミ、パネル	117.0×91.0	北海道立帯広美術館
58	大地の神・碑 (星胎もる衣)	2002(平成14)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、腐食版、アルミ、パネル	116.0×91.0	神田日勝記念美術館
59	碑・月も燃えた	2003(平成15)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、コラージュ (銅、鉛)、アルミ、パネル	117.0×91.0	作家蔵
60	碑・ノアの末裔	2004(平成16)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、キャンパス	91.0×72.7	作家蔵
61	碑・痕跡 (無かった標的)	2003(平成15)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、アクリル絵具、パネル	144.0×110.0	作家蔵
62	碑・痕跡 (二つの神)	2003(平成15)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、アクリル絵具、コラージュ (鉛)、パネル	145.0×112.0	札幌芸術の森美術館
63	碑・痕跡 (優しき人々)	2003(平成15)	ステンシル版、木炭粉・石粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、アクリル絵具、パネル	145.0×112.0	作家蔵
64	碑 (二つの神が降らせる雨)	2003(平成15)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	291.0×336.0	作家蔵
65	碑・古事記 (イナバノシロウサギ)	2006(平成18)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、コラージュ (紙型)、パネル	64.0×108.0	作家蔵
Ⅳ 碑を刻み、生命を謳う					
66	碑・古事記 (国造り)	2005(平成17)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	91.4×73.0	作家蔵
67	碑・古事記 (呪術師)	2007(平成19)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	117.0×107.7	札幌芸術の森美術館
68	碑・古事記 (鳥)	2006(平成18)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	73.0×91.0	作家蔵
69	碑・古事記 (一つが二つ)	2008(平成20)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	145.7×112.0	北海道立帯広美術館
70	碑・古事記 (稻城の城塞)	2009(平成21)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	145.5×112.0	神田日勝記念美術館
71	碑・古事記 (サホビコとサホビメ)	2008(平成20)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	145.0×112.0	作家蔵
72	碑・古事記 (枯れた誘惑)	2009(平成21)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	145.5×112.0	神田日勝記念美術館

No.	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
73	碑・古事記 (千引きの岩)	2011(平成23)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	112.0×145.0	札幌芸術の森美術館
74	碑・古事記 (黄泉比良坂)	2010(平成22)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	145.0×111.5	作家蔵
75	碑・古事記 (オキナガタラシヒメ)	2009(平成21)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	145.0×112.0	札幌芸術の森美術館
76	碑・古事記 (夜に)	2010(平成22)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、キャンバス	90.0×116.0	札幌芸術の森美術館
77	碑・古事記 (スサノオの悲)	2009(平成21)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	111.7×145.5	作家蔵
78	碑・古事記 (アマノイワト考)	2009(平成21)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	145.5×112.2	北海道立帯広美術館
79	碑・古事記 (産室の火)	2011(平成23)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	113.0×145.5	札幌芸術の森美術館
80	碑・古事記 (鬼火)	2011(平成23)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	111.5×145.0	神田日勝記念美術館
81	碑・古事記 (国を引く)	2011(平成23)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	116.5×91.0	作家蔵
82	《碑・古事記》シリーズのための下絵	2013(平成25)	鉛筆、インク、紙	27.0×21.0ほか	作家蔵
83	碑・古事記 (サホビコとサホビメ)	2013(平成25)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、油性ペンキ、パネル	145.5×112.0	作家蔵
84	碑・古事記 (アマテラスとツクヨミ)	2013(平成25)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、油性ペンキ、パネル	145.5×112.0	作家蔵
85	碑・古事記 (ニニギ降臨)	2013(平成25)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、油性ペンキ、パネル	112.0×145.5	作家蔵
86	碑・古事記 (ホオリノミコトとトヨタマビメ)	2013(平成25)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、油性ペンキ、パネル	112.0×145.5	作家蔵
87	碑・古事記 (オオクニヌシとスセリビメ)	2013(平成25)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、油性ペンキ、パネル	145.5×112.0	作家蔵
88	碑・古事記 (スサノオの衣)	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	116.7×91.0	作家蔵
89	碑・古事記 (マヨワの悲)	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	116.7×91.0	作家蔵
90	碑・古事記 (ヒノカグツチの悲)	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	91.0×116.7	作家蔵
91	碑・古事記 (オキナガタラシヒメの神託)	2014(平成26)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	116.7×91.0	作家蔵
ロビー展示					
92	碑・古事記 (建・御雷神)	2011(平成23)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、パネル	112.2×145.8	北海道立帯広美術館
93	碑・古事記 (二人)	2008(平成20)	ステンシル版、木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせたインク、キャンバス	162.0×130.4	北海道立帯広美術館
94	《碑・古事記》シリーズのためのエスキース	2013(平成25)	油性ペンキ、紙	40.0×27.5ほか	作家蔵
95	スケッチブック	2014(平成26)		36.0×28.0	作家蔵
96	《碑・古事記 (オキナガタラシヒメとその御子)》のための型	2014(平成26)	紙	60.0×53.0ほか	作家蔵
97	ステンシル作品のための自家製インクと色料		木炭粉、石粉、色料、樹脂等		作家蔵

* No. は展示配列順に整理した。図録における出品番号とは異なる。

* 寸法は縦×横 (×厚み)。



8 「鳥の碑(二)」



62 「碑・痕跡(二つの神)」



83 「碑・古事記(サホビコとサホビメ)」

生誕 100 周年 トーベ・ヤンソン展～ムーミンと生きる～

会期＝平成26年12月13日(土)～平成27年2月15日(日)
51日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議、
トーベ・ヤンソン展実行委員会

後援＝フィンランド大使館、北海道教育庁十勝教育局、十勝町村会、十勝管内各教育委員会、帯広市校長会、十勝小・中校長会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委員会、(一財)帯広市文化スポーツ振興財団、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協賛＝エプソン販売(株)、日本写真印刷、帯広信用金庫、キクミ、サカタインクス、札幌新聞輸送、第一生命、大成建設、竹川会計事務所、DIC グラフィックス、東京機械製作所、中井会計事務所、損害保険ジャパン日本興亜、日本新聞インキ、日本生命、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ、ホクレン農業協同組合連合会、北海道拓殖バス、三井住友海上火災保険、宮坂建設工業

協力＝フィンランド国立アテネウム美術館、(株)タトル・モリエージェンシー、フィンエアー、フィンエアー・カーゴ、(株)河出書房新社、(公財)ギャラリーエークウッド、(株)講談社、S2(株)

企画協力＝朝日新聞社

観覧料＝一般1,000(800)円、高大生550(450)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

ワークショップ

「フィンランド伝統装飾“ヒンメリ”ワークショップとお話し会」

講師＝山本睦子氏(ヒンメリ作家)

日時＝12月14日(日) 午前10時～、午後1時30分～(各2時間)

会場＝当館講堂(参加料3,800円、応募制)

ムーミン撮影会

「ムーミンがやってくる！」

日時＝12月14日(日)、1月11日(日)、2月7日(土)、2月8日(日)

午前11時～、午後12時30分～、午後2時～、午後3時30分～(各30分)

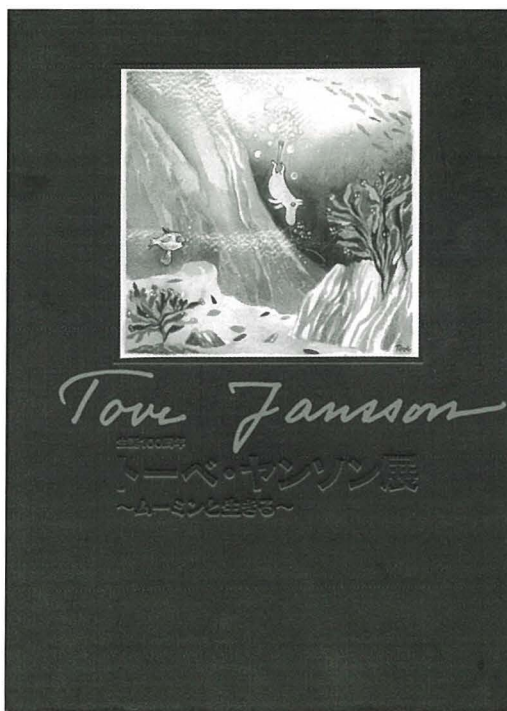
会場＝当館ロビー(参加無料、要整理券)

ギャラリー・ツアー

「ちょっとまじめな・ムーミントーク」



ポスター



図録

期日／講師＝12月20日(土)／野田佳奈子(当館学芸員)
1月10日(土)／五十嵐聡美(当館学芸課長)
1月24日(土)／五十嵐聡美(当館学芸課長)
1月25日(日)／五十嵐聡美(当館学芸課長)

時間＝午後2時～(約40分)
会場＝主展示室、講堂(要観覧券)

オビビ・キッズ・アートフェスタ

つくるん・みるるん・あそぶん
ワークショップ「アニメマシーン」
日時＝1月11日(日) 午後1時30分～3時30分
会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー(参加無料、応募制)
主催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、北海道立帯広美術館

キッズ・ツアー

「ムーミン大好き！キッズ・ツアー」
講師＝野田佳奈子(当館学芸員)
日時＝1月17日(土) 午後2時～(約30分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミュージアム・コンサート

「トーベ・ヤンソン展音楽会～フィンランド伝統の楽器カンテレ演奏会」
出演＝あらひろこ氏(カンテレ奏者)
日時＝2月1日(日) 午前11時～、午後2時～
会場＝当館ロビー(入場無料)
スペシャルゲスト＝帯西幼稚園ミュージックベルクラブチャッピー(ハンドベル演奏、午前11時～の回のみ)

おびひろ氷まつり協賛事業

「美術館 de 氷まつり2015」
日時＝2月6日(金)～2月8日(日)
＊2月6日(金)、2月7日(土)は午後8時まで夜間開館を実施
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会
協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
・「ロビーカフェ de 冬の花火」
日時＝2月6日(金)、2月7日(土) 午後5時30分～8時
会場＝当館ロビー、廊下
・ワークショップ「冬の妖精をつくろう！」
日時＝2月8日(日) 午前10時～午後3時
会場＝当館講堂(参加無料)

キッズ・ミュージアム

「たのしいお絵かき」
日時＝2月7日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(託児無料)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

関連コーナー

「ムーミン谷の住人になろう！とっておきのなりきりコスチュームで、ハイッ、ポーズ！」

日時＝展覧会会期中
会場＝当館主展示室(要観覧券)

「ムーミン谷の小さな図書館」

日時＝展覧会会期中
会場＝当館ロビー(入場無料)

図録

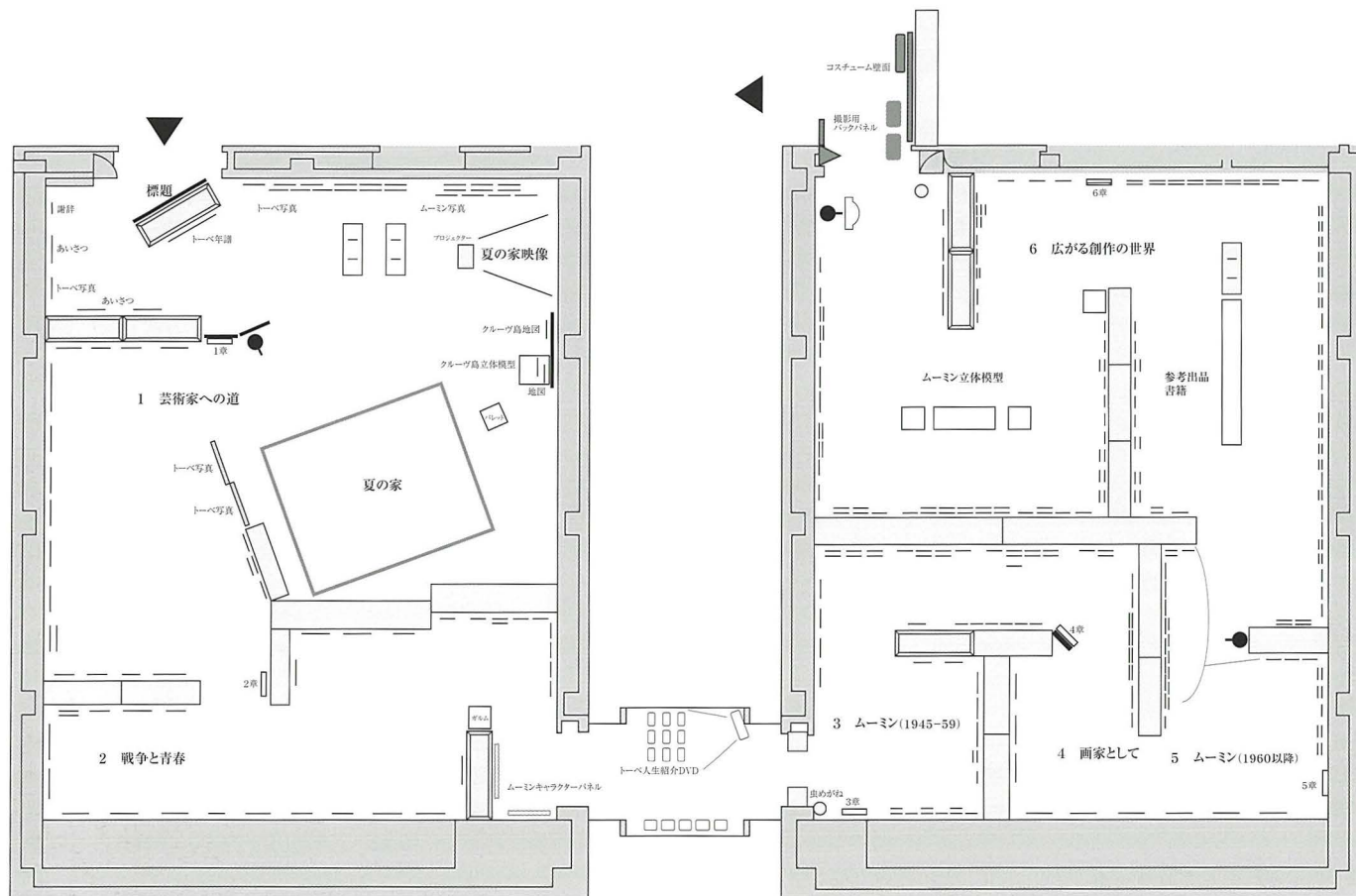
規格＝25.0×18.7cm／総頁数254ページ
構成＝ごあいさつ(主催者ほか)／トゥーラ・カルヤライネン「トーベ・ヤンソンーその人生と作品」／富原真弓「“ムーミンの変貌”ー語り部トーベ・ヤンソンの忠実なる相棒」／ソフィア・ヤンソンさんインタビュー「マルチな芸術家、トーベの全容を日本へ」／図版／トーベ・ヤンソン年譜／作品リスト

関連記事

トゥーラ・カルヤライネン(談)「戦争の時代過ごし生まれた作品」鈴木昭「生誕100周年 トーベ・ヤンソン展 ムーミンと生きる」十勝毎日新聞／1月1日(水)
五十嵐聡美「豊かな“精神”に触れて トーベ・ヤンソン展の見どころ」十勝毎日新聞／12月13日(土)
五十嵐聡美「ムーミンに見る光と影 トーベ・ヤンソン展～作品紹介～①～④」十勝毎日新聞／12月20日(土)、21日(日)、23日(火)、24日(水)
五十嵐聡美「おびひろミュージアム通信 ムーミン創作の秘密に迫る」釧路新聞／1月5日(月)
金谷信「編集余録 ムーミン」十勝毎日新聞／1月21日(水)
高橋絵里香(談)「トーベ、ムーミンに魅せられて上 異なる人々自分らしく共存」十勝毎日新聞／2月3日(火)
角野栄子(談)「トーベ、ムーミンに魅せられて中 作品の中に感じる“生き方”」十勝毎日新聞／2月4日(水)
森絵都(談)「トーベ、ムーミンに魅せられて下 “偶然の関係性”が生む物語」十勝毎日新聞／2月5日(木)
池田緑「編集余録 ムーミングッズ」十勝毎日新聞／2月6日(金)
五十嵐聡美「アート・トーキング トーベ・ヤンソン《神秘的な風景》」日本経済新聞(全国版)／2月12日(木)
池田緑「編集余録 白くて丸くて…」十勝毎日新聞／2月28日(土)

2014年は、「ムーミン」シリーズの原作者として知られるトーベ・ヤンソン(Tove Marika Jansson, 1914～2001年)の生誕100年。それを記念して祖国フィンランドでは、国立アテネウム美術館(ヘルシンキ市)でトーベの全貌を紹介する大回顧展「TOVE JANSSON」(2014年3月～9月)が開催された。当館で開催された「トーベ・ヤンソン展～ムーミンと生きる～」は、この国立アテネウム美術館の大回顧展を日本版にアレンジした国際巡回展で、横浜のそごう美術館に次いで国内2会場目、東北北海道唯一の開催地であった。

この年はフィンランドに限らず日本でもトーベ生誕100年を記念した催事が各地で開催され、さらに関連本の出版、グッズ販売など、ムーミンに関しては話題に事欠かない一年であった。その中で本展は、アーティストとしてのトーベ・ヤンソンに焦点をあてた唯一の美術展であり、質の高い内容とあいまって



美術関係者から強い関心が寄せられ、帯広美術館においても、24,000人以上の来場者を迎えることができた。

本展では、人気の高い「ムーミン」の挿絵原画のほか、生涯を通じて挑戦し続けた油彩や水彩、「不思議の国のアリス」などの挿絵、トーベの兄弟や近い人々が撮りためた貴重な写真資料や映像資料など約400点を紹介した。

トーベ・ヤンソンは、精神的な豊かさを尊んだ人であった。その精神世界に触れるべく彼女が最も大切な場所としていた

「夏の家」の実物大再現モデルを展示室内に展示した。「夏の家」とは、フィンランド湾にある岩だらけの小さな孤島に手作り建てた小さな住居兼アトリエで、電気も水もないその島で、トーベはパートナーのトゥーリッキとともに、1965年から91年まで毎年、夏の数ヶ月を過ごし制作に打ち込んだ。場内では、質素ながらも自由な暮らしを愛したトーベの人の人となりを感じられるように、ポートレート写真の参考展示や島での暮らしを撮影したドキュメンタリー映像を合わせて上映した。



出品目録

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
1 芸術家への道						
1	トーベ・ヤンソン	幼少期の素描	鉛筆、水彩、色鉛筆・紙	1918-20	87×87.5 (額寸)	個人蔵
2	トーベ・ヤンソン	風景 (ピクニック)	グワッシュ・紙	1930年代	23.5×32	個人蔵
3	トーベ・ヤンソン	家	グワッシュ、鉛筆・紙	1930年代	40×26.5	個人蔵
4	トーベ・ヤンソン	神秘的な風景	油彩・合板	1930年代	61×152.5	フィンランド国立アテネウム美術館
5	トーベ・ヤンソン	出会い	グワッシュ・紙	1930年代	21×16.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
6	トーベ・ヤンソン	風に揺れる花	グワッシュ・紙	1930年代	10.5×14.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
7	トーベ・ヤンソン	木の根元で眠る者たち	グワッシュ、インク・紙	1930年代	22.1×26.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
8	トーベ・ヤンソン	冬の夜の狼たち	水彩、グワッシュ・紙	1930年代	34.5×47	ロキュボイカ・アウテリネン コレクション
9	トーベ・ヤンソン	無題	鉛筆、水彩・紙	1930年代	14.6×13.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
10	トーベ・ヤンソン	自画像 (若い女性の頭部)	油彩・カンヴァス	1937	41×33	個人蔵
11	トーベ・ヤンソン	ボートにのるペル・ウロフ・ヤンソン	油彩・カンヴァス	1937	74×60.5	個人蔵
12	トーベ・ヤンソン	マヤ・ヴァンニの肖像	油彩・カンヴァス	1938	74×60	個人蔵
13	トーベ・ヤンソン	親愛なるトリンカへ 自画像	油彩・カンヴァス	1939	44.5×37.5	個人蔵
14	トーベ・ヤンソン	サム・ヴァンニの肖像	木炭・紙	1939	48.5×38.5	個人蔵
15	サム・ヴァンニ	トーベ・ヤンソンの肖像 (サム・ヴァンニ作)	木炭・紙	1930年代	50.5×40	劇団ヴィヴィカス・ヴェネル
16	サム・ヴァンニ	トーベ・ヤンソンの肖像 (サム・ヴァンニ作)	油彩・カンヴァス	1940	100.5×81.5	アモス・アンデルソン美術館
17	トーベ・ヤンソン	青いヒヤシンス	油彩・カンヴァス	1939	55.5×47	個人蔵
18	トーベ・ヤンソン	自画像、煙草を吸う娘	油彩・カンヴァス	1940	41×33.5	個人蔵
19	トーベ・ヤンソン	娘と飾り棚 シルクのイブニングドレスを着た自画像	油彩・カンヴァス	1940年代	73×50.5	オリマッティ美術館、イルマリ&トイニ・ウォール＝ハカラ・アート・財団コレクション
20	トーベ・ヤンソン	母ハム (シグネ・ハンマルステン＝ヤンソン)の肖像	油彩・カンヴァス	1945	65.5×55	個人蔵
2 戦争と青春						
21	トーベ・ヤンソン	空襲警報が鳴る時	油彩・カンヴァス	1940	59.5×73.5	個人蔵
22	トーベ・ヤンソン	風景	油彩・カンヴァス	1940	38.5×47	個人蔵
23	トーベ・ヤンソン	トーロの漕艇場	油彩・カンヴァス	1940	64×75	個人蔵
24	トーベ・ヤンソン	二次会	油彩・カンヴァス	1941	73×92	個人蔵
25	トーベ・ヤンソン	アトリエ	油彩・カンヴァス	1941	80.5×66	タンペレ市立美術館
26	トーベ・ヤンソン	花	油彩・カンヴァス	1941	73.5×60.5	アイネ芸術財団、アイネ美術館
27	トーベ・ヤンソン	窓辺の女性	油彩・カンヴァス	1941	47×55.5	個人蔵
28	トーベ・ヤンソン	無題	グワッシュ、インク・紙	1941	27×23	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
29	トーベ・ヤンソン	家族	油彩・カンヴァス	1942	89×116	個人蔵
30	トーベ・ヤンソン	山猫の毛皮をまとった自画像	油彩・カンヴァス	1942	73×60.5	個人蔵
31	トーベ・ヤンソン	女性 (自画像)	油彩・カンヴァス	1942	100×82	スオミ生命保険会社
32	トーベ・ヤンソン	ウランリンナの風景	油彩・カンヴァス	1943	33.5×41.5	個人蔵
33	トーベ・ヤンソン	ゴム農園	油彩・合板	1942	86×89.5	個人蔵
34	トーベ・ヤンソン	毛皮をまとった少女	油彩・カンヴァス	1943	41.5×33.5	個人蔵
35	トーベ・ヤンソン	庭	油彩・カンヴァス	1943	64×73	個人蔵
36	トーベ・ヤンソン	静物	油彩・カンヴァス	1945	82×66	フィンランド国立アテネウム美術館
37	トーベ・ヤンソン	カタヤノッカ地区からの眺め	油彩・カンヴァス	1945	52×62	個人蔵
38	トーベ・ヤンソン	家具デザイナー ルナル・エンゲブロムの肖像	油彩・カンヴァス	1945	130.5×75.5	プロ・アルティブス財団
39	トーベ・ヤンソン	航路標識	油彩・カンヴァス	1946	60.5×72	個人蔵
40	トーベ・ヤンソン	山岳風景	油彩・カンヴァス	1948	47.5×55.5	個人蔵
41	トーベ・ヤンソン	果物のある静物	油彩・カンヴァス	1951	65×81	個人蔵
42	トーベ・ヤンソン	暖かいストーブのそばで	油彩・カンヴァス	1953	55×46.5	個人蔵
43	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1944年10月号表紙	インク、水彩・紙	1944	31.2×23.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
44	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1938年9月号表紙	インク、水彩・紙	1938	27.4×19.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
45	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1942年夏号表紙	インク、水彩・紙	1942	30.3×22	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
46	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1941年クリスマス号表紙	インク、水彩・紙	1941	23.4×32.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
47	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1943年9月号表紙	インク、水彩・紙	1943	32.8×23.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
48	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1943年クリスマス号表紙	インク、水彩・紙	1943	32.6×23.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
49	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1944年挿絵	インク・紙	1944	25.8×17.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
50	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1945年1月号表紙	インク、水彩・紙	1945	32.6×23.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
51	トーベ・ヤンソン	「ガルム」1945年5月号表紙	インク、水彩・紙	1945	32.5×23.6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
3 ムーミン (1945-59年)						
52	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	8×11	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
53	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	6×6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
54	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	22.2×9.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
55	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	7×6.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
56	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	7.8×14.4	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
57	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	7.3×6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
58	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	8.2×11.1	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
59	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	インク・紙	1945	7.4×6.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
60	トーベ・ヤンソン	「小さなトロールと大きな洪水」挿絵	水彩、インク・紙	1945	16.4×11.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
61	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」表紙	水彩、インク・紙	1946	28×20.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
62	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	インク・紙	1946	5.5×11.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
63	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	インク・紙	1946	4.4×4.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
64	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	インク・紙	1946頃	13.5×14.5	個人蔵
65	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	水彩、インク・紙	1946	15.8×15.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
66	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	インク・紙	1946頃	12×12.5	個人蔵
67	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	インク・紙	1946頃	12.5×12.5	個人蔵
68	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	インク、マスキング インク、鉛筆・紙	1946頃	21×15.5	個人蔵
69	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の彗星」挿絵	インク、鉛筆・紙	1946頃	21×14.5	個人蔵
70	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミントロールと地球の終わり」原画	インク・紙	1947	9.7×45.5	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
71	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミントロールと地球の終わり」原画	インク・紙	1947	9.7×45.5	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
72	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミントロールと地球の終わり」原画	インク・紙	1947	9.7×45.5	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
73	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミントロールと地球の終わり」原画	インク・紙	1947	9.7×45.5	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
74	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミントロールと地球の終わり」原画	インク・紙	1947	8.9×23.1	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
75	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミントロールと地球の終わり」原画	インク・紙	1947	8.9×22.9	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
76	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「おさびし島のご先祖さま」習作	鉛筆・紙	1953	27.3×21.4	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
77	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「おさびし島のご先祖さま」習作	鉛筆・紙	1953	27.3×21.4	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
78	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「おさびし島のご先祖さま」習作	鉛筆・紙	1953	27.3×21.4	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
79	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「おさびし島のご先祖さま」習作	鉛筆・紙	1953	27.3×21.4	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
80-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミンババの灯台守」習作	鉛筆・紙	1953	8.5×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
80-2		連載マンガ「ムーミンババの灯台守」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
81-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミンババの灯台守」習作	鉛筆・紙	1953	8.5×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
81-2		連載マンガ「ムーミンババの灯台守」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
82-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミンババの灯台守」習作	鉛筆・紙	1953	17.3×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
82-2		連載マンガ「ムーミンババの灯台守」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
83-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミンババの灯台守」習作	鉛筆・紙	1953	27.4×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
83-2		連載マンガ「ムーミンババの灯台守」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
84-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「まいごの火星人」習作	鉛筆・紙	1953	28.7×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
84-2		連載マンガ「まいごの火星人」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
85-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「まいごの火星人」習作	鉛筆・紙	1953	28.5×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
85-2		連載マンガ「まいごの火星人」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
86-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「まいごの火星人」習作	鉛筆・紙	1953	29.6×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
86-2		連載マンガ「まいごの火星人」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
87-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「まいごの火星人」習作	鉛筆・紙	1953	29.6×21	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
87-2		連載マンガ「まいごの火星人」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
88	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「やっかいな冬」習作	鉛筆・紙	1953	13.5×20.5	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
89-1	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「やっかいな冬」習作	鉛筆・紙	1953	18×21.4	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
89-2		連載マンガ「やっかいな冬」印刷見本	印刷	1953	不明	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
90	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミンババの灯台守」習作	インク・トレーシング ペーパー	1950年代頃	29.5×20.5	個人蔵
91	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「ムーミンババの灯台守」習作	インク、鉛筆・トレー シングペーパー	1950年代頃	29.5×21.5	個人蔵
92	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「まいごの火星人」習作	インク・トレーシング ペーパー	1950年代頃	29×21.5	個人蔵
93	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「まいごの火星人」ほか習作	インク、鉛筆・トレー シングペーパー	1950年代頃	29×21.5	個人蔵
94	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「預言者あらわる」習作	インク・トレーシング ペーパー	1950年代頃	28×22	個人蔵
95	トーベ・ヤンソン	連載マンガ「預言者あらわる」ほか習作	インク・トレーシング ペーパー	1950年代頃	28×21.5	個人蔵
96	トーベ・ヤンソン	「たのしいムーミン一家」挿絵	インク・紙	1948	8.5×13.5	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
97	トーベ・ヤンソン	「たのしいムーミン一家」挿絵	インク・紙	1948	7.2×10.8	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
98	トーベ・ヤンソン	「たのしいムーミン一家」挿絵	インク・紙	1948	6.4×10.1	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
99	トーベ・ヤンソン	「たのしいムーミン一家」挿絵	インク・紙	1948	5.7×10	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
100	トーベ・ヤンソン	「たのしいムーミン一家」挿絵	インク・紙	1948	7.9×11.1	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
101	トーベ・ヤンソン	「たのしいムーミン一家」挿絵	インク・紙	1948	5×9.7	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
102	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババの思い出」表紙	グワッシュ、インク・紙	1968	29.8×21.6	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
103	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババの思い出」挿絵	インク・紙	1968	12.4×17.8	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
104	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババの思い出」挿絵	インク・紙	1950	12.2×16.5	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
105	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババの思い出」挿絵	インク・紙	1968	13.3×12.9	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
106	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババの思い出」挿絵	インク・紙	1950	11.1×9.2	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
107	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババの思い出」挿絵	インク・紙	1950	16.7×16.2	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
108	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の夏まつり」挿絵	インク・紙	1954	6.5×9	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
109	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の夏まつり」挿絵	インク・紙	1954	7.2×6.1	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
110	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の夏まつり」挿絵	インク・紙	1954	8.8×10	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
111	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の夏まつり」挿絵	インク・紙	1954	6.4×9.6	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
112	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の夏まつり」挿絵	インク・紙	1954	9.8×9.8	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
113	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の夏まつり」挿絵	インク・紙	1954	7.7×7.7	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
114	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の夏まつり」挿絵	インク・紙	1954	6×10.4	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
115	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	22.3×15.6	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
116	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	19×13.3	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
117	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	7.7×9.2	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
118	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	10.4×15.4	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館
119	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	10×15.2	タンベレ市立美術館 ムーミン谷博物館

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
120	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	10.6×14.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
121	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	8.9×14.6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
122	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	7×11.5	個人蔵
123	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957	11×15.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
124	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙(スクラッチボード)	1957	18.8×13	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
125	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	9.5×12.5	個人蔵
126	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	8.5×13	個人蔵
127	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	スクラッチボード	1957	10.8×13.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
128	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	10×13	個人蔵
129	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	12.5×12	個人蔵
130	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	9×13	個人蔵
131	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	8.5×12.5	個人蔵
132	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	スクラッチボード	1957頃	18×12.5	個人蔵
133	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	7×12	個人蔵
134	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	12×14	個人蔵
135	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	インク・紙	1957頃	12.5×12.5	個人蔵
136	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」挿絵	グワッシュ、インク・紙	1957	22.5×17.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
137	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」表紙習作	グワッシュ・紙	1956	21.5×14.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
138	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」表紙習作	鉛筆・紙	1956	21×15	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
139	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」表紙習作	鉛筆・紙	1956	21×15	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
140	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の冬」習作	グワッシュ、鉛筆・紙	1957頃	28×25	個人蔵

4 画家として

141	トーベ・ヤンソン	シュェラ岩礁の絵	油彩・カンヴァス	1960	59×97.5	オーランド諸島美術館
142	トーベ・ヤンソン	バルコニーへの眺め	油彩・カンヴァス	1961	92×73	フィンランド国立アテネウム美術館
143	トーベ・ヤンソン	太陽に照らされる崖	油彩・カンヴァス	1961	60×81	個人蔵
144	トーベ・ヤンソン	月明かり	油彩・カンヴァス	1964	73.5×92	個人蔵
145	トーベ・ヤンソン	風化	油彩・カンヴァス	1965	81×116	タンペレ市立美術館
146	トーベ・ヤンソン	風力階級8級	油彩・カンヴァス	1966	65×92.5	個人蔵
147	トーベ・ヤンソン	フェネル	油彩・カンヴァス	1975	60×96	個人蔵
148	トーベ・ヤンソン	グラフィック・アーティスト	油彩・カンヴァス	1975	95×85	個人蔵
149	トーベ・ヤンソン	自画像	油彩・カンヴァス	1975	65×47	個人蔵
150		クルーヴ島の地図	ミクストメディア・羊皮紙	1964	52×51	個人蔵

5 ムーミン (1960年以降)

151	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」挿絵	インク・紙	1960	12.5×22	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
152	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」挿絵	インク・紙	1960	6.4×4.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
153	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」挿絵	インク・紙	1960	14×22	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
154	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」挿絵	インク・紙	1960	7.1×22	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
155	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」挿絵	インク・紙	1960	19.4×22.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
156	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」習作	グワッシュ、インク・紙	1960	5.7×9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
157	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」習作	グワッシュ、インク・紙	1960	6.1×10	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
158	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」習作	グワッシュ、インク・紙	1960	6.1×9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
159	トーベ・ヤンソン	絵本「さびしがりのクニット」習作	グワッシュ、インク・紙	1960	6×10.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
160	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の仲間たち」表紙	グワッシュ、インク・紙	1962	29.7×21.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
161	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の仲間たち 春のしらべ」挿絵	インク・紙	1962	5.9×13.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
162	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の仲間たち 春のしらべ」挿絵	インク・紙	1962	6.8×13.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
163	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の仲間たち ぞっとする話」挿絵	インク・紙	1962	13.7×7.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
164	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の仲間たち ぞっとする話」挿絵	インク・紙	1962	16.9×10.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
165	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の仲間たち ぞっとする話」ほか挿絵	インク・紙	1962	23.6×15.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
166	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の仲間たち この世のおわりに おびえるフィリブヨンカ」習作	インク・紙	1962	10×7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館



会場風景



「夏の家」再現

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
228	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	7.8×13.4	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
229	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	8.9×14	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
230	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	10.9×17.1	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
231	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	10.4×17.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
232	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	21.8×15.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
233	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	10×15.5	個人蔵
234	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	10×10	個人蔵
235	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	10.7×18.6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
236	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	5.5×20.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
237	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	8.8×14.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
238	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	8.4×14.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
239	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	7.5×8	個人蔵
240	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965	12×13	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
241	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	9.5×15.5	個人蔵
242	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	7.5×13	個人蔵
243	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	17×6.5	個人蔵
244	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	6.5×10.5	個人蔵
245	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	5×9.5	個人蔵
246	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	10×18	個人蔵
247	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	12.5×17	個人蔵
248	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	10.5×12.5	個人蔵
249	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク、鉛筆・紙	1965頃	8×22	個人蔵
250	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	13×10	個人蔵
251	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	11.5×18	個人蔵
252	トーベ・ヤンソン	「ムーミンババ海へいく」挿絵	インク・紙	1965頃	30×21	個人蔵
253	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」英語版表紙	グワッシュ、インク・厚紙	1976	27.8×21	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
254	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」表紙	水彩、インク・厚紙	1970	10.2×10.1	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
255	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	33×22.1	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
256	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	グワッシュ、インク・厚紙	1970	14.4×14.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
257	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	9.3×14.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
258	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	7.8×8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
259	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8×17.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
260	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	11.4×15.6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
261	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	11.1×13.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
262	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8×7.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
263	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	10.5×8.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
264	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	7.9×13.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
265	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	8.9×16.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
266	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	6.2×21.1	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
267	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8.7×18.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
268	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	17.1×15.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
269	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	6.8×18	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
270	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	6.8×22.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
271	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	9.2×13.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
272	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	9×8.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
273	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	14.2×14.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
274	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8.1×30.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
275	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	9.1×7.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
276	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	9×6.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
277	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	9.4×36.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
278	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8.7×14.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
279	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	8.4×12.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
280	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	11.6×15.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
281	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	5.3×4.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館



挿絵原画



ムーミンの原画、書籍

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
282	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8×4.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
283	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」挿絵	インク・厚紙	1970	8×4.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
284	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8×24.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
285	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	6×19.1	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
286	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	7.8×17.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
287	トーベ・ヤンソン	「ムーミン谷の十一月」習作	インク・厚紙	1970	8×17.4	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
288	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」挿絵	グワッシュ・紙	1977	33.2×49.1	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
289	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」扉	グワッシュ、インク・紙	1977	38×29	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
290	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」挿絵	グワッシュ・紙	1976	38.5×28.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
291	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆、グワッシュ・紙	1976頃	27×40	個人蔵
292	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	グワッシュ・紙	1976頃	27×40	個人蔵
293	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」挿絵	グワッシュ・紙	1976	38.7×49.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
294	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	グワッシュ・紙	1976頃	22.5×41.5	個人蔵
295	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	グワッシュ・紙	1976頃	22.5×41.5	個人蔵
296	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆、グワッシュ・紙	1976頃	27.5×40	個人蔵
297	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	インク、鉛筆・紙	1976頃	27×40.5	個人蔵
298	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	グワッシュ、鉛筆・紙	1976頃	27×40.5	個人蔵
299	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」挿絵	グワッシュ・紙	1977	38.5×48.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
300	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆、グワッシュ・紙	1976頃	29×42.5	個人蔵
301	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆、グワッシュ・紙	1976頃	27×40	個人蔵
302-1	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆・紙	1976頃	27×38	個人蔵
302-2	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆・紙	1976頃	27×38	個人蔵
303	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆、グワッシュ・紙	1976頃	27×40.5	個人蔵
304	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」習作	鉛筆、グワッシュ・紙	1976頃	27×40.5	個人蔵
305	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」挿絵	グワッシュ・紙	1977	38.2×28.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
306	トーベ・ヤンソン	絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」挿絵	グワッシュ・紙	1977	38.4×28.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
307	トゥーリッキ・ビエティラ	「ムーミン谷の彗星」より ムーミン谷からの逃避 (トゥーリッキ・ビエティラ作)	ミクストメディア	1977	45×84×52	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
308	トゥーリッキ・ビエティラ	「ムーミン谷の冬」より 春 (トゥーリッキ・ビエティラ作)	ミクストメディア	1989	24×59×45	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
309	トゥーリッキ・ビエティラ	「ムーミン谷の冬」より おさびし山にスキーで出かけるヘムレンさん (トゥーリッキ・ビエティラ作)	ミクストメディア	1990	49×56×40	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
310	トゥーリッキ・ビエティラ	「ムーミン谷の冬」より おしゃまさんの雪のうま (トゥーリッキ・ビエティラ作)	ミクストメディア	1983	38×69×35	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館

6 広がる創作の世界

311	トーベ・ヤンソン	ムーミントロールと花	水彩・紙	1940年代	18×14	個人蔵
312	トーベ・ヤンソン	初期のニョロニョロ	水彩、インク・紙	1940年代頃	16.5×13.5	個人蔵
313	トーベ・ヤンソン	滞在 (ヴィヴェカとトーベ)	インク、鉛筆・紙	1940年代	15.5×31	個人蔵
314	トーベ・ヤンソン	おしゃまさんの誕生日メニュー	インク・紙	1957	18.5×12.5	個人蔵
315	トーベ・ヤンソン	新聞用挿絵	鉛筆・紙	1960	19.7×28.4	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
316	トーベ・ヤンソン	ムーミントロール	インク・紙	1977	8×10	個人蔵
317	トーベ・ヤンソン	クニット	インク・紙	1977	8×10	個人蔵
318	トーベ・ヤンソン	抱擁	インク、鉛筆・紙	1991	46×42.5	個人蔵
319	トーベ・ヤンソン	ムーミンママ	鉛筆、色鉛筆・紙	制作年不詳	30×22	個人蔵
320	トーベ・ヤンソン	駆け回るオコジョ	インク・紙	1950年代	11.5×21	個人蔵
321	トーベ・ヤンソン	大人になったオコジョ	インク・紙	1950年代	11.5×21	個人蔵
322	トーベ・ヤンソン	本棚に色を塗るオコジョ	水彩、インク・紙	1955	7.5×8.5	個人蔵
323	トーベ・ヤンソン	熊手を持つオコジョ	鉛筆・紙	制作年不詳	7.5×12.5	個人蔵
324	トーベ・ヤンソン	バラの茂みにいるオコジョ	インク・紙	制作年不詳	12×23	個人蔵
325	トーベ・ヤンソン	無題	鉛筆・紙	制作年不詳	6×20.5	個人蔵
326	トーベ・ヤンソン	あなたのオコジョ	インク、鉛筆・紙	制作年不詳	11×21	個人蔵
327	トーベ・ヤンソン	飛んでいるオコジョ	ボールペン・紙	制作年不詳	3.2×11.3	個人蔵
328	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」表紙	グワッシュ、インク・紙	1962	20.2×14	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
329	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」挿絵	インク・紙	1962	7.8×5.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
330	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」挿絵	インク・紙	1962	24.7×17.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
331	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」挿絵	インク・紙	1962	3.9×16	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
332	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」挿絵	インク・紙	1962	19×13.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
333	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	8.1×6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
334	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	9.3×7.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
335	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	6.2×17.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
336	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	3×7.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
337	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	11.8×17.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
338	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	15.8×20	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
339	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	8×8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
340	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	4.5×12.6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
341	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	15×11.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
342	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	24.5×17	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
343	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	10.9×20.6	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
344	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	29.3×20.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
345	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	29.3×20.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
346	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	28.8×20.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
347	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	24×20.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
348	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	28.8×20.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
349	トーベ・ヤンソン	「ホビットの冒険」習作	インク・紙	1962	19.7×20.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年代	寸法 (cm)	所蔵先
350	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」表紙	水彩、インク・紙	1966	26.4×18.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
351	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	インク・紙	1966	8.2×14.4	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
352	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	インク・紙	1966	6.7×11.4	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
353	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	インク・紙	1966	9.5×14.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
354	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	インク・紙	1966	9.3×15.3	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
355	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	グワッシュ、インク・紙	1966	13.7×11.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
356	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	グワッシュ、インク・紙	1966	12.2×11.2	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
357	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	グワッシュ、インク・紙	1966	12.3×11.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
358	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	インク・紙	1966	20.5×15.4	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
359	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	グワッシュ、インク・紙	1966	11×12.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
360	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	グワッシュ、インク・紙	1966	21.7×13.9	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
361	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	水彩、インク・紙	1966	10.9×11.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
362	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	水彩、インク・紙	1966	14.4×12.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
363	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	水彩、インク・紙	1966	18×14.7	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
364	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」挿絵	インク・紙	1966	7.3×9.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
365-1	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」習作	インク・紙	1966	17×29	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
365-2	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」習作	インク・紙	1966	31×29	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
365-3	トーベ・ヤンソン	「不思議の国のアリス」習作	インク・紙	1966	31×29	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
366	トーベ・ヤンソン	「聴く女」表紙	グワッシュ、インク・厚紙	1971	33×24.5	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
367	トーベ・ヤンソン	「少女ソフィアの夏」挿絵	インク・紙	1976	24.7×19.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
368	トーベ・ヤンソン	「少女ソフィアの夏」挿絵	インク・紙	1976	24.7×19.8	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
369	トーベ・ヤンソン	無題	インク・紙	制作年不詳	22.9×17	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
370	トーベ・ヤンソン	隠遁者	インク・紙	制作年不詳	22.9×17	タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館
371	トーベ・ヤンソン	コトカの保育園のための壁画習作	水彩、グワッシュ・紙	1949	38×72	個人蔵
372	トーベ・ヤンソン	遊び (アウロラ小児科病院のための壁画習作)	油彩、テンペラ・カンヴァス	1956	77.5×56	ヘルシンキ美術館
373	トーベ・ヤンソン	遊び3 (アウロラ小児科病院のための壁画習作)	油彩、テンペラ・カンヴァス	1956	87×103	ヘルシンキ美術館
374	トーベ・ヤンソン	遊び2 (アウロラ小児科病院のための壁画習作)	油彩、テンペラ・カンヴァス	1956	76×107	ヘルシンキ美術館
375	トーベ・ヤンソン	ロッドユール	鉛筆、グワッシュ・紙	制作年不詳	28×20.5	個人蔵
376	トーベ・ヤンソン	ヘムレンさん	鉛筆、グワッシュ・紙	制作年不詳	28×21	個人蔵
377	トーベ・ヤンソン	スナフキン	鉛筆、グワッシュ・紙	制作年不詳	28×20.5	個人蔵
378	トーベ・ヤンソン	舞台背景のためのスケッチ	鉛筆、グワッシュ・紙	制作年不詳	33.5×44.5	個人蔵
379	トーベ・ヤンソン	舞台背景のためのスケッチ	鉛筆、グワッシュ・紙	制作年不詳	26.5×44.5	個人蔵
380	トーベ・ヤンソン	演劇「クラッシュ」の舞台衣装のためのスケッチ	グワッシュ、レース、鉛筆・紙	1964頃	39.5×30.5	個人蔵
381	トーベ・ヤンソン	演劇「クラッシュ」の舞台衣装のためのスケッチ	水彩、鉛筆・紙	1964頃	40×28.5	個人蔵
382	トーベ・ヤンソン	演劇「クラッシュ」の舞台衣装のためのスケッチ	クレヨン、グリッター、鉛筆・紙	1964頃	44×36	個人蔵
383	トーベ・ヤンソン	演劇「クラッシュ」の舞台衣装のためのスケッチ	グワッシュ、鉛筆・紙	1964頃	45.5×35	個人蔵
384	トーベ・ヤンソン	演劇「クラッシュ」の舞台衣装のためのスケッチ	クレヨン、水彩、鉛筆・紙	1964頃	40×28.5	個人蔵
385-1	トーベ・ヤンソン	ムーミンの屋敷の内部	インク、鉛筆・紙	制作年不詳	21×29.5	個人蔵
385-2	トーベ・ヤンソン	無題	インク・鉛筆、紙	制作年不詳	29.5×21	個人蔵
385-3	トーベ・ヤンソン	ちびのミイの舞台衣装のためのスケッチ	インク・鉛筆、紙	制作年不詳	29.5×21	個人蔵
386	トーベ・ヤンソン		ポスター	1974頃	70.5×50	個人蔵
387	トーベ・ヤンソン	演劇「舞台に立つトロールたち」ポスター習作	インク、水彩、鉛筆・紙	1982頃	68×49	個人蔵
388	トーベ・ヤンソン	「スナフキンの春の歌」楽譜表紙	水彩、インク・紙	制作年不詳	31×22	個人蔵
参考出品		パレット		1965	40×60	個人蔵
参考出品		「夏の家」再現		2013	2700×5710×4960	(公財) ギャラリーエークウッド
参考出品		クルーヴ島の模型		2013	30×30	フィンランドセンター

*寸法は縦×横、奥行き×幅×高さ。



ムーミンの立体模型



「ムーミン谷の住人になろう！」コーナー

バルビゾン—19世紀の絵画と写真

会期＝平成27年2月24日(火)－3月31日(水) 31日間
(平成27年度に継続/4月15日(水)まで 計44日間)
主催＝北海道立帯広美術館

協賛＝斉藤道俊法律事務所

観覧料＝一般510(410)円、高大生300(250)円
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)
日時＝2月28日(土) 午後2時～(約30分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)

特別展セミナー

「バルビゾン派とその時代」
講師＝野田佳奈子(当館学芸員)
日時＝3月1日(日) 午後2時～3時
会場＝当館講堂(聴講無料)

ワークショップ

「いきなり！大人の油絵入門」
講師＝瀧川秀敏氏(平原社美術協会会長)
日時＝3月7日(土)、3月8日(日) 午後1時30分～3時
会場＝当館講堂、主展示室(参加料400円、応募制)
主催＝帯広美術館振興会、北海道立帯広美術館

キッズ・ミュージアム

「オモシロぼうしを作ろう☆」
日時＝3月14日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(託児無料)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

ギャラリー・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)
日時＝3月28日(土)、4月11日(土) 午後2時～(約30分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)

関連記事

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信 19世紀の写真って？」
釧路新聞/2月23日(月)
「とちかちフォトギャラリー 田園風景 情感豊かに」北海道新
聞(帯広・十勝版 朝刊)/3月12日(木)



ポスター

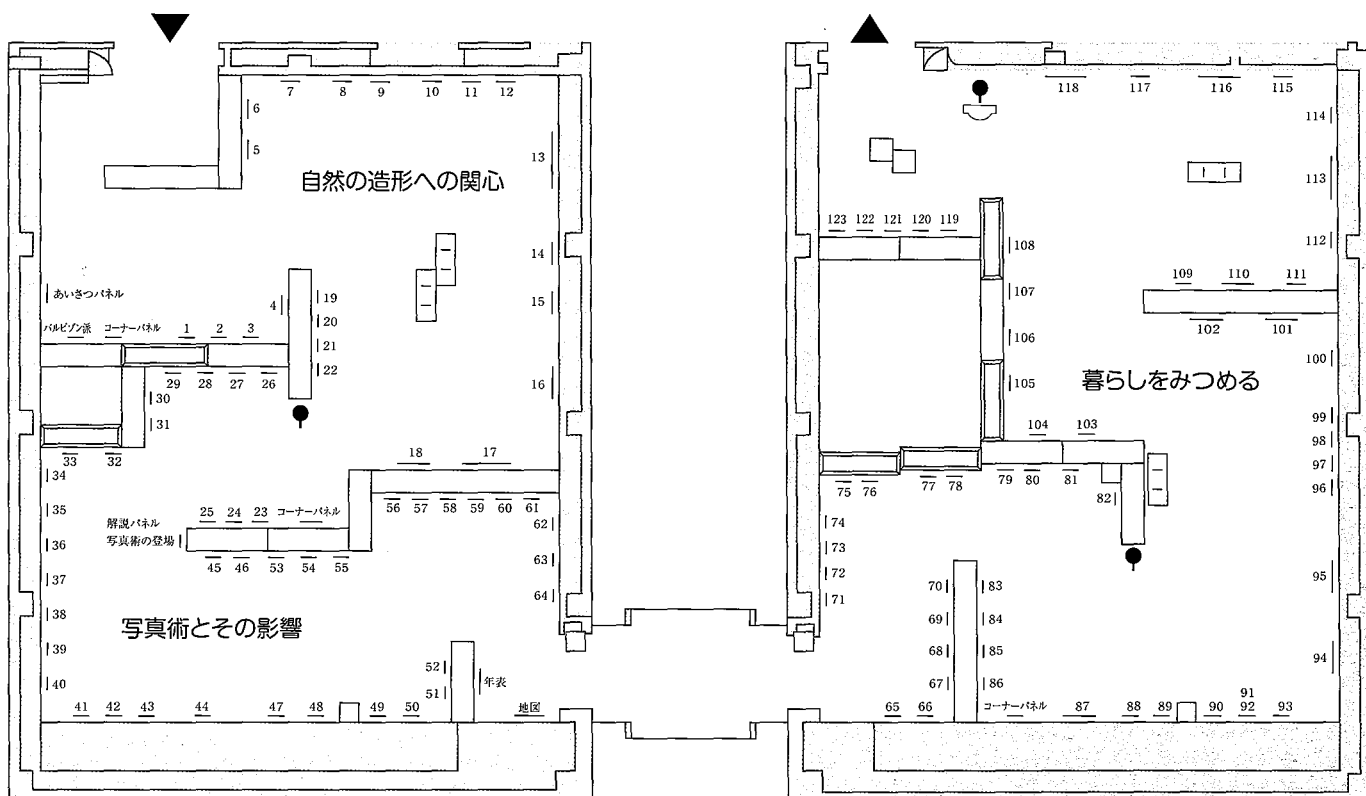
19世紀中頃のフランスでは、多くの画家たちが、画題を求めてパリの南東60キロ、フォンテーヌブローの森に隣接するバルビゾン村へと訪れた。のちにバルビゾン派と称された彼らは、森の樹木、岩や茅葺きの民家などを主題とした風景画、羊や牛など家畜を主題とした動物画、そして大地を耕し、家族と素朴な生活を営む農民を主題とした農民画などを描いた。当時、こうした画題は、サロンの主流である神話画・歴史画・宗教画と比べて未だ地位の低い主題とみられていた。しかしバルビゾン派の画家たちは、自然や田園生活に対する関心を胸に、制作を続けた。

写真術が発明されたのも、この時代である。バルビゾンやフォンテーヌブローの森は、画家だけでなく写真家たちの関心をも惹きつけた。彼らの撮影した写真の中には、当時の様子を

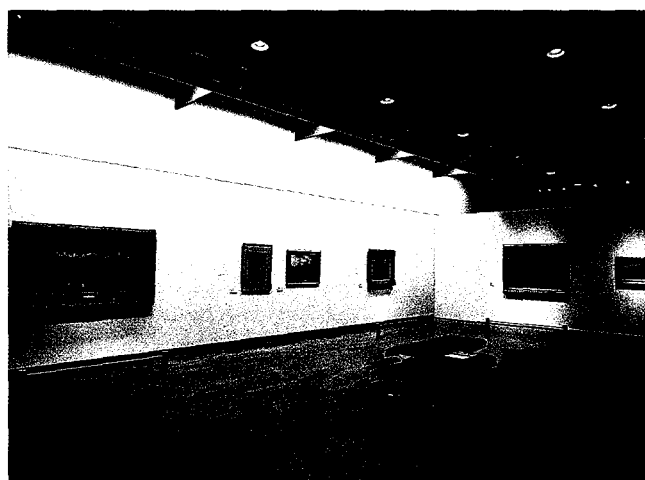
おさめた記録としての写真だけでなく、芸術性を志向したことをうかがわせる写真も残されている。また、写真の技術から派生した版画技術“クリシェ＝ヴェール(ガラス・ステロ版)”は、バルビゾン派の画家などを中心に関心を集め、多くの版画作品が残されることとなった。

この展覧会では、北海道立近代美術館と当館のコレクションから123点の作品を展示した。自然豊かな景色や農村風景をとらえた19世紀の絵画と写真を、モチーフや技法に着目しながら〈自然の造形への関心〉、〈写真術とその影響〉、〈暮らしをみつめる〉という3つのコーナーに大別して紹介した。

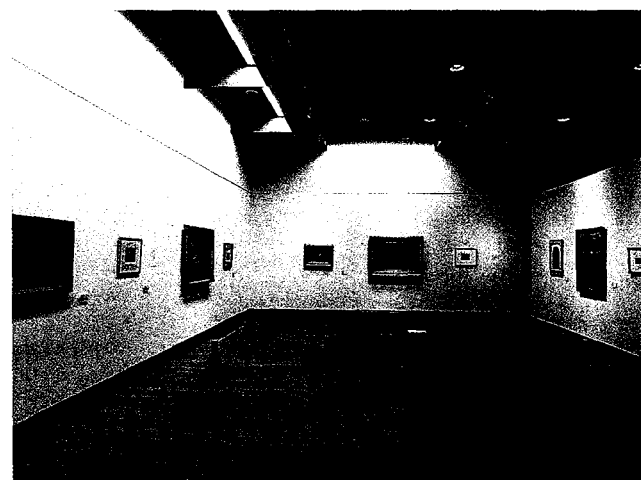
また、会期中には油彩画制作のワークショップも実施した。展覧会を通して歴史的な側面について触れるだけでなく、技術的な側面についても紹介する機会となった。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
■自然の造形への関心						
1	テオドール・ルソー	樾の木と岩	1861	エッチング、紙	12.7×17.2	北海道立帯広美術館
2	テオドール・ルソー	ビオーのサクランボの木	1862	クリシェ = ヴェール、紙	22.1×27.7	北海道立帯広美術館
3	テオドール・ルソー	ビオーの平原	1862	クリシェ = ヴェール、紙	21.8×27.7	北海道立帯広美術館
4	ウジェーヌ＝アントワヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0	北海道立帯広美術館
5	ヨハン・バルトルト・ヨンキント	オンフルール港の入口	1863	エッチング、紙	22.1×30.5	北海道立帯広美術館
6	ヨハン・バルトルト・ヨンキント	オランダの風車	1867	エッチング、紙	13.7×18.8	北海道立帯広美術館
7	ウジェーヌ・ドラクロワ	立ち止まる虎	1854	クリシェ = ヴェール、紙	15.5×18.8	北海道立近代美術館
8	ポール・ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866	エッチング、紙	19.3×28.0	北海道立帯広美術館
9	ポール・ユエ	オージュ谷のノルマンディー人の家の庭	1866	エッチング、紙	9.5×14.0	北海道立帯広美術館
10	レオン・リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
11	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺	1912	水彩、紙	22.5×33.8	北海道立帯広美術館
12	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺の道	20世紀初頭	水彩、紙	23.9×33.7	北海道立帯広美術館
13	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0×150.4	北海道立帯広美術館
14	オーギュスト・アロンジェ	池の水門	1879	木炭、リトグラフ、紙	55.7×41.6	北海道立帯広美術館
15	オーギュスト・アロンジェ	森の中	19世紀後半	水彩、紙	53.5×75.7	北海道立帯広美術館
16	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0×73.0	北海道立帯広美術館
17	アレクサンドル・ドゥフォー	森の中での休息	1871	油彩、キャンバス	98.0×131.0	北海道立帯広美術館
18	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0	北海道立帯広美術館
19	アドルフ・アピアン	マントン近郊	1879	エッチング、紙	12.2×20.1	北海道立帯広美術館
20	アドルフ・アピアン	リックスの周辺	1864	エッチング、紙	7.0×15.1	北海道立帯広美術館
21	アドルフ・アピアン	ロメ谷	1868	エッチング、紙	10.1×19.1	北海道立帯広美術館
22	アドルフ・アピアン	リヨン周辺	1879	エッチング、紙	14.1×23.3	北海道立帯広美術館
■写真術とその影響						
23	アシーユ・キネ	自然の習作 羊	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8	北海道立帯広美術館
24	アシーユ・キネ	自然の習作 農夫	1868頃	鶏卵紙プリント	19.2×24.3	北海道立帯広美術館
25	アシーユ・キネ	自然の習作 牛	1868頃	鶏卵紙プリント	18.3×24.8	北海道立帯広美術館
26	アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9×19.3	北海道立帯広美術館
27	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×23.5	北海道立帯広美術館
28	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×25.0	北海道立帯広美術館
29	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.3×24.7	北海道立帯広美術館
30	アシーユ・キネ	自然の習作 家屋	1868頃	鶏卵紙プリント	24.2×19.7	北海道立帯広美術館
31	アシーユ・キネ	自然の習作 小路	1868頃	鶏卵紙プリント	24.7×19.2	北海道立帯広美術館
32	アルフレッド・ブリッケ	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	1863/65	鶏卵紙プリント	17.7×24.0	北海道立帯広美術館
33	ウィリアム＝H. ハリソン	フォンテーヌブローの森	1870頃	鶏卵紙プリント	17.4×19.5	北海道立帯広美術館
34	シャルル・ファマン	沼地	1874頃	鶏卵紙プリント	20.3×25.9	北海道立帯広美術館
35	シャルル・ファマン	荷馬車	1874頃	鶏卵紙プリント	12.0×17.4	北海道立帯広美術館
36	シャルル・ファマン	羊の群れ	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4×16.4	北海道立帯広美術館
37	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0	北海道立帯広美術館
38	シャルル・ファマン	雌牛	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4×17.2	北海道立帯広美術館
39	シャルル・ファマン	樹木	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9×19.5	北海道立帯広美術館
40	シャルル・ファマン	牛	1874頃	鶏卵紙プリント	11.7×16.7	北海道立帯広美術館
41	A. トーバン	岩場と樹木	19世紀後半	鶏卵紙プリント	11.8×16.8	北海道立帯広美術館
42	A. トーバン	廃屋	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.0×23.9	北海道立帯広美術館
43	A. トーバン	沼地	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.2×25.1	北海道立帯広美術館
44	不詳	雄牛	19世紀後半	鶏卵紙プリント	19.3×22.6	北海道立帯広美術館
45	ジエグレール	農家	1870年代	鶏卵紙プリント	21.3×26.7	北海道立帯広美術館
46	ジエグレール	岩場	1870年代	鶏卵紙プリント	25.7×21.0	北海道立帯広美術館
47	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0	北海道立帯広美術館
48	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	夢見る人	1854	クリシェ = ヴェール、紙	14.7×19.5	北海道立近代美術館
49	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	ホラティウスの楽園	1855	クリシェ = ヴェール、紙	36.2×28.3	北海道立近代美術館
50	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	幼い妹	1854	クリシェ = ヴェール、紙	15.0×18.7	北海道立近代美術館
51	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	小さな羊飼 I	1855	クリシェ = ヴェール、紙	18.7×15.0	北海道立近代美術館

No	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
52	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	小さな羊飼Ⅱ	1855頃	クリシェ＝ヴェール、紙	18.7×15.0	北海道立近代美術館
53	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0	北海道立帯広美術館
54	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	馬に乗る人Ⅰ	1854	クリシェ＝ヴェール、紙	18.7×14.4	北海道立近代美術館
55	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	馬に乗る人Ⅱ	1854頃	クリシェ＝ヴェール、紙	28.5×22.4	北海道立近代美術館
56	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	森の入口	1856	クリシェ＝ヴェール、紙	33.8×25.5	北海道立近代美術館
57	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	低地ブレオの思い出	1858	クリシェ＝ヴェール、紙	18.1×14.9	北海道立近代美術館
58	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	空地での昼食	1857	クリシェ＝ヴェール、紙	14.3×18.4	北海道立近代美術館
59	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	オスティアの回想	1855	クリシェ＝ヴェール、紙	27.0×34.3	北海道立近代美術館
60	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	豊かなるゴール	1857	クリシェ＝ヴェール、紙	18.7×14.6	北海道立近代美術館
61	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	ひざまずくマгдаラのマリア	1858	クリシェ＝ヴェール、紙	16.5×11.4	北海道立帯広美術館
62	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	ペリクレスの楽園	1856	クリシェ＝ヴェール、紙	15.0×18.7	北海道立近代美術館
63	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	若い修道女と死	1854	クリシェ＝ヴェール、紙	18.5×12.8	北海道立近代美術館
64	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	山中の木々	1856	クリシェ＝ヴェール、紙	18.6×15.0	北海道立近代美術館
65	不詳	コロの肖像	19世紀後半	エッチング、紙	11.9×10.9	北海道立帯広美術館
66	シャルル・シャブラン	ドービニーの肖像	19世紀後半	エッチング、紙	21.4×15.3	北海道立帯広美術館
67	シャルル＝フランソワ・ドービニー	浅瀬	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	28.0×35.0	北海道立近代美術館
68	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0×23.9	北海道立帯広美術館
69	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ヤギの牧人	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	34.6×27.0	北海道立近代美術館
70	シャルル＝フランソワ・ドービニー	干し草作り	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	21.0×34.2	北海道立近代美術館
71	シャルル＝フランソワ・ドービニー	森の中の雌牛	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	15.5×18.8	北海道立近代美術館
72	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ハンの木	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	15.6×19.0	北海道立近代美術館
73	シャルル＝フランソワ・ドービニー	牧場のロバ	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	15.8×19.3	北海道立近代美術館
74	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ヴィレルヴィル海岸	19世紀後半	エッチング、紙	9.2×19.8	北海道立帯広美術館
75	シャルル＝フランソワ・ドービニー	林の中の小川	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	18.6×15.0	北海道立近代美術館
76	シャルル＝フランソワ・ドービニー	小麦畑の小径	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	14.8×18.3	北海道立近代美術館
77	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊のいる囲場	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	19.0×34.9	北海道立近代美術館
78	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3	北海道立帯広美術館
79	シャルル＝フランソワ・ドービニー	水飲み場の雌牛	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	16.3×19.6	北海道立近代美術館
80	シャルル＝フランソワ・ドービニー	カモのいる沼	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	11.6×18.5	北海道立近代美術館
81	シャルル＝フランソワ・ドービニー	鹿	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	15.6×19.0	北海道立近代美術館
82	シャルル＝フランソワ・ドービニー	家畜の群の帰来	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	34.2×27.0	北海道立近代美術館
83	シャルル＝フランソワ・ドービニー	橋	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	14.7×18.7	北海道立近代美術館
84	シャルル＝フランソワ・ドービニー	夜景	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	14.9×18.7	北海道立近代美術館
85	シャルル＝フランソワ・ドービニー	水車	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	20.6×33.9	北海道立近代美術館
86	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ヒマラヤ杉	1842	エッチング、紙	17.5×11.3	北海道立帯広美術館

■暮らしをみつめる

87	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0×65.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
88	シャルル＝エミール・ジャック	雄鶏と雌鶏	19世紀後半	エッチング、紙	12.1×17.0	北海道立帯広美術館
89	シャルル＝エミール・ジャック	蹄鉄場	1865	エッチング、紙	12.8×19.3	北海道立帯広美術館
90	シャルル＝エミール・ジャック	夏	19世紀後半	エッチング、紙	12.8×9.7	北海道立帯広美術館
91	シャルル＝エミール・ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0	北海道立帯広美術館



13 アルフレッド・ド・クニフ「春の水辺」



18 アレクサンドル・ドゥフォー「農家の中庭」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
92	シャルル＝エミール・ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7	北海道立帯広美術館
93	シャルル＝エミール・ジャック	オランダ牛	19世紀後半	エッチング、紙	11.0×17.9	北海道立帯広美術館
94	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
95	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
96	ジュール・デュブレ	アランソン風景	1839	リトグラフ、紙	13.3×19.0	北海道立帯広美術館
97	ジュール・デュブレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9×20.7	北海道立帯広美術館
98	ジュール・デュブレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7	北海道立帯広美術館
99	ジュール・デュブレ	ソローニュの風車	1835	リトグラフ、紙	19.6×14.0	北海道立帯広美術館
100	ジュール・デュブレ	風景	不詳	油彩、キャンバス	12.8×29.6	北海道立近代美術館
101	ジュール・デュブレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3	北海道立帯広美術館
102	ジュール・デュブレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8	北海道立帯広美術館
103	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0	北海道立帯広美術館
104	ジャン＝フランソワ・ミレー	粥	1861	エッチング、紙	15.0×13.0	北海道立近代美術館
105	ジャン＝フランソワ・ミレー	裁縫する女	1855-56	エッチング、紙	10.5×7.4	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
106	ジャン＝フランソワ・ミレー	水を汲む女	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	29.3×23.0	北海道立近代美術館
107	ジャン＝フランソワ・ミレー	母親の用心	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	29.3×23.0	北海道立近代美術館
108	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0	北海道立帯広美術館
109	カール・ボドメール	鹿	19世紀後半	エッチング、手彩色、紙	8.7×13.5	北海道立帯広美術館
110	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
111	カール・ボドメール	鳥の水場	19世紀後半	リトグラフ、紙	48.8×34.4	北海道立帯広美術館
112	レオンス・シャブリ	アレスの道 (ジロンド)	1870年代	エッチング、紙	14.3×20.8	北海道立帯広美術館
113	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8	北海道立帯広美術館
114	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5	北海道立帯広美術館
115	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	エッチング、紙	19.8×30.7	北海道立帯広美術館
116	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4	北海道立帯広美術館
117	フランソワ＝ルイ・フランセ	沼辺の犬	19世紀中頃	リトグラフ、紙	15.6×24.7	北海道立帯広美術館
118	フランソワ＝ルイ・フランセ	風景－丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6	北海道立帯広美術館
119	オノレ・ドーミエ	新葉のテストを描いた絵らしいぞ	1859	リトグラフ、紙	21.0×26.6	北海道立近代美術館
120	オノレ・ドーミエ	展覧会まであますところあと10日あまり のアトリエ風景	1864	リトグラフ、紙	24.0×20.8	北海道立近代美術館
121	オノレ・ドーミエ	どちらも田舎者	1844	リトグラフ、紙	21.5×17.3	北海道立近代美術館
122	オノレ・ドーミエ	世論は緊迫している	1869	リトグラフ、紙	23.8×20.5	北海道立近代美術館
123	オノレ・ドーミエ	身にまとう程あらわれる	1848	リトグラフ、紙	24.7×21.0	北海道立近代美術館

*寸法は縦×横。



27 アシーユ・キネ「自然の習作 水辺の樹木」



103 ジャン＝フランソワ・ミレー「落穂ひろい」



教育普及事業

美術講演会／アーティスト・トーク等

各分野の専門家を招いての講演会や、展覧会出品作家方を迎えてのトーク等を開催した。



デモンストレーション 山本二三氏

平成25年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
4月13日(土) 午後2時～	美術講演会 「余技ではない」ー劉生の装丁とその周辺	森田 一氏 (うらわ美術館学芸員)	岸田劉生の軌跡	当館講堂	42人
9月7日(土) 午前11時～	トークショー、サイン会	山本二三氏 (本展出品作家、美術監督・背景画家)	山本二三展	当館講堂	172人
9月7日(土) 午後3時～	デモンストレーション	山本二三氏 (本展出品作家、美術監督・背景画家)	山本二三展	当館講堂	53人
11月23日(土) 午後1時～	アーティスト・トーク	山本雄基氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	当館主展示室	43人
11月23日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク	浅川 茂氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	当館主展示室	46人
11月23日(土) 午後3時～	アーティスト・トーク	藤原千也氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	当館主展示室	36人
11月24日(日) 午後1時～	アーティスト・トーク	小笹純弥氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	当館主展示室	36人
11月24日(日) 午後2時～	アーティスト・トーク	戸張良彦氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	当館主展示室	38人
11月30日(土) 午後1時～	アーティスト・トーク	細木るみ子氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	当館主展示室	38人
11月30日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク	松本早苗氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	当館主展示室	30人
2月11日(火・祝) 午後2時～	アート・トーク「十勝の美術を語る」 とかち環境アートー帯広の森アートキャンブから 防風林アートプロジェクトまで	池田 緑氏 (本展出品作家)	十勝の美術100年	当館講堂、主展示室	20人
2月16日(日) 午後2時～	アート・トーク「十勝の美術を語る」 十勝の美術史、新しい資料から 近世末～近代	米山将治氏 (本展出品作家)	十勝の美術100年	当館講堂、主展示室	3人
2月23日(日) 午後2時～	アート・トーク「十勝の美術を語る」 昭和20年代の十勝の美術	中西堯昭氏 (本展出品作家)	十勝の美術100年	当館講堂、主展示室	39人
3月1日(土) 午後2時～	アート・トーク「十勝の美術を語る」 1960年代の十勝の美術	渡邊禎祥氏 (本展出品作家)	十勝の美術100年	当館講堂、主展示室	41人
3月2日(日) 午後2時～	アート・トーク「十勝の美術を語る」 手首をまげるな	熊代弘法氏 (本展出品作家)	十勝の美術100年	当館講堂、主展示室	61人



美術対談「『碑』のこと、版画のこと」中谷有逸氏、柴橋伴夫氏

平成26年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
7月18日(金) 午前9時30分～	オープニング・トーク	中右 瑛氏 (洋画家、美術評論家)	大正ロマン昭和モダン展	当館主展示室	59人
7月19日(土) 午後2時～	美術講演会 夢二の恋人生—大正の挿絵画家たち	中右 瑛氏 (洋画家、美術評論家)	大正ロマン昭和モダン展	当館講堂	47人
8月23日(土) 午後2時～	特別鑑賞会 レコードと音の文化史—大正編	山内秋夫氏 (帯広狂言づくしの会代表)	大正ロマン昭和モダン展	当館講堂	65人
10月4日(土) 午後2時～	美術対談 「碑」のこと、版画のこと	中谷有逸氏(本展出品作家) 柴橋伴夫氏(美術評論家)	中谷有逸展	当館講堂	57人
11月22日(土) 午前11時～	実演制作とギャラリー・ツアー 制作を見せる・自作を語る	中谷有逸氏(本展出品作家)	中谷有逸展	当館講堂、主展示室	90人

特別展セミナー

当館学芸員が、展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後2時～

会場＝当館講堂(聴講無料)

平成25年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
4月20日(土)、6月1日(土)	岸田劉生の軌跡—出品作品を中心に	石尾乃里子(当館学芸員)	岸田劉生の軌跡	47人
8月17日(土)	20世紀のプリントアート	佐藤由美加(当館主任学芸員)	20世紀のプリントアート	1人
9月21日(土)、10月19日(土)	山本二三の背景世界—ジブリ映画を中心に	石尾乃里子(当館学芸員)	山本二三展	40人
3月15日(土)	十勝美術100年の流れ	佐藤由美加(当館主任学芸員)	十勝の美術100年	6人

平成26年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
11月3日(月・祝)、11月29日(土)	中谷有逸の版画世界	藤原乃里子(当館学芸員)	中谷有逸展	35人
3月1日(日)	バルビゾン派とその時代	野田佳奈子(当館学芸員)	バルビゾン—19世紀の絵画と写真	8人

ギャラリー・ツアー

当館学芸員が、展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。

時間＝午後2時～

会場＝当館主展示室(要観覧券)

平成26年度

開催日	講師	関連展覧会	聴講者数
5月10日(土)、6月7日(土)	五十嵐聡美(当館学芸課長)	美術のみ・か・た 7つの扉	10人
8月30日(土)、9月13日(土)	五十嵐聡美(当館学芸課長)	大正ロマン昭和モダン展	16人
12月20日(土)、1月10日(土)、1月24日(土)、1月25日(日)	野田佳奈子(当館学芸員) 五十嵐聡美(当館学芸課長)	トーベ・ヤンソン展	103人
3月28日(土)	野田佳奈子(当館学芸員)	バルビゾン—19世紀の絵画と写真	25人

ミュージアム・カレッジ

当館学芸員による連続講座。連続講座としての特色を生かし、開催中の展覧会、及び美術館に関連する内容について多角的かつ体系的に知識を深める機会とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。



「プリントアート解体新書！」 池田良二氏

平成25年度

プリントアート解体新書！

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室(参加料400円、応募制)

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
7月20日(土)	横尾忠則の『ブルー・ワンダーランド』	鎌田 享(当館学芸課長)	20世紀のプリントアート	15人
7月27日(土)	サム・フランシスの『パサディナ・ボックス』	石尾乃里子(当館学芸員)	20世紀のプリントアート	13人
8月3日(土)*	池田良二と『旧・落石無線送信所』	佐藤由美加(当館主任学芸員)	20世紀のプリントアート	14人

* 8月3日はゲストに池田良二氏(版画家、「20世紀のプリントアート」展出品作家)をお迎えした。

平成26年度

あなたの知らない?! 美術館の秘密～学芸員のお仕事編

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室、コレクション・ギャラリー、収蔵庫ほか(参加料550円、応募制)

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
6月21日(土)	集める～作品収集の秘密	石尾乃里子(当館学芸員)	美術のみ・か・た 7つの扉、新収蔵品展	16人
6月28日(土)	守る～作品保存の秘密	石尾乃里子(当館学芸員)	美術のみ・か・た 7つの扉、新収蔵品展	17人
7月5日(土)	企画する～展覧会づくりの秘密	石尾乃里子(当館学芸員)	美術のみ・か・た 7つの扉、新収蔵品展	15人

ミュージアム・ミステリー

平成23年度まで、特別展を舞台に開催していた事業を、コレクション・ギャラリーの関連事業としてリニューアル。小学1～6年生を対象に、美術に親しんでもらうためのワークショッププログラムを実施。自ら感じ、考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

平成25年度

ミュージアム・ミステリー2013サマー アートな動物園であそぼう！

日 時＝ 8月4日(日) 午前11時～12時、午後2時～3時

会 場＝当館コレクション・ギャラリー、ロビー(小学生無料、応募制)

参加者＝小学生、及びその家族 計38人

関連展覧会・事業＝アニマル・コレクション！、よりどりみどりがおかフェスタ！

内 容

導入として、部分図によって該当する作品を見つけるゲームを行い、展覧会を一巡。次に、参加者各々が最も気に入った動物の描かれた作品を選び、その作品とともに記念撮影した後、その写真を使って、絵日記づくりに挑戦した。絵日記づくりにあたっては、今日帯広美術館でみた動物、この動物を好きになった理由、自分以外の人の発言などを書き込める台紙を準備しておき、参加者が短い時間のなかでより能動的に作品と向かい合えるよう工夫した。各々作成した絵日記は、記念として持ち帰ってもらった。

平成26年度

ミュージアム・ミステリー2014サマー 写真★アートに入りこめ！

日 時＝ 8月10日(日) 午前10時～11時、11時30分～12時30分

会 場＝当館コレクション・ギャラリー(小学生無料、応募制)

参加者＝小学生、及びその家族 計35人

関連展覧会・事業＝写真★アート、よりどりみどりがおかフェスタ！



アートな動物園であそぼう！



アートな動物園であそぼう！

内 容

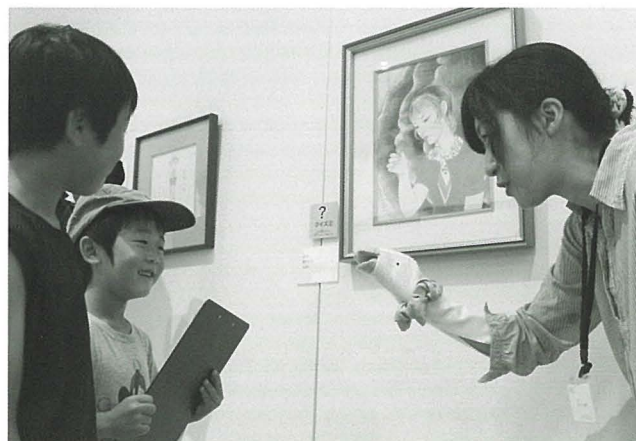
見本作品を進行者の紹介により鑑賞しながら、参加者全員で展覧会を一巡。次に、参加者各々、自分が入りこみたいと感じた作品と、その中でとりたい体のポーズを決め、ポーズをとって撮影。その写真を切り抜き、作品図版の上に貼り合わせて、各自の“写真★アート”作品とした。作品は各自、記念として持ち帰ってもらった。

キッズ・ツアー

各特別展の会期中に1回、小学生を主な対象としたギャラリー・ツアーを実施した。各回毎にクイズや対話、平成26年度からは案内役のパペットを取り入れるなど、子どもたちの集中と自発的な鑑賞を促すよう工夫した。

時間＝午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)



「大正ロマン昭和モダン展」キッズ・ツアー

平成25年度

開催日時	講師	関連展覧会	参加者数
5月18日(土)	石尾乃里子(当館学芸員)	岸田劉生の軌跡	10人
6月8日(土)	佐藤由美加(当館主任学芸員)	20世紀のプリントアート	14人
10月5日(土)	石尾乃里子(当館学芸員)	山本二三展	13人
12月7日(土)	鎌田 享(当館学芸課長)	in the LIGHT / in the SHADOW	2人
2月15日(土)	佐藤由美加(当館主任学芸員)	十勝の美術100年	—

平成26年度

開催日時	講師	関連展覧会	参加者数
5月24日(土)	五十嵐聡美(当館学芸課長)、野田佳奈子(当館学芸員)	美術のみ・か・た 7つの罪	37人
8月2日(土)	野田佳奈子(当館学芸員)	大正ロマン昭和モダン展	2人
10月18日(土)	藤原乃里子(当館学芸員)	中谷有逸展	2人
1月17日(土)	野田佳奈子(当館学芸員)	トーベ・ヤンソン展	11人
2月28日(土)	野田佳奈子(当館学芸員)	バルビゾン—19世紀の絵画と写真	3人

キッズ・ミュージアム

親子、家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回、託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に、寛いだ鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちには工作遊びを楽しんでもらった。なお本事業は、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」との共催で実施。工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで「しらかばの会」ワークショップ部が中心となって運営した。

時間＝午後2時～4時(受付は午後3時30分まで)

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「いろいろ・紙ぞめうちわ」

平成25年度

開催日	工作内容	関連展覧会	利用者数(内・子どもの数)
5月11日(土)	ねんどあそび	岸田劉生の軌跡	20人(11人)
6月29日(土)	ポンポン版画にチャレンジ	20世紀のプリントアート	11人(5人)
10月12日(土)	お★え★か★き	山本二三展	39人(19人)
12月14日(土)	うきうき クリスマス	in the LIGHT / in the SHADOW	8人(5人)
2月22日(土)	折って楽しいひなまつり	十勝の美術100年	8人(4人)

平成26年度

開催日	工作内容	関連展覧会	利用者数(内・子どもの数)
5月17日(土)	折って折って…うで時計	美術のみ・か・た 7つの扉	5人(2人)
7月26日(土)	いろいろ・紙ぞめうちわ	大正ロマン昭和モダン展	12人(6人)
11月1日(土)	紙はんがにチャレンジ!	中谷有逸展、芸術週間	9人(5人)
2月7日(土)	たのしいお絵かき	トーベ・ヤンソン展	15人(8人)
3月14日(土)	オモシロぼうしを作ろう☆	バルビゾン—19世紀の絵画と写真	15人(6人)

ワークショップ等

開催中の展覧会に関連し、美術作家や学芸員による造形や鑑賞のワークショップ、技法講座を実施した。また地域イベントや学校と連携し、造形遊びを主題としたワークショップを開催した。

会場＝当館講堂ほか



「いきなり！大人の油絵入門」 瀧川秀敏氏

平成25年度

開催日	内容	講師	関連展覧会・事業	参加者数
5月19日(土) 午前10時～11時30分、 午後2時～3時30分	ワークショップ「劉生のブックワークに親しむ」 (作品鑑賞とブックカバーづくり)	石尾乃里子 (当館学芸員)	岸田劉生の軌跡	14人
1月18日(土)、1月19日(日) 午前11時～4時	ワークショップ「木の王かんをつくろう」 (作品鑑賞と木彫制作)	藤原千也氏 (本展出品作家)	in the LIGHT / in the SHADOW	20人
3月23日(日)* 午前10時30分～12時30分	「クレイアートワークショップ with 帯南中」 (樹脂粘土による造形遊び)	帯広市立南町中学校 教諭、生徒計13名	おびひろ氷まつり協賛事業*	9人

*当初、おびひろ氷まつり協賛事業の一環として2月2日(日)に実施予定だったが、講師都合により延期開催した。

平成26年度

開催日	内容	講師	関連展覧会・事業	参加者数
11月8日(土)、11月9日(日) 午後1時30分～4時	ワークショップ「教えて！中谷先生～凹凸併用版」 (中高生を対象とした作品鑑賞と版画制作)	中谷有逸氏 (本展出品作家)	中谷有逸展	16人
12月14日(日) 午前10時～、午後1時30分～(各2時間)	「フィンランド伝統装飾“ヒンメリ” ワークショップとお話し会」	山本睦子氏 (ヒンメリ作家)	トーベ・ヤンソン展	15人
2月8日(日) 午前10時～午後3時	ワークショップ「冬の妖精をつくろう！」 (紙粘土による造形遊び)	野田佳奈子 (当館学芸員)	おびひろ氷まつり協賛事業	107人
3月7日(土)、3月8日(日)* 午後1時30分～3時	ワークショップ「いきなり！大人の油絵入門」 (作品鑑賞と風景画制作)	瀧川秀敏氏 (平原社美術協会会長)	バルビゾン—19世紀の絵画と写真	20人

*帯広美術館振興会と共催。

映写室

開催中の展覧会に関連したプログラムを中心に、映画、ビデオ、DVD の上映を行った。

会場 = 当館講堂(入場無料)

平成25年度

開催日時	上映作品	関連展覧会・事業	入場者数
11月6日(水) 午前11時～、午後3時～	「金の小鳥」(約10分)、「はとよひろしまの空を」(約21分)	山本二三展、芸術週間	36人
11月7日(木) 午前11時～、午後3時～	「タイコンデロンガのいる海」(約25分)	山本二三展、芸術週間	51人
1月31日(金)、2月1日(土)* 午前12時30分～、午後3時～	ミュージアム・シアター「ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人」、 「ハーブ&ドロシー ふたりからの贈りもの」(各87分)	おびひろ氷まつり協賛事業	95人

*帯広美術館振興会と共催。

おびひろ氷まつり協賛事業

例年1月末から2月初めの週末には、帯広美術館が立地する帯広市緑ヶ丘公園を主会場に、「おびひろ氷まつり」が開催される。本事業は、「おびひろ氷まつり」の来場者に、美術館に親んでもらうべく企画・実施したもの。ゲームやワークショップ、特設ロビーカフェの設置など多彩なプログラムを設け、美術館に足を運ぶきっかけ作りとした。なお本事業は、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共同して実施した。

平成25年度

開催日 = 1月31日(金)～2月2日(日)

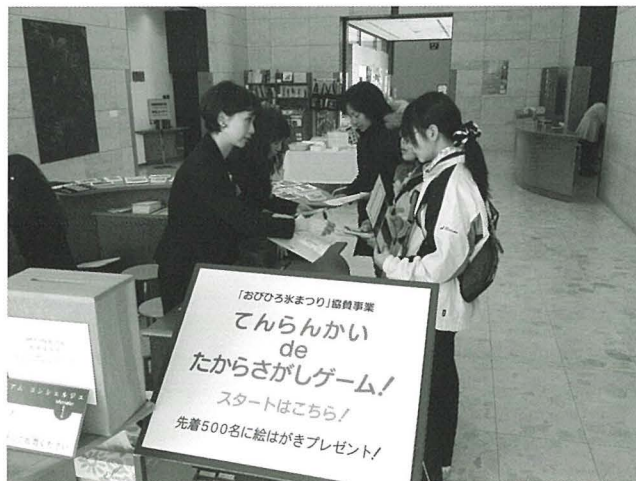
会場 = 当館ロビー、主展示室、講堂ほか

参加者 = 計824人

開催展覧会 = in the LIGHT / in the SHADOW、北の風景

主催 = 北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力 = 帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「てんらんかい de たからさがしゲーム！」

プログラム

・てんらんかい de たからさがしゲーム！

特別展「in the LIGHT / in the SHADOW」に関連して、作品鑑賞に重点を置いた子供向けクイズゲームを実施し、作品に親しんでもらうことを図った。

日時 = 2月1日(土) 午前9時30分～午後8時

2月2日(日) 午前9時30分～午後5時

会場 = 当館主展示室

参加者 = 456人

・ロビーカフェ de 冬の花火

「おびひろ氷まつり」主会場で行われる花火の打ち上げにあわせ、当館ロビーに特設カフェを設営し、飲み物を提供した。

日時 = 1月31日(金)、2月1日(土) 午後5時30分～8時

会場 = 当館ロビー、廊下

参加者 = 70人

・ミュージアム・シアター

「ハープ&ドロシー アートの森の小さな巨人」

「ハープ&ドロシー ふたりからの贈りもの」

日時 = 1月31日(金)、2月1日(土) 午前12時30分～、午後3時～

会場 = 当館講堂(入場無料)

参加者 = 95人

・帯広市立南町中学校連携授業

特別展「in the LIGHT / in the SHADOW」における学校連携事業として、帯広市立南町中学校第2学年を対象に、展覧会出品作品を参照したスクラッチ作品の制作および鑑賞の授業を行った。中学生の作品は、展覧会期間中、当館ロビーに展示された。氷まつり期間中には、作家との交流を含めた鑑賞授業を実施したほか、来館者による投票も行った。

作 家 = 小笹純弥氏(出品作家)
日 時 = 1月31日(金) 午前9時30分～午前12時 (鑑賞授業)
1月31日(金)～2月2日(日) (来館者による投票)
会 場 = 当館講堂、ロビー、主展示室
生徒数 = 203人
投票参加者 = 110人

平成26年度

開催日 = 2月6日(金)～8日(日)
会 場 = 当館ロビー、講堂ほか
参加者 = 計180人
開催展覧会 = トーベ・ヤンソン展、井田照一展
主 催 = 北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会
協 力 = 帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「ワークショップ『冬の妖精をつくろう!』」

プログラム

- ・ワークショップ「冬の妖精をつくろう!」
当館講堂に紙粘土や絵の具などを用意し、親子向けの自由参加型ワークショップを催した。
日 時 = 2月8日(日) 午前10時～午後3時
会 場 = 当館講堂(参加無料)
参加者 = 107人
- ・ロビーカフェ de 冬の花火
「おびひろ氷まつり」主会場で行われる花火の打ち上げにあわせ、当館ロビーに特設カフェを設営し、飲み物を提供した。
日 時 = 2月6日(金)、2月7日(土) 午後5時30分～8時
会 場 = 当館ロビー、廊下
参加者 = 73人

団体オリエンテーション

団体体観覧者のうち希望するグループに対し、講堂にて映像を使用しながら当館の概要と開催中の特別展およびコレクション・ギャラリーの内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

会場＝当館講堂(無料、事前申込制)

平成25年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
岸田劉生の軌跡	4月12日(金)～6月1日(土)	3回	185人
20世紀のプリントアート	6月8日(土)～8月28日(木)	20回	682人
Bon Voyage! 世界の観光ポスター	9月7日(土)～11月13日(木)	1回	11人
山本二三展	9月7日(土)～11月13日(木)	43回	1,403人
in the LIGHT / in the SHADOW	11月22日(金)～2月2日(日)	5回	89人
十勝の美術100年	2月11日(火・祝)～3月30日(日)	5回	280人

平成26年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
十勝の美術100年	4月1日(火)～4月16日(木)	—	—
美術のみ・か・た 7つの扉	4月25日(金)～7月9日(木)	21回	650人
大正ロマン昭和モダン展	7月18日(金)～9月24日(木)	12回	516人
中谷有逸展	10月3日(金)～12月3日(木)	13回	440人
トーベ・ヤンソン展	12月13日(土)～2月15日(日)	21回	830人
バルビゾン—19世紀の絵画と写真	2月24日(火)～3月31日(火)	—	—

セルフガイド（クイズ）

コレクション・ギャラリーおよび主展示室で開催中の展覧会について、出品作品数点に関するクイズを作成し、希望する観覧者に配布した。それぞれの設問は、主として小学校中学年を対象とし、作品の主題や技法、造形要素等に注意を喚起することで、作品鑑賞の一助となるように努めた。

平成25年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
森の交遊録	4月12日(金)～6月1日(土)	コレクション・ギャラリー	172人
岸田劉生の軌跡	4月12日(金)～6月1日(土)	主展示室	170人
アニマル・コレクション！	6月8日(土)～8月28日(水)	コレクション・ギャラリー	583人
20世紀のプリントアート	6月8日(土)～8月28日(水)	主展示室	528人
Bon Voyage! 世界の観光ポスター	9月7日(土)～11月13日(水)	コレクション・ギャラリー	2,158人
山本二三展	9月7日(土)～11月13日(水)	主展示室	3,863人
北の風景	11月22日(金)～3月30日(日)	コレクション・ギャラリー	517人
十勝の美術100年	2月11日(火・祝)～3月30日(日)	主展示室	570人

平成26年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
北の風景	4月1日(火)～4月16日(水)	コレクション・ギャラリー	19人
十勝の美術100年	4月1日(火)～4月16日(水)	主展示室	42人
新収蔵品展	4月25日(金)～7月9日(水)	コレクション・ギャラリー	678人
美術のみ・か・た 7つの扉	4月25日(金)～7月9日(水)	主展示室	837人
写真へアート	7月18日(金)～9月24日(水)	コレクション・ギャラリー	1,108人
大正ロマン昭和モダン展	7月18日(金)～9月24日(水)	主展示室	1,133人
麗しき女性像	10月3日(金)～12月3日(水)	コレクション・ギャラリー	310人
井田照一展	12月13日(土)～3月31日(水)	コレクション・ギャラリー	859人
トーベ・ヤンソン展	12月13日(土)～2月15日(日)	主展示室	2,115人
バルビゾン—19世紀の絵画と写真	2月24日(火)～3月31日(水)	主展示室	94人

博物館実習

関係大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れ、博物館実習を実施した。

受入の条件として、①帯広・十勝を中心とした地元出身者で、②美術（美学・美術史、美術教育、美術実技）を専攻しており、③卒業後に博物館勤務を現に希望する学生であることを原則とした。

実習内容は、実践的な学芸業務を中心としながらも、管理業務やボランティア体験など、美術館の運営全体について広く知見を高めるよう留意した。

平成25年度

受入期間＝10月2日(水)～10月12日(土)

＊月曜日を除く10日間

受入人数＝1人（弘前大学）

実習日程

月 日	午 前（8：45～12：00）				昼休	午 後（13：00～17：30）					
10月2日(水)	8：45～9：30（45分） オリエンテーション		9：30～11：00（90分） 施設見学		11:00～12:00（60分） 展覧会自主見学		13:00～14:00（60分） 講義 【帯広美術館の役割】	14:00～15:00（60分） 講義 【帯広美術館の概要】	15:00～16:00（60分） 講義 【美術館の予算】	16:00～17:00（60分） 講義 【展覧会活動】	17：00～17：30（30分） まとめ
3日(木)	8：45～9：00 準備	9:00～10:00（60分） 講義 【作品の収集活動】	10:00～11:00（60分） 講義 【二次資料の収集】	11:00～12:00（60分） 講義 【教育普及活動】		13:00～14:00（60分） 講義【広報活動】	14：00～17：00（180分） 学芸実務実習【展覧会活動 補助】				17：00～17：30（30分） まとめ
4日(金)	8：45～9：00 準備	9:00～10:00（60分） 学芸実務実習 【オリエンテーション見学】	10：00～12：00（120分） 美術館実務実習【広報活動 実務】				13：00～17：00（240分） 美術館実務実習【広報活動 実務】				17：00～17：30（30分） まとめ
5日(土)	8：45～9：00 準備	9：00～12：00（180分） 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション 原稿作成】					13：00～15：00（120分） 学芸実務実習 【教育普及活動 キッズ・ツアー 補助】		15：00～17：00（120分） 学芸実務実習 【教育普及活動 クイズ 原稿作成】		17：00～17：30（30分） まとめ
6日(日)	8：45～9：00 準備	9：00～12：00（180分） 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション 原稿作成】					13：00～17：00（240分） 学芸実務実習【教育普及活動 クイズ 原稿作成】				17：00～17：30（30分） まとめ
7日(月)	休 日 / 休 館 日										
8日(火)	8：45～9：00 準備	9：00～12：00（180分） 学芸実務実習【展覧会活動 補助】					13：00～17：00（240分） 学芸実務実習【教育普及活動 クイズ 原稿作成】				17：00～17：30（30分） まとめ
9日(水)	8：45～9：00 準備	9：00～12：00（180分） 学芸実務実習【展覧会活動 補助】					13：00～17：00（240分） 美術館実務実習【来館者案内・展示室監視 実務】				17：00～17：30（30分） まとめ
10日(木)	8：45～9：00 準備	9：00～12：00（180分） 学芸実務実習【展覧会活動 補助】					13：00～17：00（240分） 学芸実務実習【教育普及活動 クイズ 原稿作成】				17：00～17：30（30分） まとめ
11日(金)	8：45～9：00 準備	9：00～12：00（180分） 学芸実務実習【展覧会活動 補助】					13：00～17：00（240分） 美術館実務実習【ボランティア 実務】				17：00～17：30（30分） 講義【終了にあたって】
12日(土)	8：45～9：00 準備	9：00～12：00（180分） 学芸実務実習 【教育普及活動 オリエンテーション・クイズ 発表準備】					13：00～15：30（150分） 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション・クイズ 発表】			15：30～17：30（120分） 実習日誌作成、まとめ	

平成26年度

受入期間＝10月21日(火)～10月31日(金) ＊月曜日を除く10日間

受入人数＝1人（北海道教育大学）

実習日程

月 日	午 前 (8:45～12:00)				昼休	午 後 (13:00～17:30)				
10月21日(火)	8:45～9:30 (45分) オリエンテーション	9:30～11:00 (90分) 施設見学		11:00～12:00 (60分) 展覧会自主見学		13:00～14:00 (60分) 講義【帯広美術館の役割】	14:00～15:00 (60分) 講義【帯広美術館の概要】	15:00～16:00 (60分) 講義【作品の収集と保存】	16:00～17:00 (60分) 講義【展覧会活動】	17:00～17:30 (30分) まとめ
22日(水)	8:45～9:00 準備	9:00～10:00 (60分) 講義【美術館の予算】	10:00～11:00 (60分) 講義【二次資料の収集】	11:00～12:00 (60分) 講義【教育普及活動】		13:00～14:00 (60分) 講義【広報活動】	14:00～15:00 (60分) 講義【学芸業務の実際】	15:00～17:00 (120分) 学芸実務実習【展覧会活動 補助】		17:00～17:30 (30分) まとめ
23日(木)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 学芸実務実習【展覧会活動・教育普及活動 補助】				13:00～17:00 (240分) 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション見学・原稿作成】				17:00～17:30 (30分) まとめ
24日(金)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 美術館実務実習【来館者案内・展示室監視 実務】				13:00～17:00 (240分) 美術館実務実習【ボランティア 実務】				17:00～17:30 (30分) まとめ
25日(土)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション 原稿作成】				13:00～17:00 (240分) 学芸実務実習【展覧会活動・教育普及活動 補助】				17:00～17:30 (30分) まとめ
26日(日)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション 原稿作成】				13:00～17:00 (240分) 学芸実務実習【展覧会活動・教育普及活動 補助】				17:00～17:30 (30分) まとめ
27日(月)	休 日 / 休 館 日									
28日(火)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 学芸実務実習【教育普及活動 クイズ 原稿作成】				13:00～17:00 (240分) 学芸実務実習【教育普及活動 クイズ 原稿作成】				17:00～17:30 (30分) まとめ
29日(水)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 学芸実務実習【教育普及活動 クイズ 原稿作成】				13:00～17:00 (240分) 学芸実務実習【展覧会活動・教育普及活動 補助】				17:00～17:30 (30分) まとめ
30日(木)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション・クイズ 発表準備】				13:00～17:00 (240分) 学芸実務実習【教育普及活動 オリエンテーション・クイズ 発表】				17:00～17:30 (30分) まとめ
31日(金)	8:45～9:00 準備	9:00～12:00 (180分) 博物館施設見学実習【百年記念館・児童会館】				13:00～15:30 (150分) 学芸実務実習【展覧会活動・教育普及活動 補助】		15:30～16:00 (30分) 講義【終了にあたって】	16:00～17:30 (90分) 実習日誌作成、まとめ	

教員研修プログラム

小学校・中学校・高等学校等の教員に長期休業期間中の自己研修の機会を提供するとともに、美術館施設を活用した学習や美術の鑑賞授業についての実践的なヒントを提供するために、教員研修プログラムを実施した。

研修内容は、当館で展覧会ごとに作成・使用しているセルフガイド(クイズ)を参加者各自が作成し相互に検証するグループワークを中心に据えた。併せて、館内諸施設の見学やボランティア活動の体験を行い、美術館活動全般について広く研修できるように留意した。

平成25年度

受入期間 = 8月7日(水)～8月9日(金)

受入人数 = 5人 (帯広市立北栄小学校、新得町立屈足中学校、帯広市立東小学校、清水町立清水中学校、北海道中札内高等養護学校)

実習日程

月 日	午 前 (10:00～12:00)		昼休	午 後 (13:00～16:30)	
8月7日(水)	10:00～10:30(30分) 【オリエンテーション】	10:30～12:00(90分) 【演習】「アニマル・コレクション！」展のワークショップ体験		13:00～15:30(150分) 【演習】「アニマル・コレクション！」展セルフガイド(クイズ)作成	15:30～16:30(60分) 【演習】セルフガイド(クイズ)の発表
8日(木)	10:00～12:00(120分) 【演習】「20世紀のプリントアート」展の展覧会鑑賞～セルフガイド(クイズ)の作成			13:00～15:30(150分) 【演習】「20世紀のプリントアート」展のセルフガイド(クイズ)の作成	15:30～16:30(60分) 【演習】セルフガイド(クイズ)の発表
9日(金)	10:00～12:00(120分) 【施設見学～利用案内】			13:00～15:00(120分) 【ボランティア体験】	15:00～16:30(90分) 【まとめ】

平成26年度

受入期間 = 8月6日(水)～8月8日(金)

受入人数 = 3人 (浦河町立浦河東部小学校、幕別町立札内北小学校、網走市立潮見小学校)

実習日程

月 日	午 前 (10:00～12:00)		昼休	午 後 (13:00～16:30)	
8月6日(水)	10:00～11:00(60分) 【オリエンテーション～施設見学】	11:00～12:00(60分) 【演習】「写真～アート」展の概要説明～鑑賞		13:00～15:00(120分) 【演習】コレクション展に連動させた子ども向けワークショップの概要説明と体験	15:00～16:30(90分) 【ディスカッション】美術館の普及事業について
7日(木)	10:00～11:00(60分) 【演習】「大正ロマン昭和モダン展」概要説明～鑑賞	11:00～12:00(60分) 【演習】「大正ロマン昭和モダン展」の子ども向け事業の紹介		13:00～15:00(120分) 【演習】「大正ロマン昭和モダン展」のセルフガイド(クイズ)作成	15:00～16:30(90分) 【演習】セルフガイド(クイズ)の発表
8日(金)	10:00～12:00(120分) 【ディスカッション】美術館と学校との連携について			13:00～15:00(120分) 【ボランティア体験】	15:00～16:30(90分) 【まとめ】

移動美術館

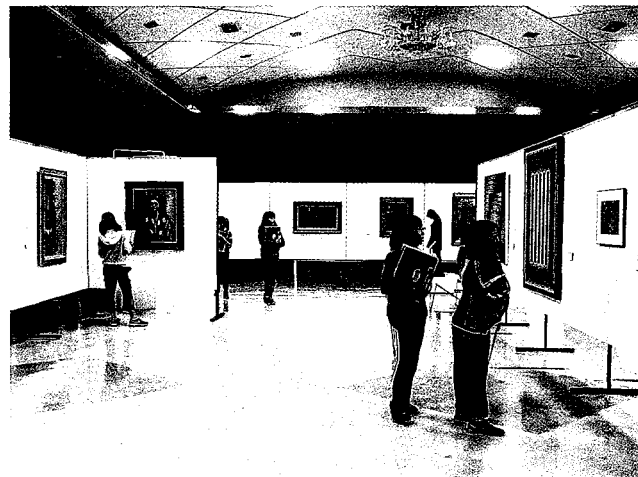
平成26年度

移動美術館2014

北海道立近代美術館・北海道立三岸好太郎美術館、北海道立帯広美術館コレクションによる
美へのいざない

北海道には現在、北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館のある札幌をはじめとして、旭川・函館・帯広・釧路の各地に計6つの道立美術館・芸術館がある。これらの館は、それぞれが特色あるコレクションを持ち、地域に根ざしたさまざまな活動を展開している。道内各地を巡回する移動美術館は、この6館のコレクションを広く道民に紹介するとともに、多彩な教育・情報サービスを提供し、美術文化の振興を図ることを目的に開催しているものである。

平成26年度は、近代美術館・三岸好太郎美術館・帯広美術館の共催により、3館のコレクションから代表作40点を精選して、道東の2会場で開催した。会期中、学芸員による作品解説や鑑賞入門講座のほか、会場内に美術図書を自由に閲覧できる図書コーナーを設けるなどの関連事業を行った。



移動美術館更別会場

会場	会期	主催・後援	入場者数
更別村社会福祉センター	9月26日(金)～9月30日(火)	主催／更別村教育委員会、北海道立近代美術館、北海道立三岸好太郎美術館、 北海道立帯広美術館 後援／更別村、更別村文化協会	902人
足寄町民センター	10月3日(金)～10月7日(火)	主催／足寄町教育委員会、北海道立近代美術館、北海道立三岸好太郎美術館、 北海道立帯広美術館 後援／足寄町、足寄町文化協会、足寄町PTA連合会	1,480人

関連事業

作品解説

各会場の初日と最終日に、展示会場内において道立美術館の学芸員による作品解説を随時行った。

- ・更別会場
 - 9月26日(金) 午前9時～午後5時 2回31名(更別村議会議員、更別小学校)
 - 9月30日(火) 午前9時～午後5時 6回87名(更別中央中学校)
- ・足寄会場
 - 10月3日(金) 午前10時～午後5時 1回12名(一般来場者)
 - 10月7日(火) 午前10時～午後5時 1回14名(一般来場者)

美術鑑賞入門講座

希望に応じ、近隣施設において道立美術館学芸員による鑑賞入門講座を行った。

- ・足寄会場
 - 10月3日(金) 1回110名(十勝東北部高齢学級)

出前講座

希望に応じ、近隣施設において道立美術館学芸員による出前授業を行った。

- ・足寄会場
 - 10月7日(火) 1回122名(足寄高校)



移動美術館足寄会場

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
■北海道立近代美術館					
●エコール・ド・パリ					
1	モーリス・ド・ヴラマンク	村	1950年代	油彩、キャンバス	48.4×59.5
2	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩、キャンバス	130.5×97.5
3	ジュル・パスキン	良きサマリア人	1917	油彩、キャンバス	73.5×66.3
4	エルミース・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩、キャンバス	73.0×92.0
5	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914頃	油彩、ボード	46.0×60.0
6	パール・クローグ	ロープをまとったテレーズ	1925	油彩、キャンバス	92.0×60.0
7	キスリング	晴着の婦人	1925	油彩、キャンバス	73.0×60.0
●海外の美術					
8	エドワード・ムンク	月光	1895	ドライポイント、アクアチント、紙	31.0×25.3
9	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 クロエの誘拐	1957-60 刊行：1961	リトグラフ、紙	42.5×64.3
10	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子たち』 見せられた領域：海上の魅惑的な船は・・・	刊行：1968	リトグラフ、紙	32.1×45.5
11	サルヴァドール・ダリ	『シュルレアリスムの思い出』 天空の象	1971	エッチング、リトグラフ、紙	50.5×40.0
12	ヴィクトル・ヴァザリ	DOMBAS-2	1974	アクリル絵具、キャンバス	115.0×115.0
13	ヤーコプ・アガム	深海（1）	1971	リトグラフ、アクリル、紙	26.2×38.0
14	リチャード・アヌスキウィツ	聖なる黒の寺院	1983	アクリル絵具、キャンバス	152.9×122.5
●ガラス工芸					
15	エミール・ガレ	雪中竹に鷹文花器	1897-1900頃	ガラス：被せガラス、型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	15.3×12.0×高31.5
16	ルネ・ラリック	花器・バッカスの巫女	型：1927	ガラス：型押し	径21.0×高24.9
17	岩田藤七	花貝	1976（昭和51）	ガラス：宙吹き	32.5×17.0×高15.0
18	藤田喬平	飾筥・竹取物語	1992（平成4）	ガラス、銀：被せガラス、色ガラス粉と金箔、プラチナ箔による装飾、型吹き	29.5×26.0×高17.0
●北海道の美術					
19	林竹治郎	朝の祈り	1906（明治39）	油彩、キャンバス	50.0×90.0
20	木田金次郎	茶津の断崖	1954（昭和29）	油彩、キャンバス	80.3×100.0
21	田辺三重松	昭和新山	1971（昭和46）	油彩、キャンバス	91.0×72.8
22	中村善策	秋の散歩道	1971（昭和46）	油彩、キャンバス	97.0×145.5
23	俣野第四郎	静物（1）	1923（大正12）	油彩、キャンバス	65.3×50.2
24	難波田龍起	湖	1954（昭和29）	油彩、キャンバス	80.3×100.0
25	山口蓬春	籠中春花	1956（昭和31）	紙本彩色	60.5×83.1
26	片岡球子	葛飾北斎	1976（昭和51）	紙本彩色	116.0×79.0
27	佐藤忠良	ボタン	1969（昭和44）	ブロンズ	40.0×30.0×高127.0
28	本田明二	えものを背負う男	1981-83 （昭和56-58）	木（タモ）	24.0×50.0×高125.0
■北海道立三岸好太郎美術館					
29	三岸好太郎	横向少年	1922（大正11）頃	油彩、ボール紙	40.9×30.7
30	三岸好太郎	面の男	1928（昭和3）	油彩、キャンバス	90.8×60.9
■北海道立帯広美術館					
●西洋の美術					
31	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
32	ウジェーヌ＝アントワース・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
33	レオン・リッシュ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
●プリントアート					
34	ロベール・ファルキュッチ	日刊紙「 ^{ラ・モンターニャ} 山」	1939	リトグラフ、紙	116.8×76.4
35	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で（オペラ座）	1950	オフセット、紙	96.5×61.0
36	ドナルド・ブラン	青少年のために	1939	リトグラフ、紙	97.8×61.8
●道東の美術					
37	高坂和子	叢・秋の幻影	2004（平成16）	油彩、キャンバス	130.7×162.1
38	森 弘志	それ、普通	1994-95（平成6-7）	油彩、キャンバス	162.4×162.2
39	矢柳 剛	海の彼方の影	1979（昭和54）	シルクスクリーン、紙	57.4×89.5
40	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990（平成2）	木版、紙	53.0×75.0

*寸法は縦×横、奥行×幅×高さ、または径×高さ。

出張アート教室

小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く活用できることを認識してもらうこと、また美術館等の所蔵作品の有効利用を図ることを目的として、各道立美術館等が主催となって実施した事業。学芸員が学校に美術館の所蔵作品を持参して出向き、児童、生徒に実物をみせながらわかりやすく鑑賞の手ほどきを行った。



「イメージを伝える」新得町立屈足中学校

平成25年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	人数
10月16日(火)	新得町立屈足中学校第1～3学年	イメージを伝える (プリントアートに関連し、オガロによるリトグラフ・ポスター《自転車タイヤミシュラン》を紹介)	鎌田 享(当館学芸課長)	39人
11月20日(水)	北海道中札内高等養護学校第1学年	郷土の美術に触れる (道東の美術に関連し、神田日勝《瘦馬》を紹介)	佐藤由美加(当館主任学芸員)	38人
11月26日(火)	音更町立豊田小学校第1～6学年	イメージを伝える (プリントアートに関連し、オガロによるリトグラフ・ポスター《自転車タイヤミシュラン》を紹介)	石尾乃里子(当館学芸員)	12人

平成26年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	人数
10月28日(火)	音更町立緑陽台小学校第6学年	版画による表現 (プリントアートに関連し、多賀新《魚No.17(シーラカンス)》、小林敬生《緑の星―蘇生の刻―》を紹介)	五十嵐聡美(当館学芸課長)	34人
12月3日(水)	音更町立豊田小学校第2～5学年	油絵ってなに？ (西洋の風景画に関連し、ジャックによる油彩作品《森の中の羊飼いと羊の群れ》を紹介)	野田佳奈子(当館学芸員)	11人

学校教育との連携

中学校や高校の「職場体験学習」などの授業を受け入れ、美術館教育と学校教育との連携を図った。各授業では美術館の施設や活動などについて、当館職員が適宜、説明や指導にあたるとともに、美術館業務やボランティア活動の体験も行った。また、教員との意見交換も含めた研修の機会も設けた。

平成25年度

月日	連携機関（学校名等）	授業名・内容	人数
5月25日(土)	帯広大谷短期大学	博物館見学実習	18人
6月18日(火)	占冠村立トマム小学校	教員研修	2人
7月10日(火)	浦河町立浦河第一中学校	職場訪問	10人
7月30日(火)	国立科学博物館、(財)日本博物館協会、 十勝管内博物館学芸職員等協議会	教員のための博物館の日 in 十勝 (作品紹介モデルツアー、施設紹介モデルツアー)	52人
9月12日(木)	音更町美術サークル	教員研修	4人
10月16日(火)	帯広市立翔陽中学校	職場体験学習	5人
10月17日(水)	帯広市立帯広第八中学校	職場体験学習	10人
10月23日(火)	音更町立下音更中学校	職場体験学習	3人
10月24日(水)	帯広市立西陵中学校	職場体験学習	1人
1月10日(金)	冬季教員研修講座	帯広市教育研究所	21人
1月31日(金)	帯広市立南町中学校	おびひろ水まつり連携授業	203人
3月23日(日)	帯広市立南町中学校	クレイアートワークショップ with 帯南中	13人

平成26年度

月日	連携機関（学校名等）	授業名・内容	人数
7月29日(火)	国立科学博物館、(財)日本博物館協会、 十勝管内博物館学芸職員等協議会	教員のための博物館の日 in 十勝 (施設紹介モデルツアー)	18人
8月27日(水)～29日(金)	北海道農業高等学校	インターンシップ	2人
12月20日(土)～1月12日(月)	帯広市立南町中学校	冬季休業期間における校外学習	403人
1月9日(金)	冬季教員研修講座	帯広市教育研究所	13人

他団体との連携

帯広美術館ボランティア「しらかばの会」や地元公共機関など他団体が主催する事業に、会場提供や講師派遣など協力を行い、美術館活動の普及に努めた。

平成25年度

月日	主催団体名	事業名・内容	人数
5月3日(金)、4日(土)、5日(日)、6日(月・祝)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	グリーン・テラス「岸田劉生の軌跡」期間中、ロビーで茶菓を提供	48人
6月28日(金)	道新帯広文化センター	講座「『シャガール展』を3倍楽しむ」 (講師=鎌田享・当館学芸課長)	13人
8月4日(日)	帯広市生涯学習部・こども未来部	よりどりみどりがおかフェスタ！ (緑ヶ丘公園内各施設をめぐるスタンプラリーへの参加、連携事業「ミュージアム・ミステリー2013サマー」の実施)	176人
8月10日(土)	帯広美術館振興会	デモンストレーション&トークショー (展覧会無料招待と作品解説、講師=池田緑氏・美術作家)	27人
8月11日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	オビビ・キッズ・アートフェスタ (ちぎり絵のワークショップと展覧会案内)	17人
8月18日(日)	帯広美術館振興会	デモンストレーション&トークショー (展覧会無料招待と作品解説、講師=中谷有逸氏・美術作家)	25人
8月24日(土)	帯広美術館振興会	ミュージアム・コンサート「心和 shin-wa」 (出演=加藤恵理奈氏・津軽三味線、佐々木千里氏・ピアノ)	213人
9月22日(日)	山本二三展実行委員会	ミュージアム・コンサート「ジブリ音楽セレクション」 (出演=帯広畜産大学マンドリンサークル)	230人
10月19日(土)	山本二三展実行委員会	道新ぶんぶんクラブ特別鑑賞会(講師=石尾乃里子・当館学芸員)	97人
11月26日(火)	帯広市高齢者学級	帯広市高齢者学級学習会講演会「描かれた北海道の風景」 (講師=佐藤由美加・当館主任学芸員)	138人
2月22日(土)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「十勝の美術100の流れ～帯広美術館コレクションを中心に」(講師=佐藤由美加・当館主任学芸員)	30人
2月26日(水)	十勝管内博物館学芸職員等協議会、国立科学博物館	十勝管内博物館学芸職員等協議会研修会「博物館におけるコミュニケーション」(講義、ワークショップ)	17人

平成26年度

月日	主催団体名	事業名・内容	人数
6月19日(木)	音更町教育委員会	音更町高齢者大学講座「十勝の画家たち」 (講師=五十嵐聡美・当館学芸課長)	66人
6月27日(金)	道新帯広文化センター	講座「3倍楽しむ徳川美術館展！」(講師=五十嵐聡美・当館学芸課長)	31人
7月18日(金)～9月24日(水)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	「大正ロマン昭和モダン」ブックカフェ(展覧会関連書籍を開架、協力=北海道立図書館)	
7月18日(金)～9月24日(水)	大正ロマン昭和モダン展実行委員会	大正モダン茶屋(期間中、ロビーにて茶菓を提供、協力=帯広美術館ボランティア「しらかばの会」)	232人
7月26日(土)	松前町	生誕250年記念崎波響展基調講演「何のために描いたのかー崎波響の生涯と画業」(講師=五十嵐聡美・当館学芸課長)	100人
7月27日(日)	大正ロマン昭和モダン展実行委員会	ハイカラ折紙しましよ。(ロビーにて折り紙ワークショップ、協力=帯広美術館ボランティア「しらかばの会」)	20人
8月10日(日)	帯広市生涯学習部・こども未来部	よりどりみどりがおかフェスタ！ (緑ヶ丘公園内各施設をめぐるスタンプラリーへの参加、連携事業「ミュージアム・ミステリー2014サマー」の実施)	90人
8月10日(日)、8月31日(日)、9月21日(日)	大正ロマン昭和モダン展実行委員会	フラワーアレンジ体験(ロビーにてフラワーアレンジ体験、協力=帯広美術館ボランティア「しらかばの会」)	30人
8月30日(土)	大正ロマン昭和モダン展実行委員会、MUSICA HOKKAIDO	ミュージアム・コンサート「モダン音楽劇場」 (出演=サッポロモダンズ)	45人
8月31日(日)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「大正挿絵のつけない魅力」 (講師=五十嵐聡美・当館学芸課長)	25人
11月2日(日)	帯広美術館振興会	ミュージアム・コンサート「Art of Guitar」 (出演=HealingArt 倉前太郎氏、矢崎数馬氏)	120人
11月14日(金)	十勝管内社会教育主事会	十勝管内社会教育関係職員研修会	22人
11月27日(木)	帯広市教育委員会	帯広市民大学講座「ちょっとマジメな、ムーミンのお話」 (講師=五十嵐聡美・当館学芸課長)	50人
12月13日(土)～2月15日(日)	トーベ・ヤンソン展実行委員会	ムーミン谷の小さな図書館(展覧会関連書籍を開架、協力=北海道立図書館、北海道立函館美術館)	
12月14日(日)	トーベ・ヤンソン展実行委員会	ワークショップ「フィンランド伝統装飾『ヒンメリ』」 ワークショップとお話し会(講師=山本睦子氏・ヒンメリ作家)	15人
12月14日(日)、1月11日(日)、2月7日(土)、2月8日(日)	トーベ・ヤンソン展実行委員会	ムーミン撮影会(ロビーにてムーミンとの記念撮影会)	708組
1月9日(金)	帯広市教育委員会(教育研究所)	「美術館講座～デッサンの基礎と鑑賞教育～」 (講師=五十嵐聡美・当館学芸課長)	13人
1月11日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	オビビ・キッズ・アートフェスタ (アニメーションのワークショップと展覧会案内)	12人
1月31日(土)	帯広市図書館	図書館芸術鑑賞講座「ちょっとマジメな、ムーミンのお話し」 (講師=五十嵐聡美・当館学芸課長)	30人
2月1日(日)	トーベ・ヤンソン展実行委員会	ミュージアム・コンサート「トーベ・ヤンソン展音楽会」 (出演=あらひろこ氏・カンテレ ほか)	244人
3月7日(土)、3月8日(日)	帯広美術館振興会	ワークショップ「いきなり！大人の油絵入門」 (展覧会無料招待と油絵制作、講師=瀧川秀敏氏・平原社美術協会会長)	20人

美術作品の収集

平成25年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		平成25年度収集数			平成25年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成25年度	計		
油 彩	77	10.9%	0	3	3	80	10.4%	32	-1	31	111	13.6%
日 本 画	8	1.1%	0	0	0	8	1.0%	1	0	1	9	1.1%
水 彩・素 描	31	4.4%	0	2	2	33	4.3%	10	0	10	43	5.3%
版 画	279	39.5%	0	59	59	338	43.8%	1	0	1	339	41.5%
彫 塑	15	2.1%	0	0	0	15	1.9%	2	0	2	17	2.1%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イン	251	35.5%	0	0	0	251	32.6%	0	0	0	251	30.8%
写 真	45	6.4%	0	0	0	45	5.8%	0	0	0	45	5.5%
合 計	707	100.0%	0	64	64	771	100.0%	46	-1	45	816	100.0%

【収集区分別】

区 分	前年度末 作品点数		平成25年度収集数			平成25年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成25年度	計		
道 東 の 美 術	273	38.6%	0	3	3	276	35.8%	35	-1	34	310	38.0%
プ リ ン ト アー ト	575	81.3%	0	61	61	636	82.5%	1	0	1	637	78.1%
西 洋 の 美 術	76	10.7%	0	0	0	76	9.9%	6	0	6	82	10.0%
区 分 外	12	1.7%	0	0	0	12	1.6%	4	0	4	16	2.0%

*複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	寄贈者
2013001	油彩	梅田マサノリ	compensation of balance #6	1995 (平成7)	アクリル絵具、石膏、キャンバス	90.8×99.8	梅田マサノリ氏
2013002	油彩	森 健二	光年の導べ	2002 (平成14)	油彩、キャンバス	194.5×391.5	森 淑美氏
2013003	油彩	森 健二	光年の導べ「心象」	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	112.0×145.6	
2013004	版画	一原有徳	Mt. Ashibetsudake	1968 (昭和43)	金属版、紙	28.5×22.5	一原正明氏
2013005	版画	一原有徳	Mt. Satsunidake	1968 (昭和43)	金属版、紙	11.0×18.8	
2013006	版画	一原有徳	Mt. Obokodake	1969 (昭和44)	金属版、紙	22.0×19.5	
2013007	版画	一原有徳	Mt. Tarumae and Fuppushidake	1970 (昭和45)	金属版、紙	11.0×18.0	
2013008	版画	一原有徳	風の目	1973 (昭和48)	金属版、紙	20.7×15.0	
2013009	版画	一原有徳	Hidaka 1839m	1974 (昭和49)	金属版、紙	10.8×21.0	
2013010	版画	一原有徳	Mt. Yuubari	1976 (昭和51)	金属版、紙	17.7×20.0	
2013011	版画	一原有徳	Mt. Muridake	1987 (昭和62)	金属版、紙	14.0×26.0	
2013012	版画	一原有徳	RS25	1989 (平成元)	金属版、紙	54.5×75.5	
2013013	版画	一原有徳	Mt. Petegari	1994 (平成6)	金属版、紙	24.7×20.5	
2013014	版画	一原有徳	青い岩稜	不詳	金属版、紙	20.2×32.7	
2013015	版画	一原有徳	Mt. Petegari	不詳	金属版、紙	25.7×36.0	
2013016	版画	一原有徳	Mt. Poroshiridake	不詳	金属版、紙	15.0×22.5	
2013017	版画	一原有徳	Mt. Rishiri	不詳	金属版、紙	19.8×27.0	
2013018	版画	一原有徳	Mt. Ashibetsutake	1967 (昭和42)	金属版、紙	20.0×36.0	高澤光雄氏
2013019	版画	一原有徳	岩壁	1996 (平成8)	金属版、紙	15.0×50.0	
2013020	版画	井田照一	(無題)	1961 (昭和36)	リトグラフ、紙	61.0×46.0	イダショウイチ スタジオ 代表 釋 和子氏

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	寄贈者
2013021	版画	井田照一	Animals	1961 (昭和36)	リトグラフ、紙	28.5×37.7	イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋 和子氏
2013022	版画	井田照一	tie up	1963 (昭和38)	リトグラフ、紙	47.0×58.0	
2013023	版画	井田照一	(無題)	1965 (昭和40)	リトグラフ、エンボス、紙	57.0×45.0	
2013024	版画	井田照一	eating	1965 (昭和40)	リトグラフ、紙	35.5×28.0	
2013025	版画	井田照一	eating	1965 (昭和40)	リトグラフ、紙	42.0×30.5	
2013026	版画	井田照一	(無題)	1965 (昭和40)	リトグラフ、紙	46.0×55.5	
2013027	版画	井田照一	(無題)	1965 (昭和40)	リトグラフ、紙	43.0×50.0	
2013028	版画	井田照一	Woman in Sand No.3	1965 (昭和40)	リトグラフ、紙	44.5×53.0	
2013029	版画	井田照一	Heart	1965 (昭和40)	リトグラフ、紙	23.3×27.3	
2013030	版画	井田照一	open - spring	1965 (昭和40)	リトグラフ、紙	60.0×45.3	
2013031	版画	井田照一	朝のソプラノ	1966 (昭和41)	リトグラフ、紙	51.8×63.2	
2013032	版画	井田照一	you	1966 (昭和41)	リトグラフ、紙	66.2×52.4	
2013033	版画	井田照一	in the tree	1966 (昭和41)	リトグラフ、紙	66.4×52.6	
2013034	版画	井田照一	Wait	1966 (昭和41)	リトグラフ、紙	50.3×62.5	
2013035	版画	井田照一	Summer No.2	1967 (昭和42)	リトグラフ、紙	52.4×66.4	
2013036	版画	井田照一	Noon	1971 (昭和46)	リトグラフ、紙	150.0×63.0	
2013037	版画	井田照一	Romance	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	69.8×54.3	
2013038	版画	井田照一	Deer	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	69.9×53.5	
2013039	版画	井田照一	Dance on the grass	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	69.8×53.6	
2013040	版画	井田照一	Romance	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	73.2×53.6	
2013041	版画	井田照一	Pink Grass	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	70.0×54.0	
2013042	版画	井田照一	Morning Telephone B	1972 (昭和47)	リトグラフ、紙	54.5×69.5	
2013043	版画	井田照一	Fresh Wind	1973 (昭和48)	リトグラフ、紙	70.5×53.8	
2013044	版画	井田照一	Project for Wind	1974 (昭和49)	リトグラフ、紙	54.2×72.0	
2013045	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Between Stone and Stone	1976 (昭和51)	リトグラフ、両面刷り、紙	56.0×74.5	
2013046	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Leaf and Shade No.1	1979 (昭和54)	リトグラフ、両面刷り、紙	49.0×29.6	
2013047	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙、金銅ほか	46.4×32.1ほか(11点組)	
2013048	版画	井田照一	Surface is the Between - Field Horizon Between Vertical and Horizon No.101	1981 (昭和56)	リトグラフ、紙	65.2×46.2	
2013049	版画	井田照一	Surface is the Between - Field Horizon Between Vertical and Horizon No.105	1981 (昭和56)	リトグラフ、紙	62.8×45.8	
2013050	版画	井田照一	Surface is the Between - The Paper - No.2	1981 (昭和56)	リトグラフ、オフセット・リトグラフ、紙	103.2×76.2	
2013051	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Earl Grey on Gray	1981 (昭和56)	リトグラフ、カラージュ、紙	102.8×77.2	
2013052	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Twig and Water No.22	1981 (昭和56)	リトグラフ、両面刷り、紙	54.7×39.2	
2013053	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Four Stones and Water No.50	1981 (昭和56)	リトグラフ、シルクスクリーン、両面刷り、紙	53.7×78.9	
2013054	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Water and Water	1981 (昭和56)	リトグラフ、両面刷り、紙	53.8×78.8	
2013055	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Cricket and Water	1981 (昭和56)	リトグラフ、シルクスクリーン、両面刷り、シーヌ=コレ、紙	81.5×61.7	
2013056	版画	井田照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Stone and Brook	1983 (昭和58)	リトグラフ、シルクスクリーン、シーヌ=コレ、紙	90.7×64.5	
2013057	版画	井田照一	Garden Project - Locus Sutra - Broken Twig and Stone - After Hunting No.21	1986 (昭和61)	ミクストメディア (型どり、泥で染色、 パステル、墨、布、紗、石、枝、糸、紙)	75.0×110.0×6.0	
2013058	版画	井田照一	Garden Project - Locus Sutra - Descended Level - Well from Karma No.29	1987~88 (昭和62~63)	ミクストメディア (型どり、泥で染色、 水彩、布、紗、紙)	各183.0×132.0×8.5 (2枚一組)	
2013059	版画	井田照一	Sazare - A - 1	1993 (平成5)	ソフトグラウンドエッチング、スピットバ イト、シーヌ=コレ、ドライポイント、紙	49.8×50.0	
2013060	版画	井田照一	Sazare - A - 2	1993 (平成5)	ソフトグラウンドエッチング、スピットバ イト、シーヌ=コレ、アクアチント、ド ライポイント、紙	50.0×50.1	
2013061	版画	井田照一	Sazare - A - 3	1993 (平成5)	ソフトグラウンドエッチング、スピットバ イト、シーヌ=コレ、ドライポイント、紙	50.0×50.0	
2013062	版画	井田照一	Sazare - A - 4	1993 (平成5)	ソフトグラウンドエッチング、スピットバ イト、シーヌ=コレ、アクアチント、ド ライポイント、紙	49.8×49.8	
2013063	水彩・素描	井田照一	Penetration / Evaporation - 10	2003 (平成15)	水彩、判子、紙	67.3×33.2ほか (5点組)	
2013064	水彩・素描	井田照一	Penetration / Evaporation - 70	2003 (平成15)	水彩、判子、紙	49.6×33.7ほか (10点組)	

[受贈資料]

作品番号	分野	作家名	作品名	技法材質	寸法 (cm)	寄贈者
資料2013001	資料	一原有徳	《Hidaka 1839m》原版	金属板	10.8×21.0	一原正明氏
資料2013002	資料	一原有徳	《Mt. Petegari》原版	金属板	25.7×36.4	

* 寸法は縦×横 (×厚)。

図版目録

凡例

1. この目録には、平成25年4月1日から平成27年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油 彩
 2. 水彩・素描
 3. 版 画
 4. デザイン
 5. 写 真
3. 作品は各分野ごとに作家の姓の50音順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。
作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法材質、寸法、収集年度・収集の経緯、作品番号(収集区分)
5. データ記載事項のうち、不詳のものは表記を省略した。
6. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品には縦×横、レリーフ状の作品には縦×横×奥行、立体作品には幅×奥行×高さ等を示した。また、組作品のなかには、主要な1点を選択し、その寸法を記載したものがある。
7. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道 東 の 美 術：十勝・釧路・根室・オホーツクの北海道東部4管内にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西 洋 の 美 術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
8. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

浅川 茂
ASAKAWA Shigeru
1947(昭和22)～

重い風景
Solemn Scene
1988(昭和63)
油彩、板
162.5×183.0
平成26年度・浅川茂氏寄贈
2014001(道東の美術)



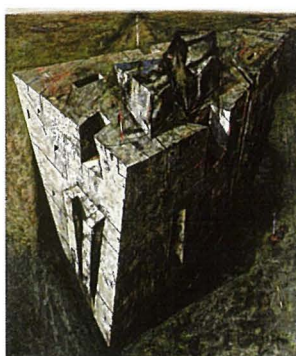
浅川 茂
ASAKAWA Shigeru
1947(昭和22)～

重い風景
Solemn Scene
2003(平成15)
油彩、キャンバス
71.8×37.8(額寸：90.0×58.0)
平成26年度・浅川茂氏寄贈
2014004(道東の美術)



浅川 茂
ASAKAWA Shigeru
1947(昭和22)～

大地の扉
Door for the Ground
1999(平成11)
油彩、板
194.0×162.5
平成26年度・浅川茂氏寄贈
2014002(道東の美術)



浅川 茂
ASAKAWA Shigeru
1947(昭和22)～

沈む地
The Sinking Ground
2010(平成22)
油彩、板
46.3×37.2
平成26年度・浅川茂氏寄贈
2014005(道東の美術)



浅川 茂
ASAKAWA Shigeru
1947(昭和22)～

静寂する風景
Silent Scene
2000(平成12)
油彩、キャンバス
71.4×38.2(額寸：88.7×56.0)
平成26年度・浅川茂氏寄贈
2014003(道東の美術)



浅川 茂
ASAKAWA Shigeru
1947(昭和22)～

流れー留まる
Flowing, Staying
2012(平成24)
油彩、キャンバス
45.5×37.9
平成26年度・浅川茂氏寄贈
2014006(道東の美術)



梅田 マサノリ
UMEDA Masanori
1958(昭和33)～

compensation of balance #6

1995(平成7)
アクリル絵具、石膏、キャンバス
90.8×99.8
平成25年度・梅田マサノリ氏寄贈
2013001(道東の美術)



森 健二
MORI Kenji
1932(昭和7)～2013(平成25)

光年の導へ
Guidance of Light Years

2002(平成14)
油彩、キャンバス
194.5×391.5(3枚一組)
平成25年度・森淑美氏寄贈
2013002(道東の美術)



森 健二
MORI Kenji
1932(昭和7)～2013(平成25)

光年の導へ「心象」
Guidance of Light Years "Imagined Scenery"

2012(平成24)
油彩、キャンバス
112.0×145.6
平成25年度・森淑美氏寄贈
2013003(道東の美術)



水彩・素描

井田 照一

IDA Shoichi

1941(昭和16)～2006(平成18)

Penetration / Evaporation - 10

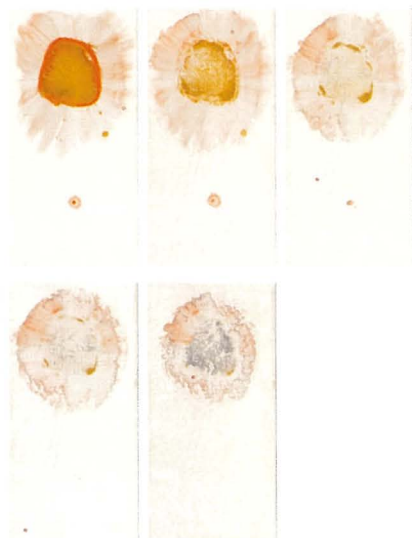
2003(平成15)

水彩、判子、紙

67.3×33.2ほか(5点組)

平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈

2013063(プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi

1941(昭和16)～2006(平成18)

Penetration / Evaporation - 70

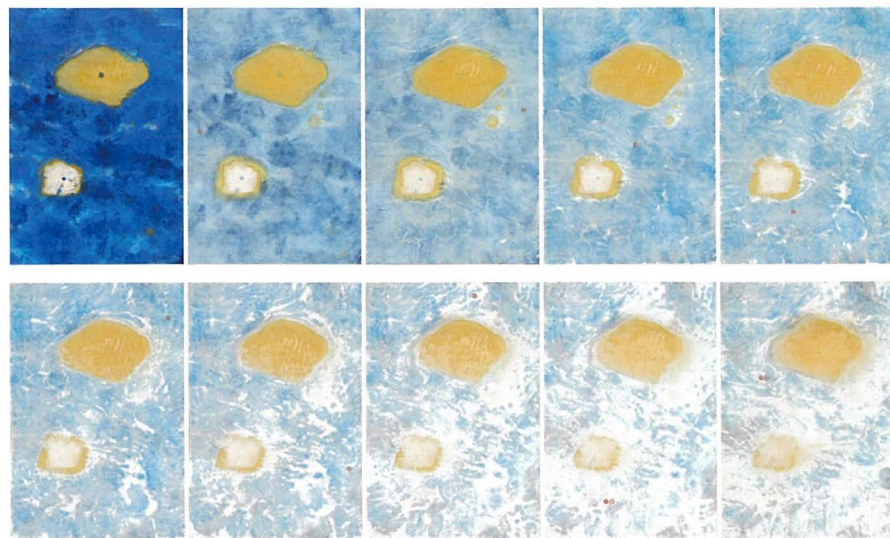
2003(平成15)

水彩、判子、紙

49.6×33.7ほか(10点組)

平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈

2013064(プリントアート)



松本 早苗

MATSUMOTO Sanae

1963(昭和38)～

風

The Wind

2003(平成15)

水彩、水彩紙

91.0×116.7

平成26年度・松本早苗氏寄贈

2014007(道東の美術)



松本 早苗

MATSUMOTO Sanae

1963(昭和38)～

午後のひざしの中で…

In the Afternoon Sun

2006(平成18)

水彩、水彩紙

91.0×116.7

平成26年度・松本早苗氏寄贈

2014008(道東の美術)

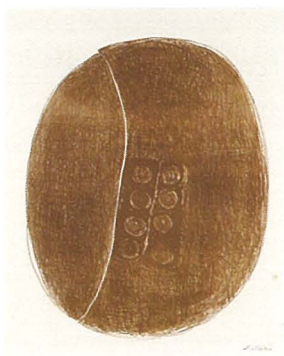


版画

井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

(無題)
(Title Unknown)

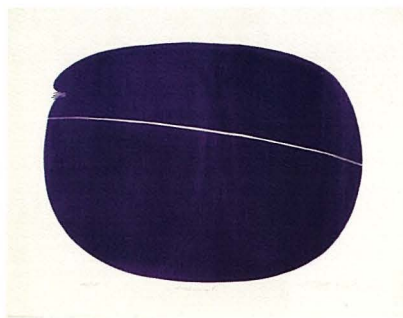
1961(昭和36)
リトグラフ、紙
61.0×46.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013020(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Animals

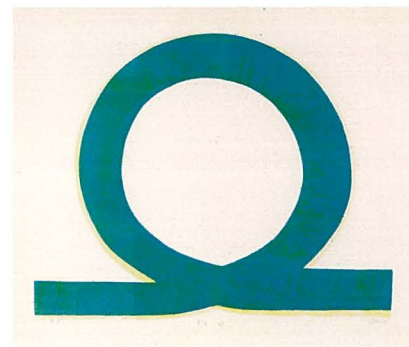
1961(昭和36)
リトグラフ、紙
28.5×37.7
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013021(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

tie up

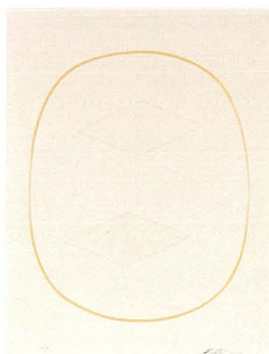
1963(昭和38)
リトグラフ、紙
47.0×58.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013022(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

(無題)
(Title Unknown)

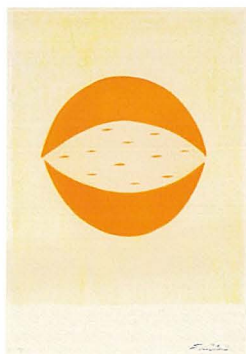
1965(昭和40)
リトグラフ、エンボス、紙
57.0×45.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013023(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

eating

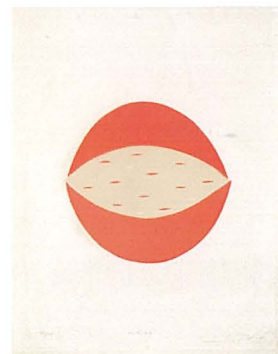
1965(昭和40)
リトグラフ、紙
35.5×28.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013024(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

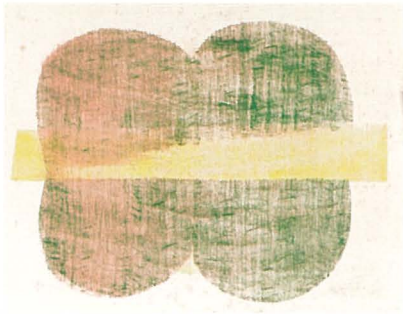
eating

1965(昭和40)
リトグラフ、紙
42.0×30.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013025(プリントアート)



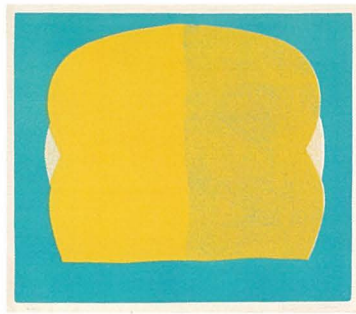
井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

(無題)
(Title Unknown)
1965 (昭和40)
リトグラフ、紙
46.0×55.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013026 (プリントアート)



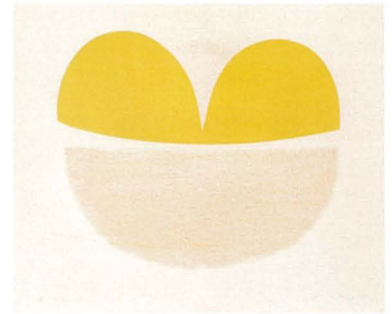
井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

(無題)
(Title Unknown)
1965 (昭和40)
リトグラフ、紙
43.0×50.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013027 (プリントアート)



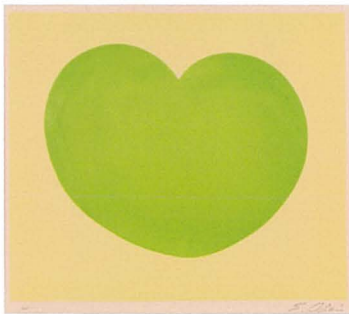
井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Woman in Sand No.3
1965 (昭和40)
リトグラフ、紙
44.5×53.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013028 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Heart
1965 (昭和40)
リトグラフ、紙
23.3×27.3
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013029 (プリントアート)



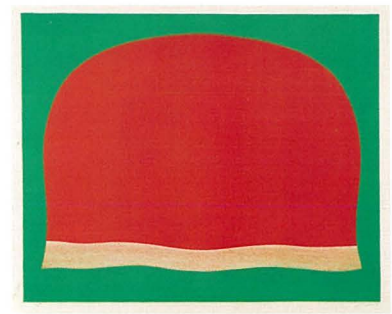
井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

open - spring
1965 (昭和40)
リトグラフ、紙
60.0×45.3
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013030 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

朝のソプラノ
Soprano in Morning
1966 (昭和41)
リトグラフ、紙
51.8×63.2
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013031 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

you
1966 (昭和41)
リトグラフ、紙
66.2×52.4
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013032 (プリントアート)



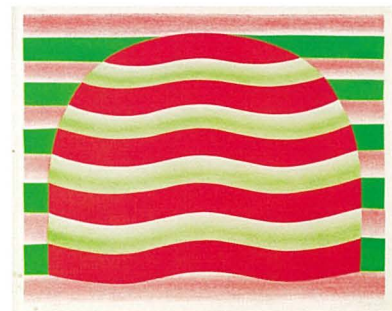
井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

in the tree
1966 (昭和41)
リトグラフ、紙
66.4×52.6
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013033 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Wait
1966 (昭和41)
リトグラフ、紙
50.3×62.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013034 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Summer No.2

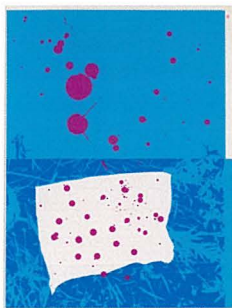
1967 (昭和42)
リトグラフ、紙
52.4×66.4
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013035 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Deer

1971 (昭和46)
シルクスクリーン、紙
69.9×53.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013038 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Pink Grass

1971 (昭和46)
シルクスクリーン、紙
70.0×54.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013041 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Noon

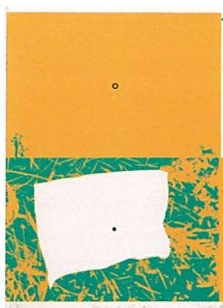
1971 (昭和46)
リトグラフ、紙
150.0×63.0 (3枚一組)
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013036 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Dance on the grass

1971 (昭和46)
シルクスクリーン、紙
69.8×53.6
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013039 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Morning Telephone B

1972 (昭和47)
リトグラフ、紙
54.5×69.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013042 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Romance

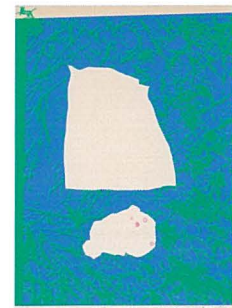
1971 (昭和46)
シルクスクリーン、紙
69.8×54.3
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013037 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Romance

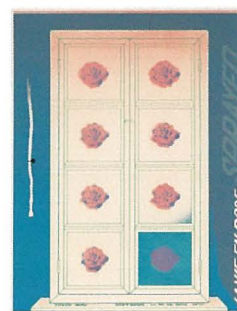
1971 (昭和46)
シルクスクリーン、紙
73.2×53.6
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013040 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Fresh Wind

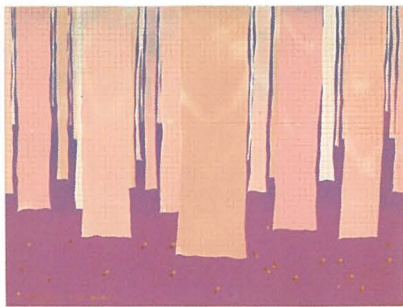
1973 (昭和48)
リトグラフ、紙
70.5×53.8
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013043 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Project for Wind

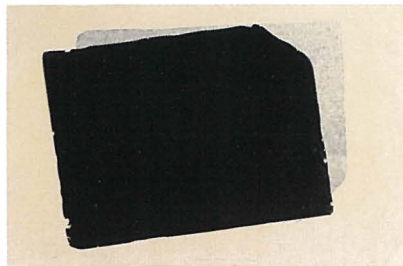
1974(昭和49)
リトグラフ、紙
54.2×72.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013044(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Between Stone and Stone

1976(昭和51)
リトグラフ、両面刷り、紙
56.0×74.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013045(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Leaf and Shade No.1

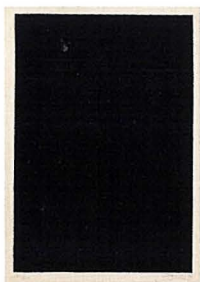
1979(昭和54)
リトグラフ、両面刷り、紙
49.0×29.6
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013046(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 1) Wire Net Between Paper and Black Ink No.2 (紙とインクの間に金網 No.2)

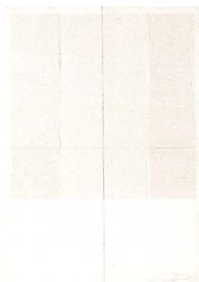
1979(昭和54)
シルクスクリーン、紙、金網
46.4×32.1
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-1(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 2) Paper Between Same Line and Same Line No.3 (同じ線と同じ線の間に紙 No.3)

1979(昭和54)
リトグラフ、両面刷り、紙
50.2×33.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-2(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 3) Paper Between Black Ink Stain and Black Ink Stain No.5 (黒インクのしみと黒インクのしみの間に紙 No.5)

1979(昭和54)
シルクスクリーン、両面刷り、シーヌ=コレ、紙
46.8×30.8
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-3(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 4) Paper on Paper (紙の上の紙)

1979(昭和54)
リトグラフ、シーヌ=コレ、紙
47.7×33.6
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-4(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 5) Paper Between Line and Line No.5 (線と線の間に紙 No.5)

1979(昭和54)
リトグラフ、エッチング、両面刷り、シーヌ=コレ、紙
45.6×30.7
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-5(プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941(昭和16)～2006(平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 6) Paper Between Scratching and Scratching No.6 (掻ききずと掻く事の間に紙 No.6)

1979(昭和54)
リトグラフ、エッチング、両面刷り、紙
45.6×30.8
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-6(プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 7) Iron Sand on Iron Plate (鉄板の上に砂鉄)

1979 (昭和54)
シルクスクリーン、鉄、紙
47.0×33.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-7 (プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 8) Falling and Horizontal - paper as time suspending gravity (落下と水平)

1979 (昭和54)
リトグラフ、両面刷り、シーヌ = コレ、紙
47.2×33.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-8 (プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 9) Paper Between Dropped Stain and Dispersed Stain - paper as time suspending gravity (落下のしみと拡がるしみの間に紙)

1979 (昭和54)
シルクスクリーン、両面刷り、紙
47.1×33.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-9 (プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 10) Paper Between Touching and Scratching (撫でる事の間に紙)

1979 (昭和54)
リトグラフ、両面刷り、シーヌ = コレ、紙
46.2×31.4
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-10 (プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Lotus Sutra 11) Gauze in Ink (黒インクの中の紗)

1979 (昭和54)
シルクスクリーン、紗、紙
50.2×35.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013047-11 (プリントアート)

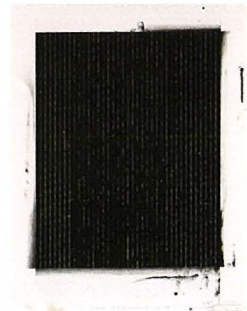


井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Field Horizon Between Vertical and Horizon No.101

1981 (昭和56)
リトグラフ、紙
65.2×46.2
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013048 (プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Field Horizon Between Vertical and Horizon No.105

1981 (昭和56)
リトグラフ、紙
62.8×45.8
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013049 (プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - The Paper - No.2

1981 (昭和56)
リトグラフ、オフセット・リトグラフ、紙
103.2×76.2
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013050 (プリントアート)



井田 照一

IDA Shoichi
1941 (昭和16)～2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Earl Grey on Gray

1981 (昭和56)
リトグラフ、コラーージュ、紙
102.8×77.2
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013051 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Twig and Water No.22

1981 (昭和56)
リトグラフ、両面刷り、紙
54.7×39.2
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013052 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Four Stones and Water No.50

1981 (昭和56)
リトグラフ、シルクスクリーン、両面刷り、紙
53.7×78.9
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013053 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Water and Water

1981 (昭和56)
リトグラフ、両面刷り、紙
53.8×78.8
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013054 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between Cricket and Water

1981 (昭和56)
リトグラフ、シルクスクリーン、両面刷り、シーヌ=コレ、紙
81.5×61.7
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013055 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Paper Between a Stone and Brook

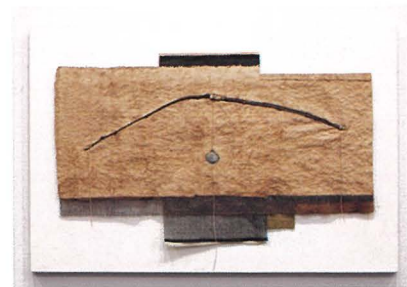
1983 (昭和58)
リトグラフ、シルクスクリーン、シーヌ=コレ、紙
90.7×64.5
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013056 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Garden Project - Locus Sutra - Broken Twig and Stone - After Hunting No.21

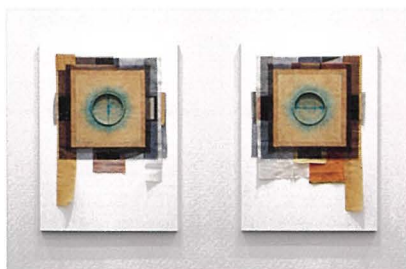
1986 (昭和61)
ミクストメディア (型どり、泥で染色、パステル、墨、布、紗、石、枝、糸、紙)
75.0×110.0×6.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013057 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Garden Project - Locus Sutra - Descended Level - Well from Karma No.29

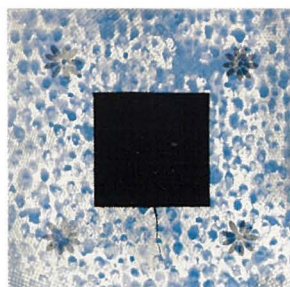
1987 ~ 88 (昭和62 ~ 63)
ミクストメディア (型どり、泥で染色、水彩、布、紗、紙)
各183.0×132.0×8.5 (2枚一組)
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013058 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Sazare - A - 1

1993 (平成5)
ソフトグラウンドエッチング、スピットバイト、シーヌ=コレ、ドライポイント、紙
49.8×50.0
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013059 (プリントアート)



井田 照一
IDA Shoichi
1941 (昭和16) ~ 2006 (平成18)

Sazare - A - 2

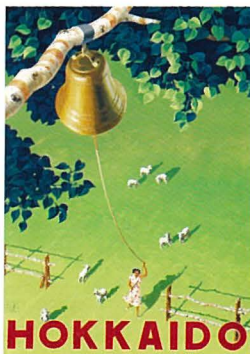
1993 (平成5)
ソフトグラウンドエッチング、スピットバイト、シーヌ=コレ、アクアチント、ドライポイント、紙
50.0×50.1
平成25年度・イダ ショウイチ スタジオ 代表 釋和子氏寄贈
2013060 (プリントアート)



デザイン

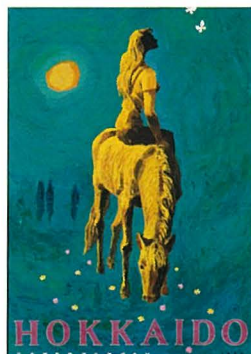
栗谷川 健一
KURIYAGAWA Kenichi
1911(明治44)～1999(平成11)

牧場の鐘
Bell of Farm
1952(昭和27)
ポスターカラー、紙
102.7×72.5
平成26年度・栗谷川悠氏寄贈
2014009(プリントアート)



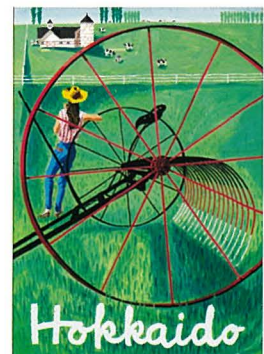
栗谷川 健一
KURIYAGAWA Kenichi
1911(明治44)～1999(平成11)

真夏の夢
Midsummer's Dream
1958(昭和33)
ポスターカラー、紙
103.3×72.7
平成26年度・栗谷川悠氏寄贈
2014010(プリントアート)



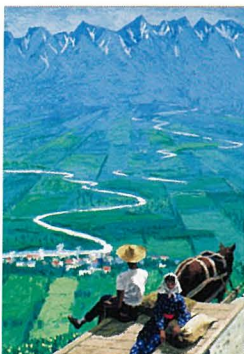
栗谷川 健一
KURIYAGAWA Kenichi
1911(明治44)～1999(平成11)

赤いヘイレーキ
Red Hay Rake
1961(昭和36)
ポスターカラー、紙
103.0×72.5
平成26年度・栗谷川悠氏寄贈
2014011(プリントアート)



栗谷川 健一
KURIYAGAWA Kenichi
1911(明治44)～1999(平成11)

家路
Homeward Way
1963(昭和38)
ポスターカラー、紙
103.0×72.5
平成26年度・栗谷川悠氏寄贈
2014012(プリントアート)



写真

戸張 良彦
TOBARI Yoshihiko
1955(昭和30)～

143.102488,43.265127 41°

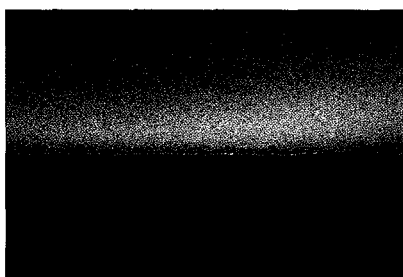
2008(平成20)
デジタルCプリント
100.0×150.0
平成26年度・戸張良彦氏寄託
2014K001(道東の美術/プリントアート)



戸張 良彦
TOBARI Yoshihiko
1955(昭和30)～

143.270480,42.762508 273°

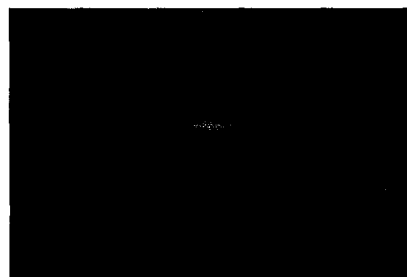
2010(平成22)
デジタルCプリント
100.0×150.0
平成26年度・戸張良彦氏寄託
2014K002(道東の美術/プリントアート)



戸張 良彦
TOBARI Yoshihiko
1955(昭和30)～

143.551286,42.605040 268°

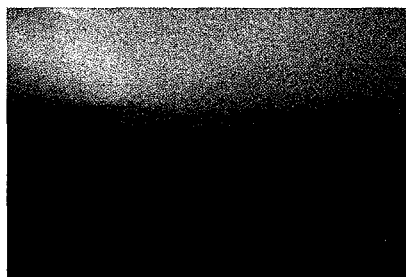
2013(平成25)
デジタルCプリント
100.0×150.0
平成26年度・戸張良彦氏寄託
2014K003(道東の美術/プリントアート)



戸張 良彦
TOBARI Yoshihiko
1955(昭和30)～

143.617869,42.699296 322°

2013(平成25)
デジタルCプリント
100.0×150.0
平成26年度・戸張良彦氏寄託
2014K004(道東の美術/プリントアート)





美術作品の貸出

平成25年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
資料	早川良雄	第5回東京国際版画ビエンナーレ	北海道立旭川美術館	平成25年12月13日	「山口正城展」
資料	早川良雄	HIROSHIMA APPEALS		}	(平成25年12月21日～平成26年
資料	山城隆一	森・林		平成26年2月20日	2月11日北海道立旭川美術館
資料	山城隆一	第2回東京国際版画ビエンナーレ			にて開催)
版画	出店久夫	私風景、過去-2000-未来 No.II	北海道立釧路芸術館	平成26年2月15日	「文化庁メディア芸術祭釧路展」
版画	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta		}	(平成26年2月26日～3月9日
写真	岡本和行	Flower Garden		平成26年3月23日	北海道立釧路芸術館にて開催)
写真	奥野稔和	94V-0202X			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星にようこそ》スカイ・ホール			
版画	長はるこ	B-cushion			
写真	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)			
写真	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月			
版画	岡部昌生	フロッター・ジュ・ファクス・レ ター・プロジェクト「島から…」 1991年7月22日～8月24日			
写真	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13～ 普賢岳 (川は水を必要としていた)			

平成26年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
油彩	神田日勝	画室E *	神田日勝記念美術館	平成26年10月1日	「神田日勝の造形思考 キュビ
				}	ズム的多視点」
				平成27年1月31日	(平成26年10月21日～12月7日 神田日勝記念美術館にて開催)

*は帯広市寄託作品。



美術作品の修復

平成25年度

修復作品 おおと ひでお
《太陽をとる王様》
1965(昭和40)年作
油彩、紙、板
160.9×129.0cm
所蔵品番号2011001

修復年月日 平成25年11月7日～平成26年2月3日

修復者 藤野いづみ

修復状況 ラワンベニヤ板を基底材とし、その上に油絵具による描画、部分的に紙のコラージュが施され、周囲に角材による木枠が取り付けられた作品である。ベニヤ板と棧を固定する釘頭が錆び、絵の具の一部に剥落が生じるとともに、コラージュの一部が剥離。また木枠の一部が欠損し、その欠損部分から露出してみえるベニヤ板の側面に、経年劣化による層間の隙間が確認される状態となっていた。パネル裏面にも欠損が生じていた。

処置にあたっては、コラージュ部分避けながらベニヤ板の表面、裏面に修復用接着剤を塗布、浸透させ基底材の強化を図った。側面から確認されたベニヤ板層の隙間には、微妙に厚みの異なる薄板を差し込んで慎重に微調整し、また裏面の欠損箇所にはエチレン樹脂を充填した。木枠には欠損箇所角材を付け足すとともに、ベニヤ板、棧、木枠の結合部分を金具で補強した。あわせて、固定釘の錆の除去やネジへの交換、剥落箇所への補彩と紙の剥離部分の接着固定を行った。



《太陽をとる王様》修復作業(薄板によるベニヤ板補強)

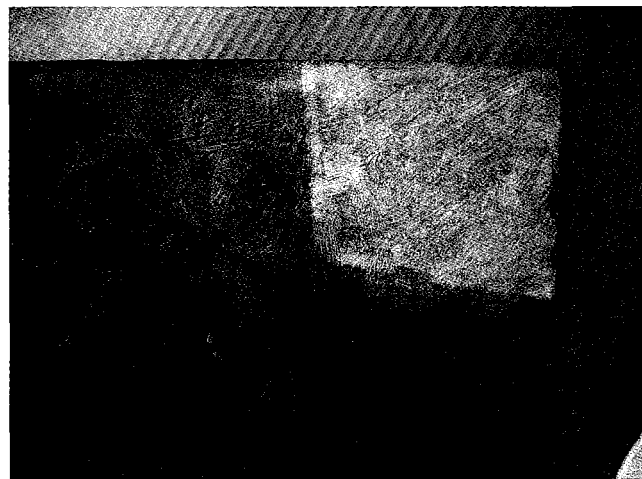
修復作品 小林 守材
《風景》
1948(昭和23)年作
油彩、板
58.0×79.0cm
所蔵品番号2011006

修復年月日 平成25年11月7日～平成26年2月3日

修復者 藤野いづみ

修復状況 3層構造の薄いラワンベニヤ板を基底材とし、その上に地塗りを施さず、油絵具で直接描画された昭和20年代の作品で、早い時期に装丁されたと考えられる額に納められている。基底材の元来の質とともに経年劣化が激しく、全体に亀裂、変形を来すとともに、絵具にも亀裂、剥落が生じていた。また経年によって絵具の油分がベニヤ板に吸収され、特有の艶が失われていた。形を維持する役割を果たしている額にも、経年劣化による変形や割れがみられ、また全体に汚損や虫糞の付着が確認される状態となっていた。

修復にあたっては、両面の埃を除去した後、修復用接着剤を塗布、浸透させ、ベニヤ板自体の強化および絵具の接着能力の強化を図った。ベニヤ板の突き合わせ箇所の開きに伴う絵具の亀裂は、修復用接



《風景》修復作業(画面のクリーニング)



名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿(平成27年3月31日現在)

役職名	氏 名	現 職
会 長	岡庭 義行	帯広大谷短期大学教授
副会長	後藤 秀彦	十勝管内博物館学芸職員等協議会顧問
委 員	井口 五子	中標津町更生保護女性会副会長
委 員	河合 文宏	帯広商工会議所産業振興部長
委 員	大河原茂美	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」副会長
委 員	菅原 裕一	豊頃町教育委員会教育長
委 員	田中千鶴子	釧路市女性団体協議会副会長
委 員	辻 敦郎	帯広市立緑園中学校長
委 員	横尾 俊輔	日本放送協会帯広放送局局長
委 員	鈴木順三郎	置戸町愛タウンふるさとづくり協議会顧問
委 員	辻 佳子	(一般公募)
委 員	池添久美子	(一般公募)

※委員の任期は平成25年6月27日から平成27年6月26日まで

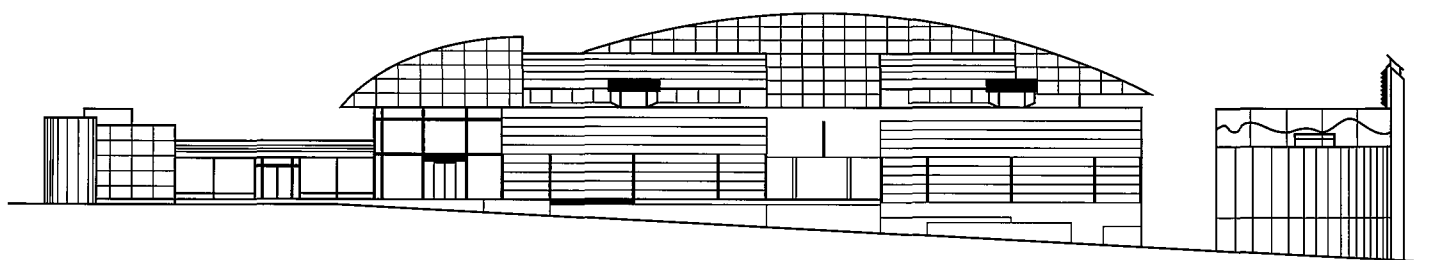
北海道立帯広美術館職員名簿(平成26年3月31日現在)

役職名	氏 名	発令年月日
館長(非常勤)	石堂 普之	平成25年 4月 1日
副館長兼総務課長	森 有司	平成25年 4月 1日
主査	川窪 誠	平成24年 4月 1日
主任	工藤 仁美	平成25年 4月 1日
学芸課長	鎌田 享	平成20年 4月 1日
主任学芸員	佐藤由美加	平成22年 4月 1日
学芸員	石尾乃里子	平成24年 4月 1日
主事(非常勤)	菊地 美雪	平成7年 4月 1日
主事(非常勤)	伊藤 昭子	平成9年 9月 1日
主事(非常勤)	高田 佳子	平成9年 11月 1日
主事(非常勤)	山崎 千里	平成14年 3月 1日
主事(非常勤)	中村 桂子	平成17年 4月 1日

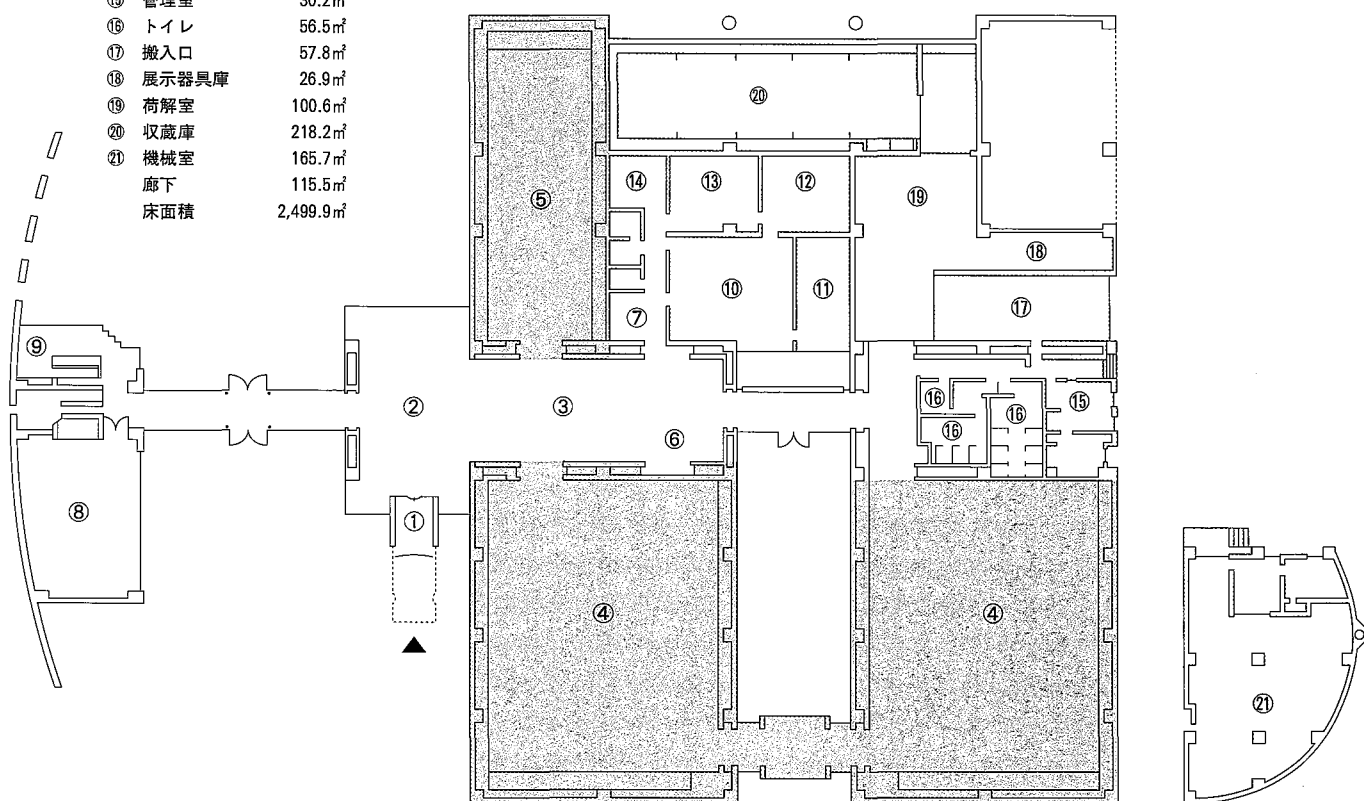
北海道立帯広美術館名簿(平成27年3月31日現在)

役職名	氏 名	発令年月日
館長(非常勤)	石堂 普之	平成25年 4月 1日
副館長兼総務課長	森 有司	平成25年 4月 1日
主査	益城 悟	平成26年 4月 1日
主任	工藤 仁美	平成25年 4月 1日
学芸課長	五十嵐聡美	平成26年 4月 1日
学芸員	藤原乃里子	平成24年 4月 1日
学芸員	野田佳奈子	平成26年 4月 1日
主事(非常勤)	菊地 美雪	平成7年 4月 1日
主事(非常勤)	伊藤 昭子	平成9年 9月 1日
主事(非常勤)	高田 佳子	平成9年 11月 1日
主事(非常勤)	山崎 千里	平成14年 3月 1日
主事(非常勤)	中村 桂子	平成17年 4月 1日

館内案内図



① 風除室	12.1㎡
② ロビー	123.1㎡
③ ホール	209.9㎡
④ 主展示室	841.9㎡
⑤ 常設展示室	209.5㎡
⑥ 売店	
⑦ 授乳コーナー	5.3㎡
⑧ 講堂	98.4㎡
⑨ 喫茶コーナー	36.7㎡
⑩ 事務室	72.3㎡
⑪ 館長室	32.9㎡
⑫ 資料室	36.0㎡
⑬ 会議室	35.7㎡
⑭ 準備室	14.7㎡
⑮ 管理室	30.2㎡
⑯ トイレ	56.5㎡
⑰ 搬入口	57.8㎡
⑱ 展示器具庫	26.9㎡
⑲ 荷解室	100.6㎡
⑳ 収蔵庫	218.2㎡
㉑ 機械室	165.7㎡
廊下	115.5㎡
床面積	2,499.9㎡



展示部門 
 管理・事務部門 

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク (公開設計競技最優秀)
●基 本 設 計	アトリエアク・太洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 設	宮坂・萩原・曾根・市川・大道共同企業体(1、2期)
電気設備	相互電業(株)(1期)
空調調和衛生設備	森設備工業(株)(1期)
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体(2期)
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体(2期)
衛星設備	フジ・梶山・中林共同企業体(2期)
空調調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体(2期)
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000 m ²
●建 物 面 積	建面積 2,499.99 m ² 延面積 3,521.60 m ²
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
●仕 上	
〔外 装〕	
外 壁	大理石(ライムストーン) コンクリート打放し小叩仕上げ アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ銅板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
〔内 装〕	
ロビーホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビーホール壁	大理石(ライムストーン) 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード、一部ラワン合板下地クロス EP 仕上
ロビーホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板 EP 仕上

設備概要

●電 気 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6 KV 変圧器容量 450 KVA
非常電源設備	ディーゼル機関 123 PS 3,000 RPH 発電機 98 KVA 3相 200 V
動力 設 備	防災用動力 排煙機 11 KW × 3 消火ポンプ 5.5 KW × 3
電 灯 設 備	展示室 壁面照明 退色防止蛍光灯(調光式) ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 ワイヤメッシュ天井内埋込蛍光灯
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ 160 W
テレビ共聴設備	OCTV(帯広ケーブル TV)による共聴
火災報知設備	P 1 級受信機
視聴覚設備	上降式スクリーン 1 式 上降式ビデオプロジェクター 1 式 音声・映像ラック 1 式 映写設備(16mmフィルム、35mmスライド) 1 式 液晶プロジェクター 1 式
●機 械 設 備	
空気調和設備	
設定温湿度	
常設展示室、主展示室	
夏	24℃ (21~25℃) 55% (50~60%)
冬	23℃ (21~24℃) 50% (45~55%)
収蔵庫、展示ケース	
年間	22℃ (20~24℃) 55% (40~60%)
*()内は可変調節範囲、設定精度は温度±1℃ 湿度±3%	
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000 Kcal/H
吸収式冷温水発生器	冷却能力 100 USRT 暖房能力 253,000 Kcal/H
温 水 器	暖房能力 500,000 Kcal/H
空気調和機	
主展示室	2 系統
常設展示室、荷解室	1 系統
展示ケース	1 系統
収蔵庫	1 系統
ロビー、ホール	1 系統
管理諸室	1 系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電気温水機
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備



沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田浩志発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日） 一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞受賞（建物）（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長 阿部皎発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長 長谷川吉廣発令
平成11年 7 月	第 4 代館長 上原脩平発令
平成13年 1 月	入館者80万人達成（平成13年 1 月17日）
平成13年 4 月	第 5 代館長 小野寺浩発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）
平成16年 9 月	入館者100万人達成（平成16年 9 月26日）
平成19年 1 月	開館15周年記念展開催
平成19年 6 月	第 6 代館長 吉井亮発令
平成23年 7 月	開館20周年記念展開催
平成25年 2 月	主展示室照明 L E D 化工事（新エネルギー等率先導入推進事業）
平成25年 4 月	第 7 代館長 石堂普之発令
平成25年11月	入館者150万人達成（平成25年11月30日）

観覧者数一覧

平成25年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A = E + G (1日あたり)	個 人				団 体/前 売/リピーター				優 待 割 引				共 通 券				有料入館者計 F = B + C + D + E (/A)	無料招待免除 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	計 E			
コレクション・ギャラリー		4月12日 ↓ 3月30日 (273日)	25,120人 (92人)	690人 (95%)	36人 (5%)		726人	322人 (64%)	185人 (36%)		507人				5,881人 (94%)	357人 (6%)	6,238人	7,471人 (30%)	17,649人 (70%)		
特 別 展	岸田劉生の軌跡	4月12日 ↓ 6月1日 (44日)	2,553人 (58人)	344人 (96%)	12人 (3%)	2人 (1%)	358人	185人 (63%)	20人 (7%)	91人 (30%)	296人	273人 (99%)	3人 (1%)	0人 (0%)	276人	602人 (97%)	16人 (3%)	618人	1,548人 (60%)	1,005人 (40%)	
	20世紀の プリントアート	6月8日 ↓ 8月28日 (70日)	3,846人 (55人)	126人 (95%)	6人 (5%)		132人	139人 (83%)	28人 (17%)		167人	213人 (99%)	3人 (1%)		216人	1,072人 (93%)	76人 (7%)	1,148人	1,663人 (43%)	2,183人 (57%)	
	山本二三展	9月7日 ↓ 11月13日 (59日)	24,459人 (415人)	4,715人 (93%)	298人 (6%)	66人 (1%)	5,079人	2,312人 (53%)	165人 (4%)	1,849人 (43%)	4,326人	3,710人 (90%)	350人 (9%)	46人 (1%)	4,106人	3,273人 (94%)	226人 (6%)	3,499人	17,010人 (70%)	7,449人 (30%)	
	in the LIGHT/ in the SHADOW	11月22日 ↓ 2月2日 (58日)	2,610人 (45人)	307人 (97%)	8人 (2%)	2人 (1%)	317人	152人 (27%)	28人 (5%)	378人 (68%)	558人	135人 (99%)	2人 (1%)	0人 (0%)	137人	474人 (97%)	13人 (3%)	487人	1,499人 (57%)	1,111人 (43%)	
	十勝の美術100年	2月11日 ↓ 3月30日 (42日)	1,793人 (43人)	103人 (98%)	2人 (2%)		105人	49人 (100%)	0人 (0%)		49人	145人 (97%)	5人 (3%)		150人	463人 (95%)	26人 (5%)	489人	793人 (44%)	1,000人 (56%)	
	計	5回 (273日)	35,261人 (129人)	5,595人 (93%)	326人 (5%)	70人 (2%)	5,991人	2,837人 (53%)	241人 (4%)	2,318人 (43%)	5,396人	4,476人 (92%)	363人 (7%)	46人 (1%)	4,885人	5,884人 (94%)	357人 (6%)	6,241人	22,513人 (64%)	12,748人 (36%)	
	合 計			60,381人 (221人)	6,285人 (94%)	362人 (5%)	70人 (1%)	6,717人	3,159人 (54%)	426人 (7%)	2,318人 (39%)	5,903人	4,476人 (92%)	363人 (7%)	46人 (1%)	4,885人	11,765人 (94%)	714人 (6%)	12,479人	29,984人 (50%)	30,397人 (50%)

平成26年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=E+G (1日あたり)	個 人				団 体/前 売/リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F=B+C+D+E (/A)	無料招待者計 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	計 E		
コレクション・ギャラリー		4月1日 ～ 3月31日 (274日)	21,217人 (77人)	498人 (94%)	31人 (6%)		529人	335人 (73%)	126人 (27%)		461人				0人	3,764人 (95%)	204人 (5%)	3,968人	4,958人 (23%)	16,259人 (77%)
特 別 展	十勝の美術100年	4月1日 ～ 4月16日 (14日)	591人 (42人)	44人 (100%)	0人 (0%)		44人	5人 (100%)	0人 (0%)		5人	33人 (100%)	0人 (0%)		33人	148人 (97%)	5人 (3%)	153人	235人 (40%)	356人 (60%)
	美術のみ・か・た 7つの扉	4月25日 ～ 7月9日 (65日)	3,550人 (55人)	199人 (98%)	4人 (2%)		203人	133人 (88%)	18人 (12%)		151人	204人 (98%)	4人 (2%)		208人	856人 (97%)	23人 (3%)	879人	1,441人 (41%)	2,109人 (59%)
	大正ロマン 昭和モダン展	7月18日 ～ 9月24日 (59日)	7,053人 (120人)	874人 (91%)	41人 (4%)	44人 (5%)	959人	1,112人 (86%)	32人 (2%)	143人 (12%)	1,287人	1,005人 (94%)	45人 (4%)	16人 (2%)	1,066人	1,039人 (93%)	76人 (7%)	1,115人	4,427人 (63%)	2,626人 (37%)
	中谷有逸展	10月3日 ～ 12月3日 (54日)	2,428人 (45人)	224人 (96%)	3人 (2%)	3人 (2%)	230人	229人 (74%)	13人 (4%)	66人 (22%)	308人	192人 (99%)	2人 (1%)	0人 (0%)	194人	405人 (97%)	11人 (3%)	416人	1,148人 (47%)	1,280人 (53%)
	トーベ・ヤンソン展	12月13日 ～ 2月15日 (51日)	24,376人 (478人)	4,479人 (92%)	272人 (6%)	104人 (2%)	4,855人	4,144人 (87%)	164人 (3%)	458人 (10%)	4,766人	4,674人 (90%)	349人 (7%)	141人 (3%)	5,164人	1,057人 (94%)	70人 (6%)	1,127人	15,912人 (65%)	8,464人 (35%)
	バルビゾン 19世紀の絵画と写真	2月24日 ～ 3月31日 (31日)	1,402人 (45人)	216人 (91%)	21人 (9%)		237人	45人 (87%)	7人 (13%)		52人	221人 (93%)	16人 (7%)		237人	260人 (93%)	19人 (7%)	279人	805人 (57%)	597人 (43%)
	計	6回 (274日)	39,400人 (144人)	6,036人 (92%)	341人 (5%)	151人 (3%)	6,528人	5,668人 (86%)	234人 (4%)	667人 (10%)	6,569人	6,329人 (92%)	416人 (6%)	157人 (2%)	6,902人	3,765人 (95%)	204人 (5%)	3,969人	23,968人 (61%)	15,432人 (39%)
合 計			60,617人 (221人)	6,534人 (93%)	372人 (5%)	151人 (2%)	7,057人	6,003人 (85%)	360人 (5%)	667人 (10%)	7,030人	6,329人 (92%)	416人 (6%)	157人 (2%)	6,902人	7,529人 (95%)	408人 (5%)	7,937人	28,926人 (48%)	31,691人 (52%)

平成25年－26年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成28年 3月11日

発行者 北海道立帯広美術館
〒080-0846

帯広市緑ヶ丘 2 番地

Tel. (0155) 22-6963

印刷所 藤田印刷株式会社

© Hokkaido Obihiro Museum of Art 2016

